別海町
まちづくりアンケート調査
結果報告書

平成 30 年３月

別海町

目次

調査概要

1　調査の目的 3
2　調査の方法 3
3　この報告書の見方 3

調査結果

1　回答者の属性 7
2　愛着度・定住意向について 9
(1)まちへの愛着度について 9
(2)今後の定住意向について 12
(3)住みたくない主な理由について 15
(4)まちの暮らしやすさについて 16
3　これからのまちづくりについて 19
(1)今後のまちづくりの特色について 19
(2)今後力を入れるべき施策について 21
4　生活基盤について 24
(1)市街地の整備状況について 24
(2)街並み景観について 25
(3)道路整備状況について 26
(4)公共交通機関の利便性について 27
(5)今後必要な道路交通手段について 28
(6)公営住宅の整備状況について 29
(7)公園・緑地の整備状況について 30
(8)水道の整備状況について 31
(9)下水道等の整備状況について 32
(10)情報通信網の整備状況について 33
(11)高度情報化社会に対応するために必要なことについて 34
5　環境保全・生活環境について 35
(1)自然環境の豊かさについて 35
(2)ごみ処理・リサイクル状況について 36
(3)自然・生活環境保全のために取り組むべきこと 37
(4)環境に配慮した生活について 38
(5)ごみ資源の分別について 39

6　防犯・防災対策について 40
(1)防犯・交通安全体制について 40
(2)地域での防犯活動への参加状況 41
(3)消防・防災体制について 42
(4)消防・防災対策で力を入れるべきこと 43
(5)居住地区の避難場所について 44
(6)防災対策への取組状況 45
7　産業振興について 46
(1)農林業の振興に関する取組みについて 46
(2)農林業の振興で力を入れるべきこと 47
(3)水産業の振興に関する取組みについて 48
(4)水産業の振興で力を入れるべきこと 49
(5)商業環境について 50
(6)商業振興で力を入れるべきこと 51
(7)町内での買物について 52
(8)買物の割合について 53
(9)地場産業の振興や企業誘致について 56
(10)工業の振興で力を入れるべきこと 57
(11)観光の振興に関する取組みについて 58
(12)観光の振興で力を入れるべきこと 59
(13)雇用・就労対策に関する取組みについて 60
(14)雇用・就労対策事業の利用について 61
8　保健・医療・福祉について 62
(1)医療体制について 62
(2)保健サービスについて 63
(3)医療対策で力を入れるべきこと 64
(4)保健対策で力を入れるべきこと 65
(5)健康増進のための取組みについて 66
(6)バリアフリー化について 67
(7)地域福祉活動への参加について 68
(8)子育て環境について 69
(9)子育て環境を充実するために力を入れるべきこと 70
(10)妊婦・出産・育児(乳児期)支援について力を入れるべきこと 71
(11)高齢者施策ついて 72
(12)高齢者施策について力を入れるべきこと 73
(13)障がい者施策について 74
(14)障がい者施策について力を入れるべきこと 75
9　教育・文化・スポーツについて 76

(1)学校教育環境について 76
(2)豊かな人間教育のために必要なこと 78
(3)生涯学習・芸術文化活動について 79
(4)生涯学習活動・芸術文化活動の活発化に必要なこと 80
(5)生涯学習活動への参加状況 81
(6)スポーツ活動について 82
(7)スポーツ活動の活発化に必要なこと 83
(8)週1回以上の日常的な運動ついて 84
10　人権・男女共同参画について 85
(1)人権教育・啓発について 85
(2)人権教育・啓発活動への参加状況 86
(3)男女共同参画の推進について 87
(4)男女共同参画社会の形成のために必要なこと 88
11　地域間交流について 89
(1)国内外との交流活動について 89
(2)国内外との交流活動に必要だと思うこと 90
12　広報・広聴、住民活動などについて 91
(1)広報・広聴活動について 91
(2)町の広報について 92
(3)町のホームページの閲覧について 93
(4)住民参画について 94
(5)地域活動やボランティア活動への参加意向 95
13　行財政について 96
(1)行財政改革に関する進捗状況について 96
(2)今後の行財政改革で重点を置くべき項目 97
14　生活環境や行政サービスの満足度について 98
(1)満足度について 98
15　幸福度について 109
(1)幸せの程度について 109
(2)幸せの判断基準について 112
(3)幸せの判断で重視することについて 113
16　前回との比較について 115
(1)町の満足度評価の比較について 115
(2)今後の行政改革で重点を置くべき項目の比較について 123
17　満足度と愛着度、定住意向、暮らしやすさとの相関について 124
(1)満足度と愛着度の関連について 124

（2）満足度と定住意向の関連について……127
（3）満足度とまちの暮らしやすさの関連について……130
18　自由意見について……133

調査結果から見える課題

1　アンケート調査から見える課題……149
2　自由回答から見える課題……152

調査概要

1　調査の目的

本町では、第７次総合計画（平成 31 年度～平成 40 年度）の策定に当たって、今後期待するまちづくりの方向、各分野における現状評価や前回調査との比較、施策要望など、町民の意識構造の実態を把握し、計画策定や施策推進に役立てることを目的としたアンケート調査を実施しました。

2　調査の方法

〇調査対象：2,000 名（無作為抽出）
〇調査期間：平成 29 年 12 月 13 日～12 月 29 日
〇調査方法：郵送配布・郵送回収
〇配布・回収状況：

	配布数	回収数	回収率
住民対象	2,000 票	756 票	37.8%

3　この報告書の見方

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

〇「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
〇「ｎ」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
〇百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第 2 位以下を四捨五入し、小数第 1 位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が 100%を超えることがあります。

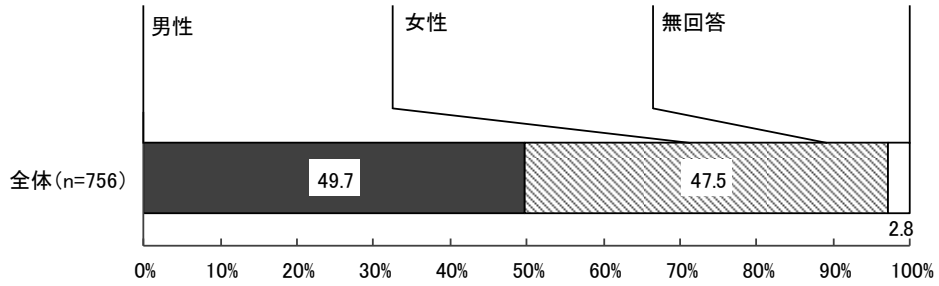
調査結果

1　回答者の属性

問１　本調査にご回答頂くあなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで１つに○印をつけてください。

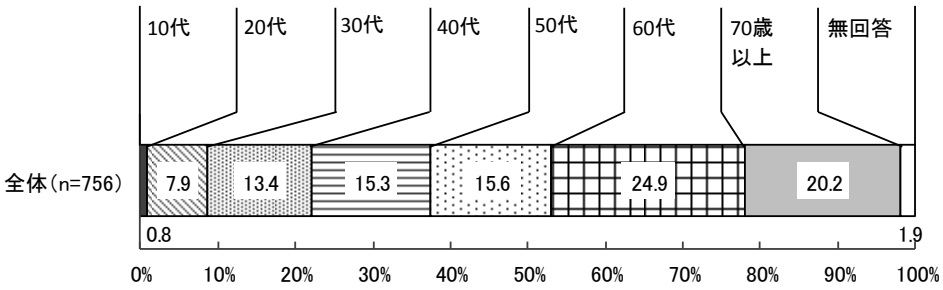
①性別

回答者の性別構成は、「男性」が 49.7%、「女性」が 47.5%となっています。



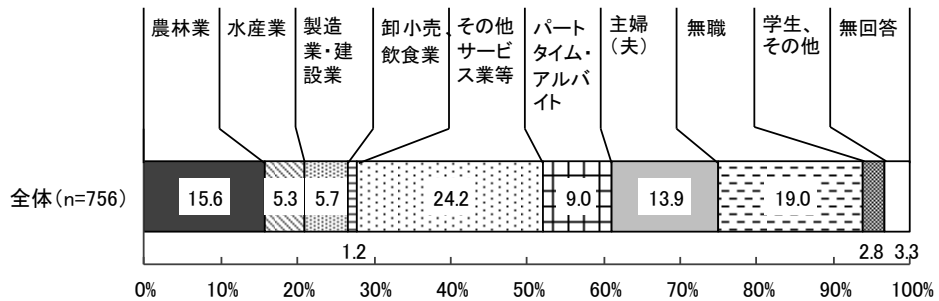
②年齢

回答者の年齢構成は、「60 代」が 24.9%と最も高く、次いで「70 歳以上」が 20.2%、「50 代」が 15.6%、「40 代」が 15.3%、「30 代」が 13.4%、「20 代」が 7.9%、「10 代」が 0.8%となっています。



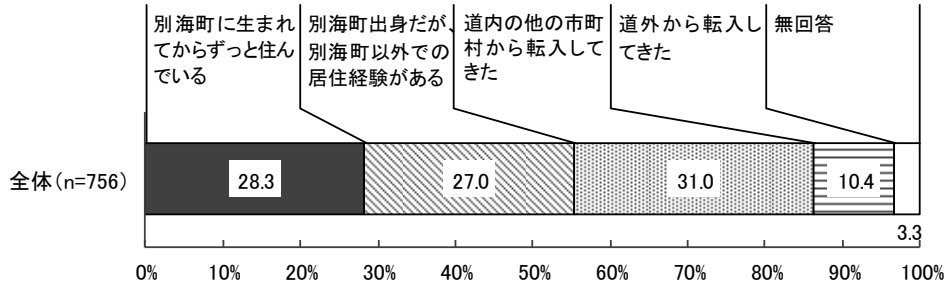
③職業

回答者の職業構成は、「その他サービス業等」が 24.2%と最も高く、次いで「無職」が 19.0%、「農林業」が 15.6%、「主婦（夫）」が 13.9%、「パートタイム・アルバイト」が 9.0%、「製造業・建設業」が 5.7%、「水産業」が 5.3%、「学生、その他」が 2.8%、「卸小売、飲食業」が 1.2%となっています。



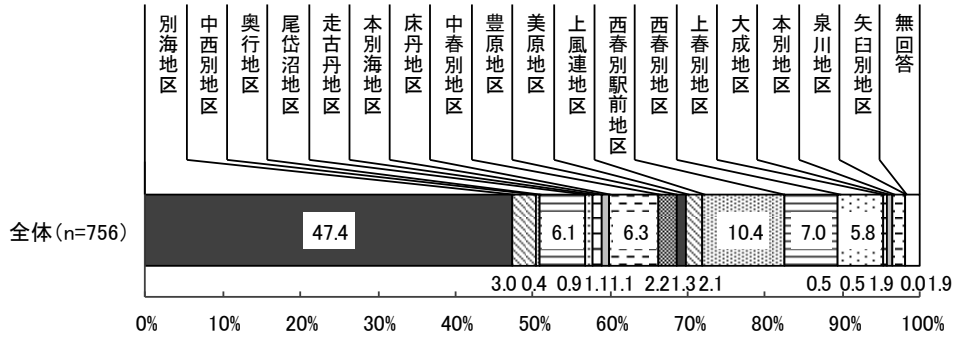
④居住歴

回答者の居住歴は、「道内の他の市町村から転入してきた」が 31.0%と最も高く、次いで「別海町に生まれてからずっと住んでいる」が 28.3%、「別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある」が 27.0%、「道外から転入してきた」が 10.4%となっています。



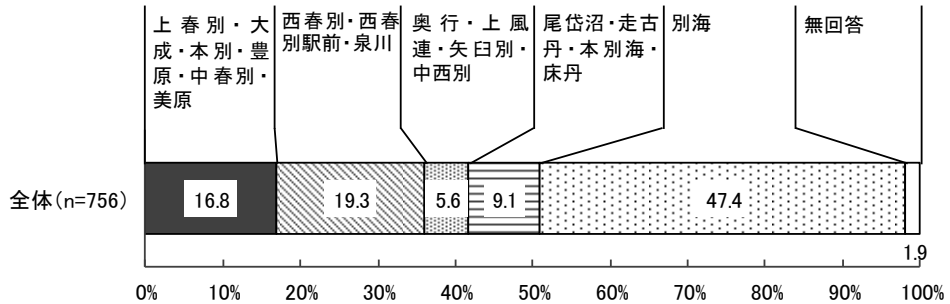
⑤居住地区

回答者の居住地区は、「別海地区」が 47.4%と最も高く、次いで「西春別駅前地区」が 10.4%、「西春別地区」が 7.0%、「中春別地区」が 6.3%、「尾岱沼地区」が 6.1%、「上春別地区」が 5.8%、「中西別地区」が 3.0%、「豊原地区」が 2.2%、「上風連地区」が 2.1%、「泉川地区」が 1.9%、「美原地区」が 1.3%、「本別海地区」及び「床丹地区」が 1.1%、「走古丹地区」が 0.9%、「大成地区」及び「本別地区」が 0.5%、「奥行地区」が 0.4%となっています。



⑥居住地域

回答者の居住地域は、「別海」が 47.4%で最も高く、次いで「西春別・西春別駅前・泉川」が 19.3%、「上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原」が 16.8%、「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」が 9.1%、「奥行・上風連・矢臼別・中西別」が 5.6%となっています。



2　愛着度・定住意向について

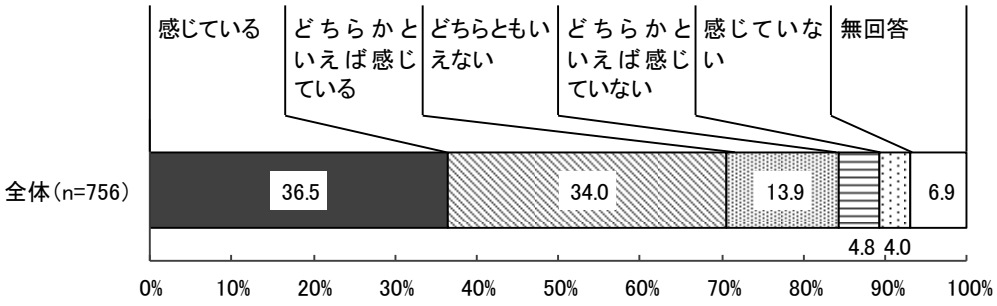
（1）まちへの愛着度について

問２　あなたは、別海町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

～『愛着を感じている』が７割、一方、『愛着を感じていない』は１割以下～

まちへの愛着度についてみると、「感じている」（36.5%）と「どちらかといえば感じている」（34.0%）を合計した『愛着を感じている』は 70.5%となっています。一方、「感じていない」（4.0%）と「どちらかといえば感じていない」（4.8%）を合計した『愛着を感じていない』は 8.8%となっています。

図表　まちへの愛着度について

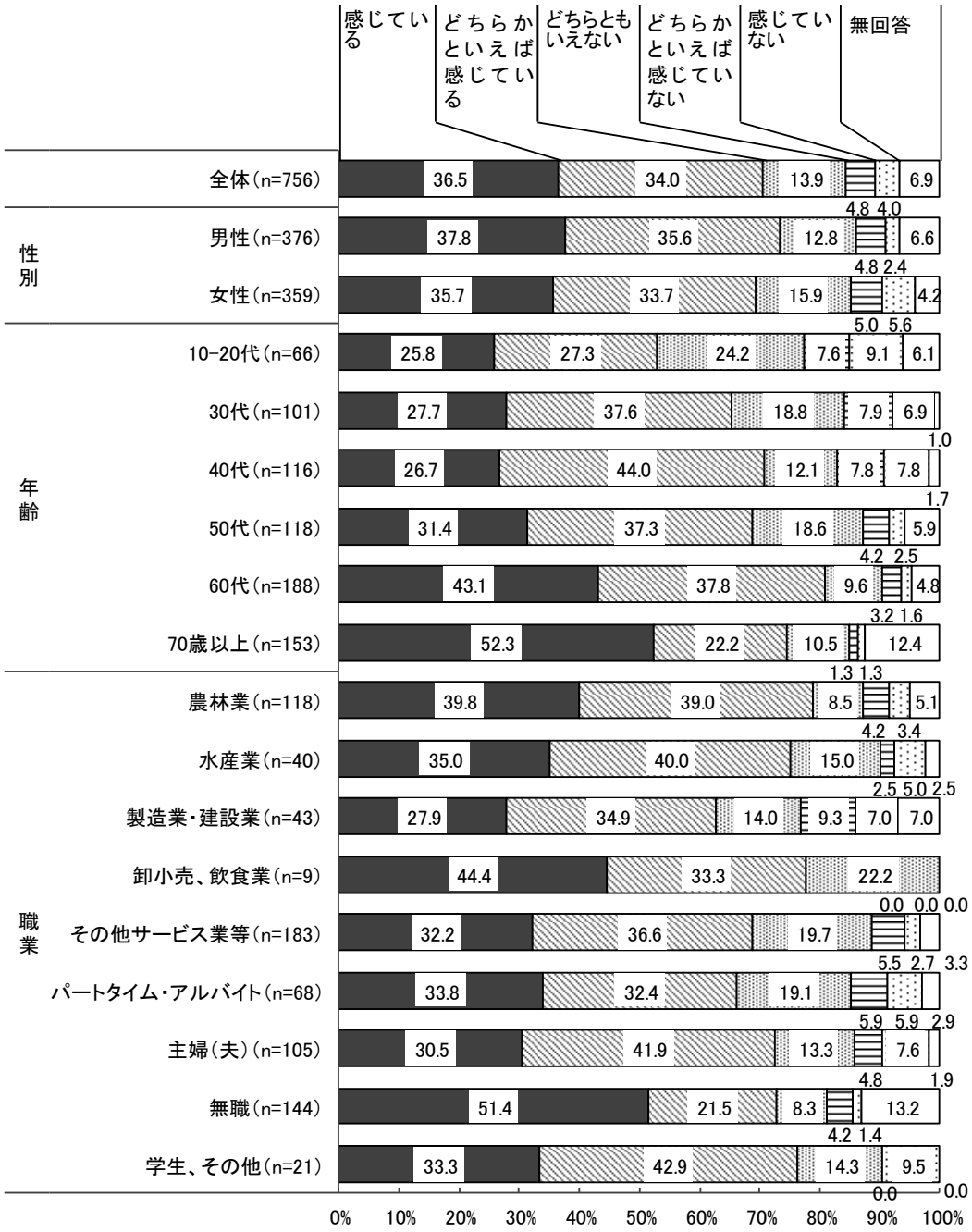


まちへの愛着度について性別でみると、『愛着を感じている』は男性が 73.4%、女性は 69.4%となっており、男性が女性を 4.0 ポイント上回っています。

年齢別にみると、『愛着を感じている』は 10-20 代で 53.1%と低くなっていますが、40 代以上では７割前後から約８割となっており、特に「感じている」は年齢とともに高くなる傾向にあり、70 歳以上では 52.3%と半数を超えています。

職業別にみると、『愛着を感じている』は農林業が 78.8%と最も高く、次いで卸小売、飲食業が 77.7%となっているなど、７割を超える職業が多くなっています。一方で、製造業・建設業は 62.8%と低くなっています。

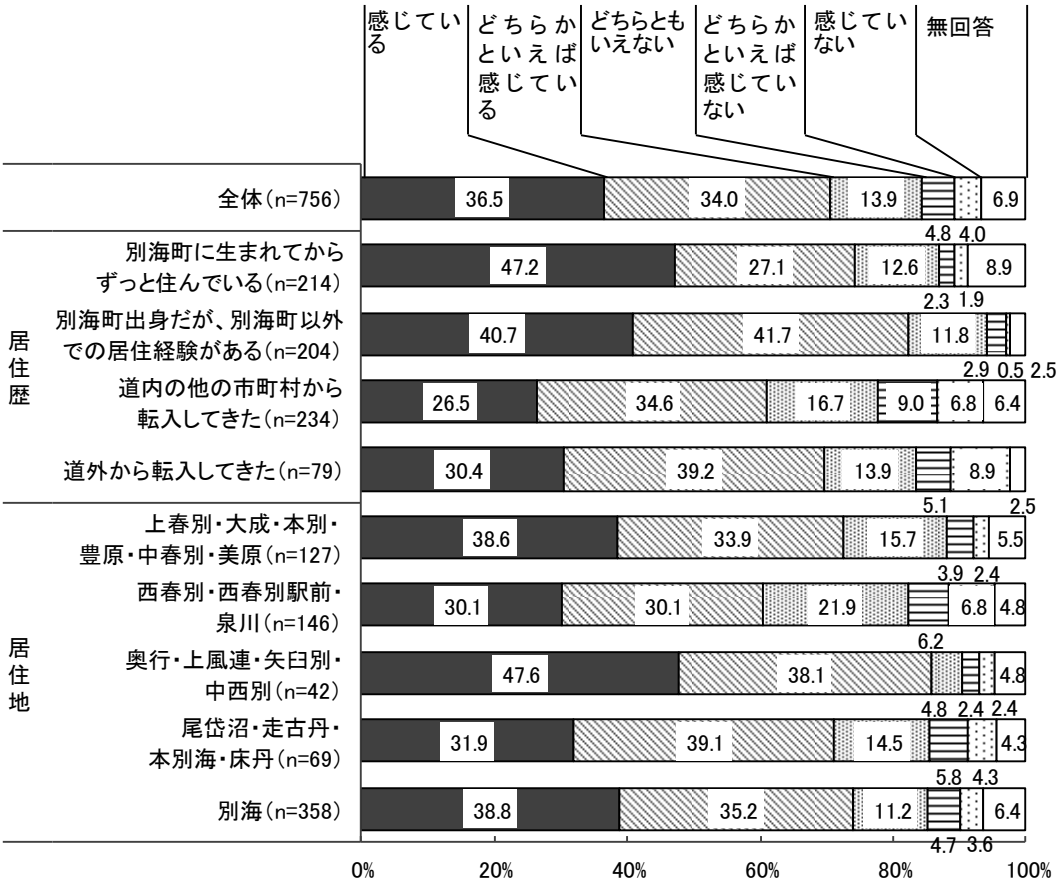
図表　まちへの愛着度について（全体、性別、年齢、職業）



居住歴別にみると、『愛着を感じている』は「別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある」が 82.4%で最も高く、ほかも７割前後となっていますが、「道内の他の市町村から転入してきた」は 61.1%と低くなっています。

居住地別にみると、『愛着を感じている』は「奥行・上風連・矢臼別・中西別」が 85.7%で最も高く、他の居住地においてもおおむね７割を超えていますが、「西春別・西春別駅前・泉川」は 60.2%と低くなっています。

図表　まちへの愛着度について（全体、居住歴、居住地）



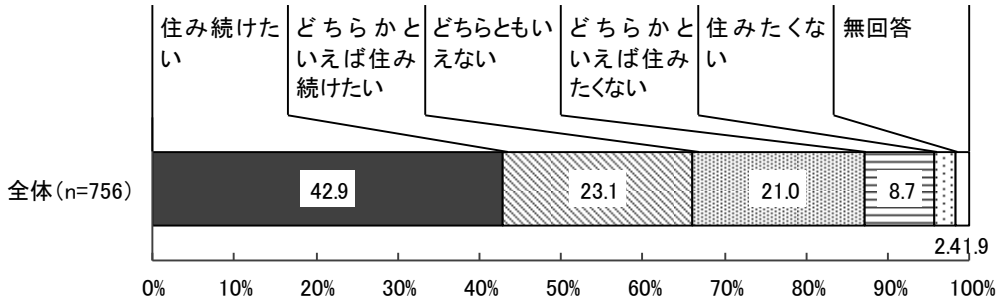
（２）今後の定住意向について

問３　あなたは、今後も別海町に住み続けたいと思いますか。

～『住み続けたい』が６割以上、一方、『住みたくない』は１割台～

今後の定住意向についてみると、「住み続けたい」（42.9%）と「どちらかといえば住み続けたい」（23.1%）を合計した『住み続けたい』は 66.0%となっています。一方、「住みたくない」（2.4%）と「どちらかといえば住みたくない」（8.7%）を合計した『住みたくない』は 11.1%となっています。

図表　今後の定住意向について（全体）

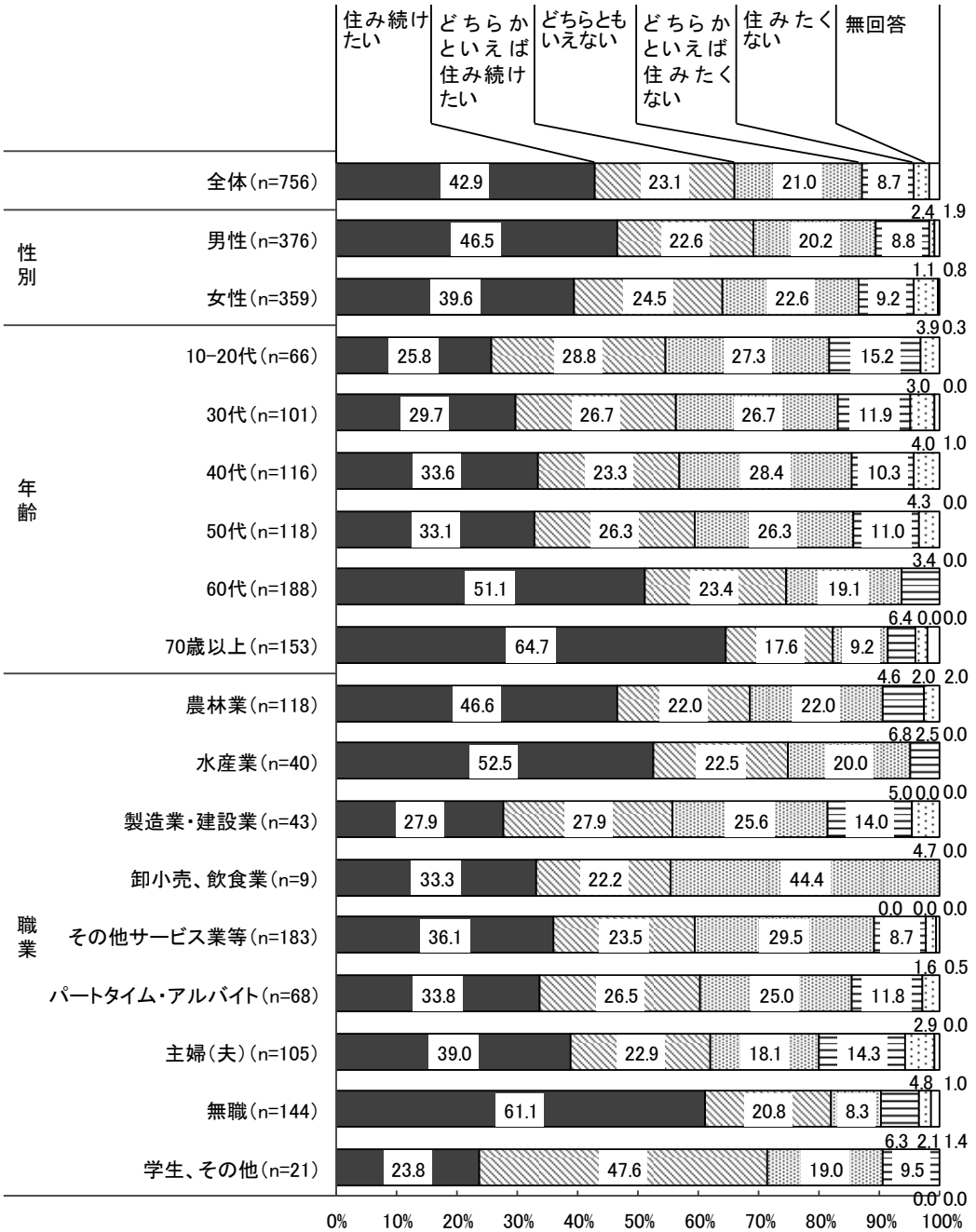


今後の定住意向について性別でみると、『住み続けたい』は、男性が 69.1%、女性は 64.1%となっており、男性が女性を 5.0 ポイント上回っています。

年齢別にみると、『住み続けたい』は、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、10-20 代では 54.6%なのに対し、70 歳以上では 82.3%となっています。また 50 代までは 6 割を下回っていますが、60 代以上では 7 割を超えています。

職業別にみると、『住み続けたい』は、無職が 81.9%と最も高く、次いで水産業が 75.0%となっています。一方で、卸小売、飲食業は 55.5%、製造業・建設業は 55.8%と他の職業よりも低くなっています。

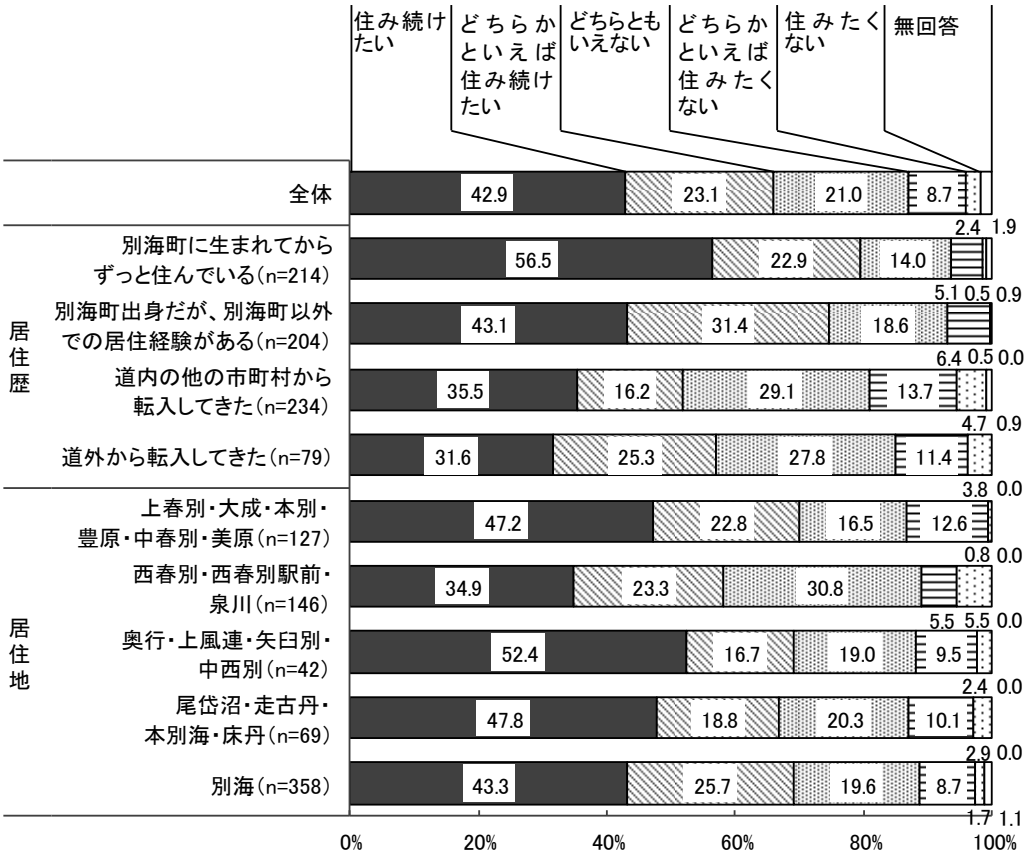
図表　今後の定住意向について（全体、性別、年齢、職業）



居住歴別にみると、『住み続けたい』は、別海町の出身である「別海町に生まれてからずっと住んでいる」と「別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある」は７割を超えていますが、「道内の他の市町村から転入してきた」と「道外から転入してきた」は５割台と差が大きくなっています。

居住地別にみると、『住み続けたい』は、「上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原」が 70.0%と最も高く、他も６割台となっていますが、「西春別・西春別駅前・泉川」は 58.2%と他よりも低くなっています。

図表　今後の定住意向について（全体、居住歴、居住地）



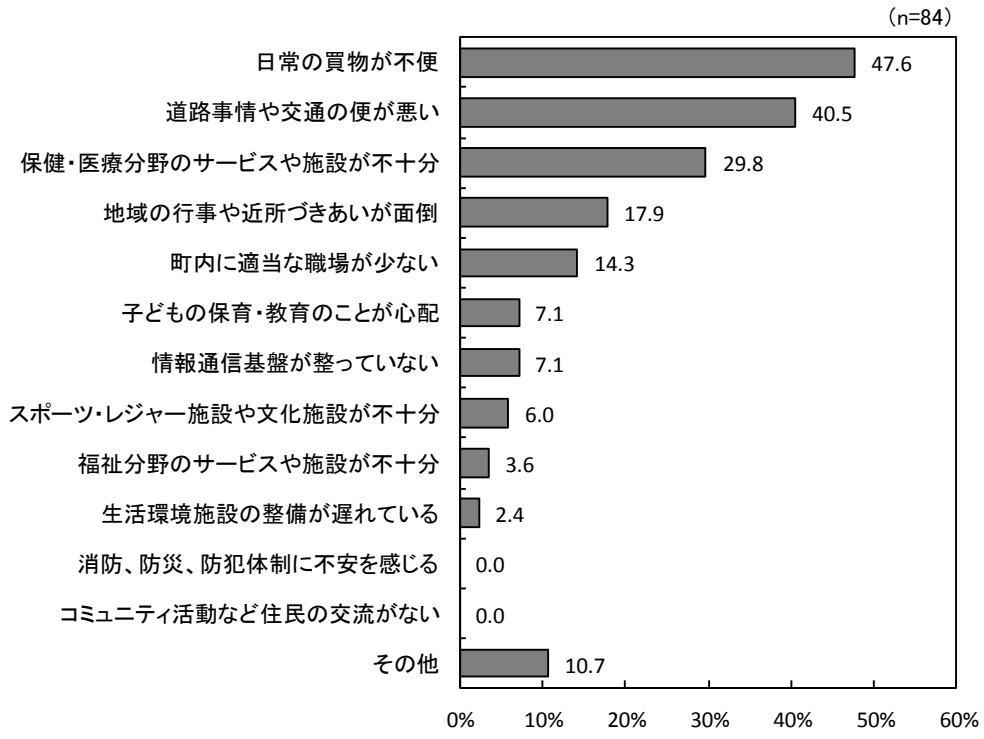
（３）住みたくない主な理由について

問３付問　住みたくないと思う主な理由は何ですか。（問３で「どちらかといえば住みたくない」または「住みたくない」と回答した人のみ）【複数回答】

～「日常の買物が不便」と、
これに次ぐ「道路事情や交通の便が悪い」が４割以上～

問３で別海町に『住みたくない』と回答した人（全体の 11.1%、84 人）を対象にした、住みたくない主な理由についてみると、「日常の買い物が不便」が 47.6%で最も高く、次いで「道路事情や交通の便が悪い」が 40.5%、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」が 29.8%となっています。

図表　住みたくない理由について（全体／複数回答）



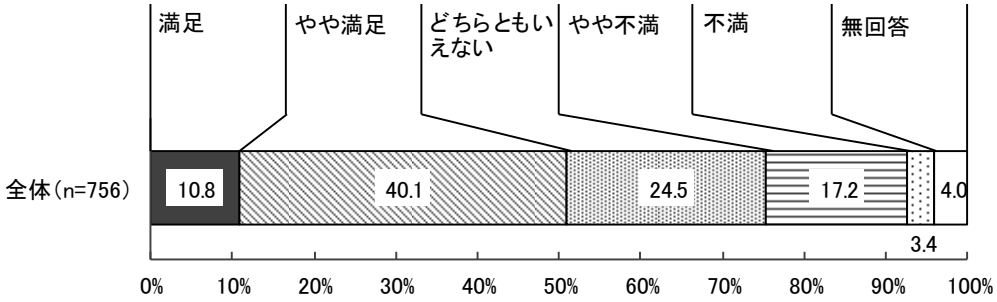
（４）まちの暮らしやすさについて

問４　あなたは、全体的にみた別海町の暮らしやすさについて満足していますか。

～『満足している』が５割、一方、『不満である』は２割～

まちの暮らしやすさについてみると、「満足」（10.8%）と「やや満足」（40.1%）を合計した『満足している』は 50.9%となっています。一方、「不満」（3.4%）と「やや不満」（17.2%）を合計した『不満である』は 20.6%となっています。

図表　まちの暮らしやすさについて（全体）

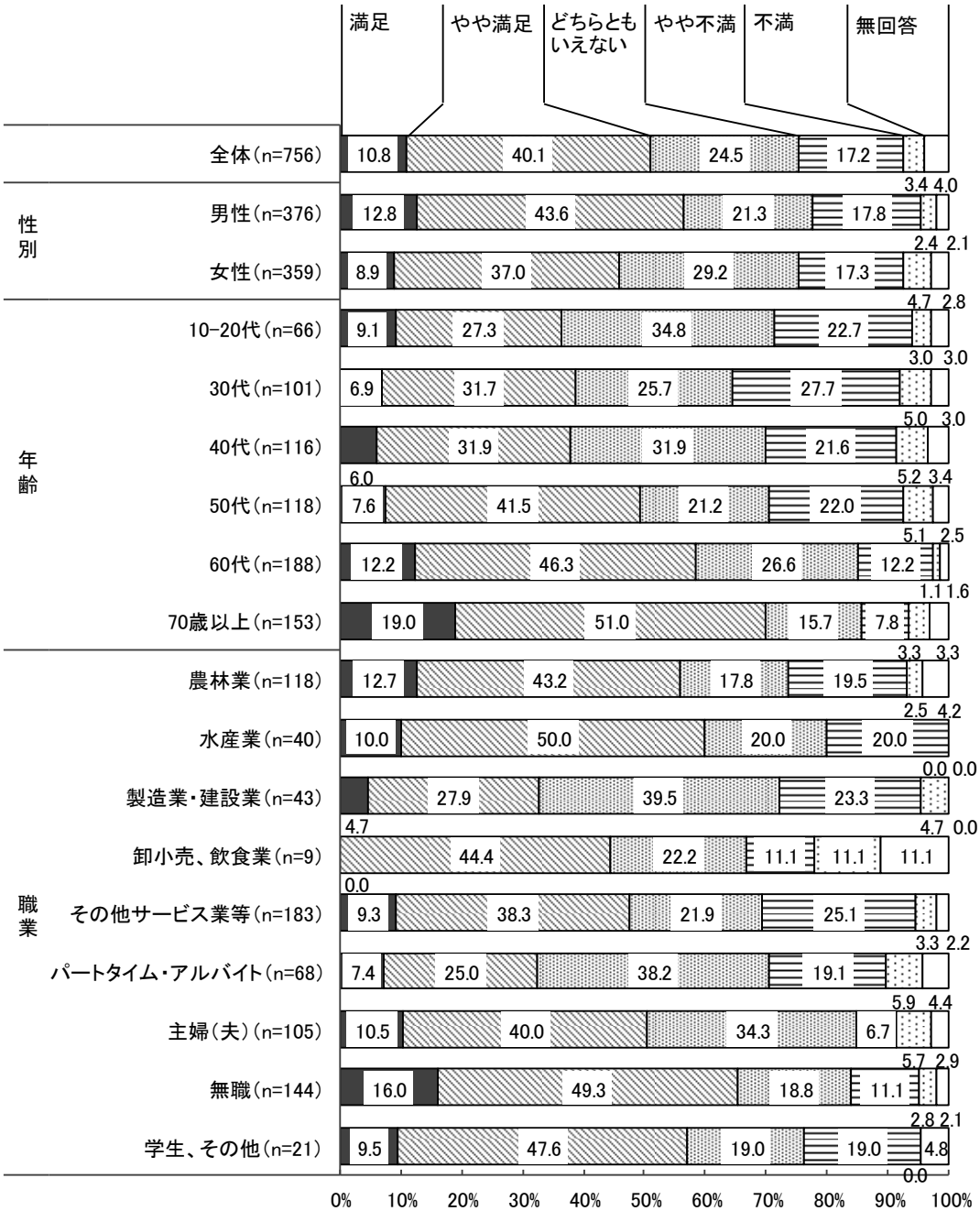


まちの暮らしやすさについて性別でみると、『満足している』は、男性が 56.4%、女性は 45.9%となっており、男性が女性を 10.5 ポイント上回っています。

年齢別にみると、『満足している』は年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、10-20 代では 36.4%なのに対し、70 歳以上では 70.0%となっています。また 40 代までは3割台となっていますが、60 代以上では半数を超えています。

職業別にみると、『満足している』は無職が 65.3%と最も高く、次いで水産業が 60.0%となっています。一方、パートタイム・アルバイトは 32.4%、製造業・建設業は 32.6%と低くなっています。

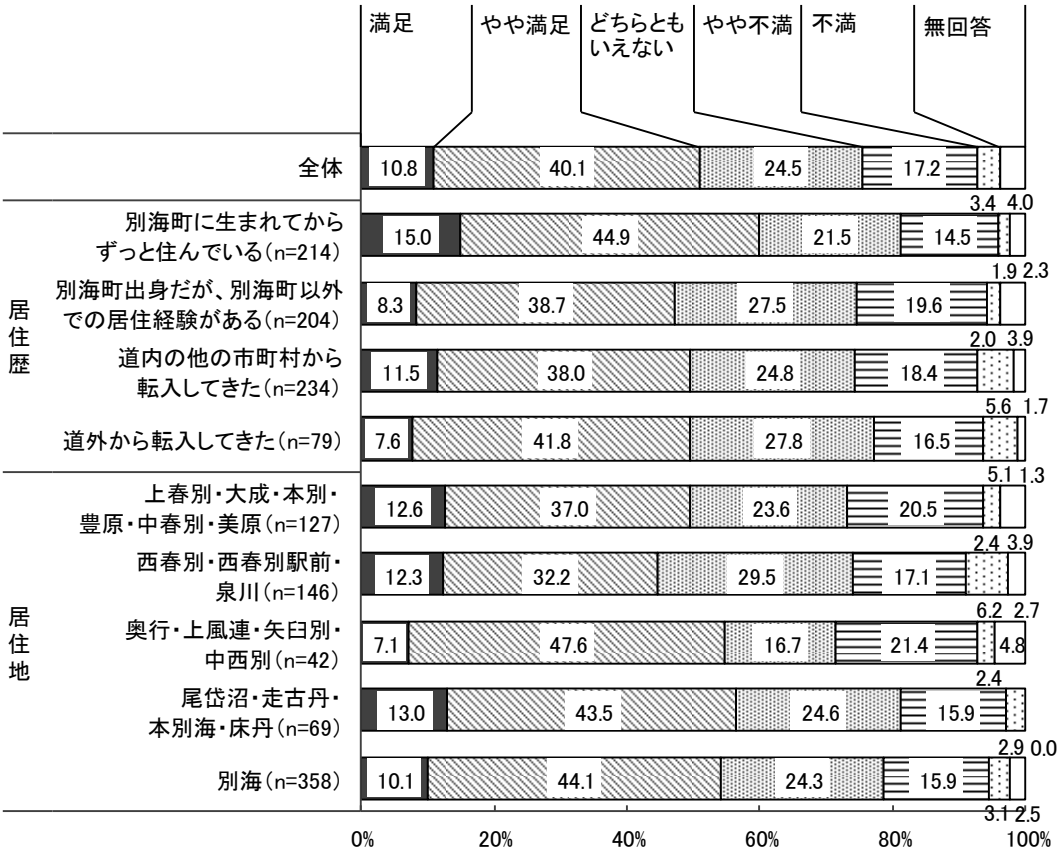
図表　まちの暮らしやすさについて（全体、性別、年齢、職業）



居住歴別にみると、『満足している』は、「別海町に生まれてからずっと住んでいる」が 59.9%と最も高く、ほかはいずれも半数を下回っています。

居住地別にみると、『満足している』は、「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」が 56.5%と最も高く、次いで「奥行・上風連・矢臼別・中西別」が 54.7%、「別海」が 54.2%と半数を超えています。

図表　まちの暮らしやすさについて（全体、居住歴、居住地）



3　これからのまちづくりについて

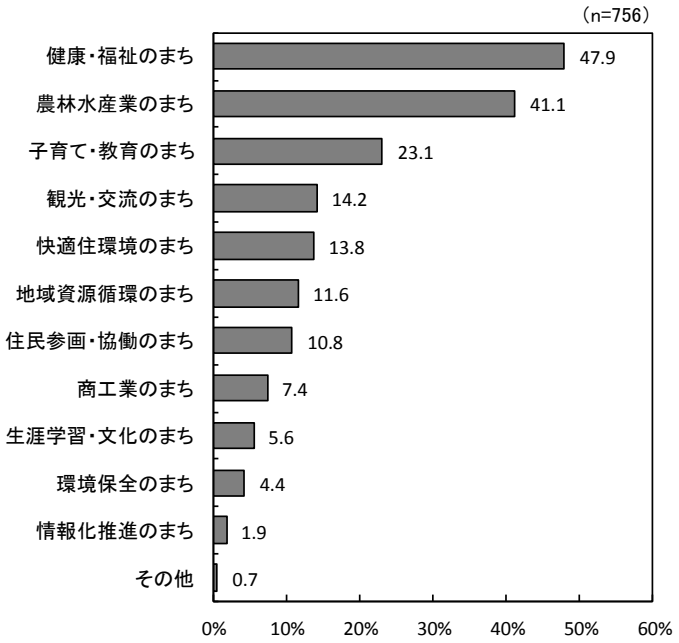
（1）今後のまちづくりの特色について

問 5　あなたは今後のまちづくりについて、別海町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

～「健康・福祉のまち」及び「農林水産業のまち」が４割以上～

今後のまちづくりの特色についてみると、「健康・福祉のまち」が 47.9%と最も高く、「農林水産業のまち」（41.1%）とともに４割を超えており、これらに次いで「子育て・教育のまち」が 23.1%、「観光・交流のまち」が 14.2%、「快適住環境のまち」が 13.8%となっています。

図表　今後のまちづくりの特色について（全体／複数回答）



グラフでの表記	設問での表記
健康・福祉のまち	人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち
農林水産業のまち	第1次産業を中心として発展する農林水産業のまち
子育て・教育のまち	子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち
観光・交流のまち	ラムサール条約登録湿地である野付半島・野付湾、風蓮湖をはじめ、雄大な農村景観を活用し、観光・レクリエーションや交流事業を進める観光・交流のまち
快適住環境のまち	快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち
地域資源循環のまち	リサイクルや家畜糞尿を主体としたバイオマスエネルギー、太陽光、風力、水力などの自然エネルギーの利活用を進める地域資源循環のまち
住民参画・協働のまち	住民と行政とが協力してまちづくりを行う住民参画・協働のまち
商工業のまち	企業誘致や地場産業の振興による商工業のまち
生涯学習・文化のまち	生涯学習活動や芸術・文化・スポーツ活動が活発な生涯学習・文化のまち
環境保全のまち	自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち
情報化推進のまち	高度情報化時代に対応した情報化推進のまち

今後のまちづくりの特色について性別でみると、男性は「農林水産業のまち」が46.3%、女性は「健康・福祉のまち」が54.6%と最も高くなっています。

年齢別でみると、40代までは「農林水産業のまち」が第1位となっており、50代以上では「健康・福祉のまち」が第1位となっています。また、10-20代と30代では「子育て・教育のまち」が第2位に挙げられています。

図表　今後のまちづくりの特色について（全体、性別、年齢／複数回答）

上位3位；単位：（%）

		第1位	第2位	第3位
全体		健康・福祉のまち 47.9	農林水産業のまち 41.1	子育て・教育のまち 23.1
性別	男性	農林水産業のまち 46.3	健康・福祉のまち 43.1	子育て・教育のまち 22.9
	女性	健康・福祉のまち 54.6	農林水産業のまち 36.2	子育て・教育のまち 24.2
年齢	10-20代	農林水産業のまち 47.0	子育て・教育のまち 36.4	健康・福祉のまち 31.8
	30代	農林水産業のまち 42.6	子育て・教育のまち 42.6	健康・福祉のまち 39.6
	40代	農林水産業のまち 47.4	健康・福祉のまち 40.5	子育て・教育のまち 28.4
	50代	健康・福祉のまち 44.1	農林水産業のまち 36.4	子育て・教育のまち 22.0
	60代	健康・福祉のまち 59.6	農林水産業のまち 37.8	子育て・教育のまち 17.0
	70歳以上	健康・福祉のまち 55.6	農林水産業のまち 41.2	住民参画・協働のまち 15.7

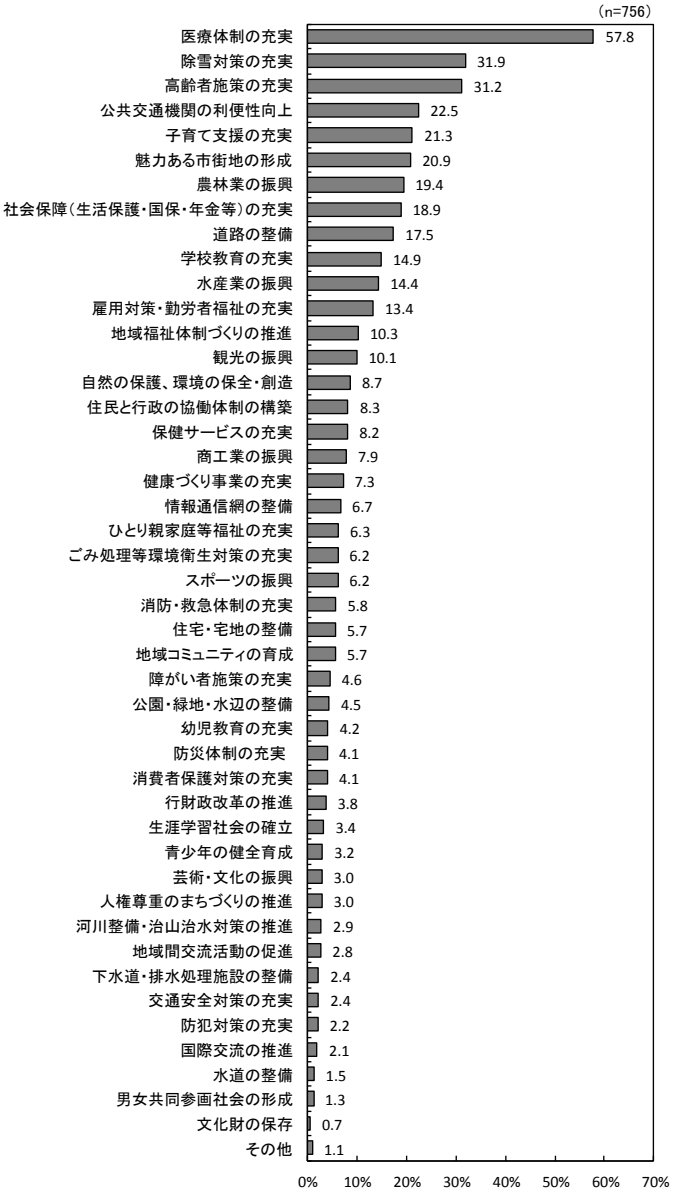
（２）今後力を入れるべき施策について

問６　あなたは、町の取組みのなかで、今後、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。【複数回答】

～「医療体制の充実」が５割以上、
次いで「除雪対策の充実」と「高齢者施策の充実」が３割以上～

今後力を入れるべき施策についてみると、「医療体制の充実」が 57.8%と最も高く、これに次ぐ「除雪対策の充実」（31.9%）、「高齢者施設の充実」（31.2%）よりも 20 ポイント以上も上回っています。さらに、「公共交通機関の利便性向上」（22.5%）、「子育て支援の充実」（21.3%）、「魅力ある市街地の形成」（20.9%）が２割を超えています。

図表　今後力を入れるべき施策について（全体／複数回答）


（n=756）
医療体制の充実 57.8
除雪対策の充実 31.9
高齢者施策の充実 31.2
公共交通機関の利便性向上 22.5
子育て支援の充実 21.3
魅力ある市街地の形成 20.9
農林業の振興 19.4
社会保障（生活保護・国保・年金等）の充実 18.9
道路の整備 17.5
学校教育の充実 14.9
水産業の振興 14.4
雇用対策・勤労者福祉の充実 13.4
地域福祉体制づくりの推進 10.3
観光の振興 10.1
自然の保護、環境の保全・創造 8.7
住民と行政の協働体制の構築 8.3
保健サービスの充実 8.2
商工業の振興 7.9
健康づくり事業の充実 7.3
情報通信網の整備 6.7
ひとり親家庭等福祉の充実 6.3
ごみ処理等環境衛生対策の充実 6.2
スポーツの振興 6.2
消防・救急体制の充実 5.8
住宅・宅地の整備 5.7
地域コミュニティの育成 5.7
障がい者施策の充実 4.6
公園・緑地・水辺の整備 4.5
幼児教育の充実 4.2
防災体制の充実 4.1
消費者保護対策の充実 4.1
行財政改革の推進 3.8
生涯学習社会の確立 3.4
青少年の健全育成 3.2
芸術・文化の振興 3.0
人権尊重のまちづくりの推進 3.0
河川整備・治山治水対策の推進 2.9
地域間交流活動の促進 2.8
下水道・排水処理施設の整備 2.4
交通安全対策の充実 2.4
防犯対策の充実 2.2
国際交流の推進 2.1
水道の整備 1.5
男女共同参画社会の形成 1.3
文化財の保存 0.7
その他 1.1
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%

今後力を入れるべき施策について性別でみると、「医療体制の充実」が男性（57.2%）、女性（59.9%）ともに第１位となっていますが、第２位は男性が「除雪対策の充実」（29.5%）、女性は「高齢者施策の充実」（36.5%）となっています。

年齢別にみると、第１位は 10-20 代が「除雪対策の充実」（48.5%）であるのを除いて、すべての年代で「医療体制の充実」となっています。また、「子育て支援の充実」は 30 代で第２位（47.5%）、10-20 代で第３位（27.3%）と高くなっています。50 代以上では第２位が「高齢者施策の充実」となっています。

図表　今後力を入れるべき施策について（全体、性別、年齢／複数回答）

上位５位；単位：（%）

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		医療体制の充実 57.8	除雪対策の充実 31.9	高齢者施策の充実 31.2	公共交通機関の利便性向上 22.5	子育て支援の充実 21.3
性別	男性	医療体制の充実 57.2	除雪対策の充実 29.5	高齢者施策の充実 27.1	子育て支援の充実 23.4	魅力ある市街地の形成 23.1
	女性	医療体制の充実 59.9	高齢者施策の充実 36.5	除雪対策の充実 33.4	公共交通機関の利便性向上 29.2	社会保障の充実 22.3
年齢	10-20 代	除雪対策の充実 48.5	医療体制の充実 48.5	子育て支援の充実 27.3	魅力ある市街地の形成／道路の整備 25.8	
	30 代	医療体制の充実 54.5	子育て支援の充実 47.5	除雪対策の充実 38.6	学校教育の充実 28.7	道路の整備／観光の振興 22.8
	40 代	医療体制の充実 62.1	除雪対策の充実 30.2	学校教育の充実 25.9	子育て支援の充実 25.0	魅力ある市街地の形成 24.1
	50 代	医療体制の充実 61.0	高齢者施策の充実 35.6	除雪対策の充実 33.1	農林業の振興 22.0	子育て支援の充実 21.2
	60 代	医療体制の充実 61.2	高齢者施策の充実 48.9	社会保障の充実 31.4	除雪対策の充実 25.5	公共交通機関の利便性向上 23.9
	70 歳以上	医療体制の充実 55.6	高齢者施策の充実 41.2	公共交通機関の利便性向上 33.3	除雪対策の充実 28.1	魅力ある市街地の形成 25.5

4　生活基盤について

（1）市街地の整備状況について

問7　市街地整備についておたずねします。

①あなたは、町の市街地の整備状況について満足していますか。

～『満足している』が3割以上、『不満である』は2割台～

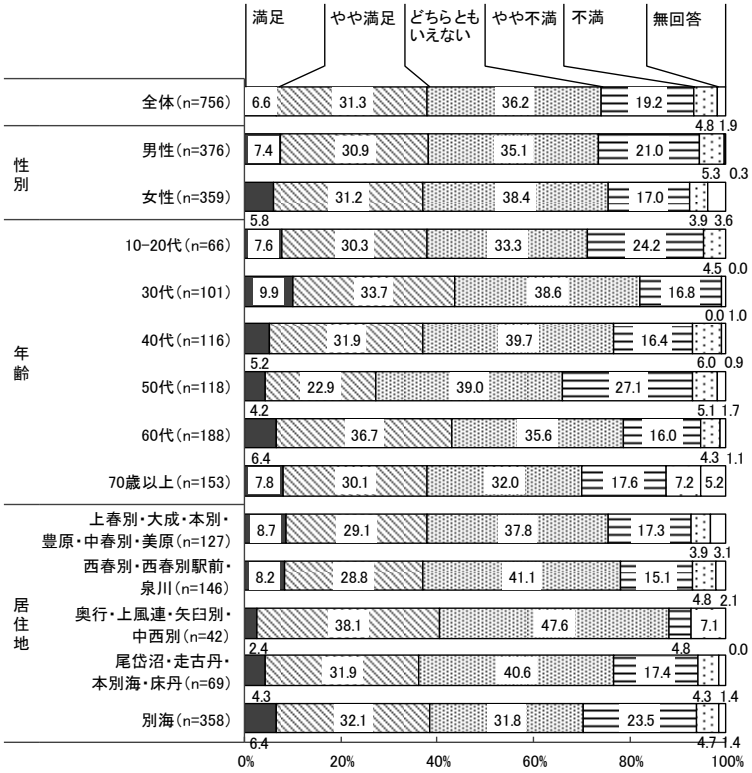
市街地の整備状況について全体をみると、「満足」（6.6%）と「やや満足」（31.3%）を合計した『満足している』は37.9%となっており、「不満」（4.8%）と「やや不満」（19.2%）を合計した『不満である』の24.0%を13.9ポイント上回っています。

性別でみると、『満足している』は男性が38.3%、女性は37.0%と大きな差はありません。

年齢別でみると、『満足している』は30代から50代にかけて年代が上がるにつれて割合が減少しており、最も高い30代（43.6%）と最も低い50代（27.1%）では16.5ポイントの差があります。また、50代では『不満である』（32.2%）が『満足している』（27.1%）を上回っています。

居住地別でみると、『満足している』は「奥行・上風連・矢臼別・中西別」が40.5%と最も高く、次いで「別海」が38.5%、「上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原」が37.8%となっており、居住地による大きな差はみられません。

図表　市街地の整備状況について（全体、性別、年齢、居住地）



（２）街並み景観について

問７　市街地整備についておたずねします。

②あなたは、お住まいの周りの街並み景観について満足していますか。

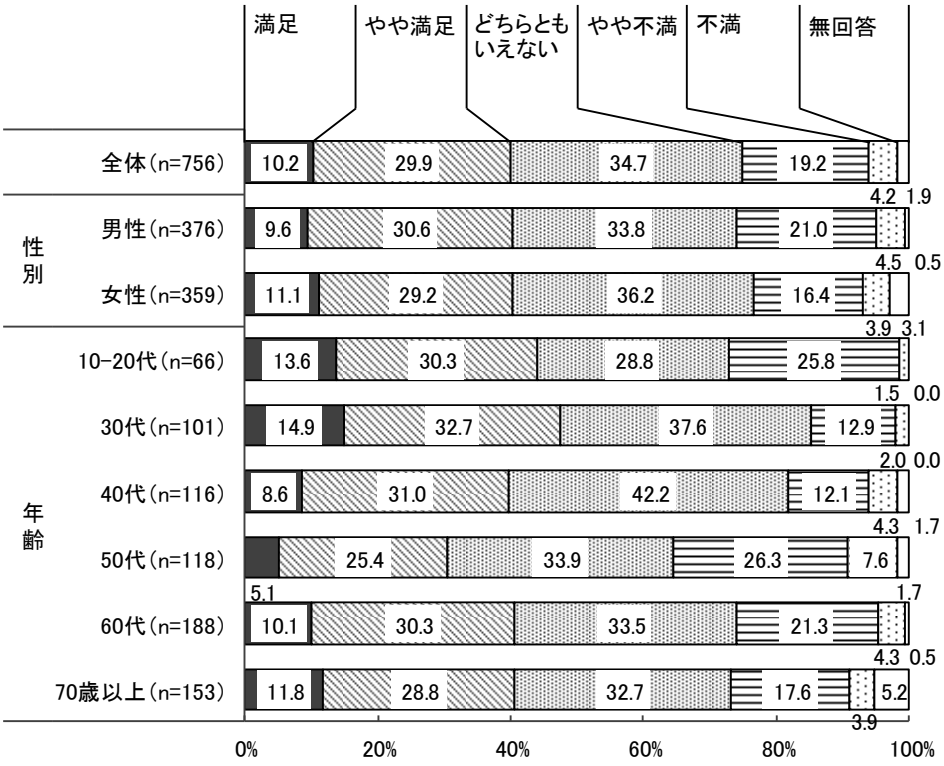
～『満足している』が４割、『不満である』は２割台～

住まいの周りの街並み景観について全体をみると、「満足」（10.2%）と「やや満足」（29.9%）を合計した『満足している』は 40.1%となっており、「不満」（4.2%）と「やや不満」（19.2%）を合計した『不満である』の 23.4%を 16.7 ポイント上回っています。

性別でみると、『満足している』は男性が 40.2%、女性は 40.3%と大きな差はありません。

年齢別でみると、『満足している』は 30 代から 50 代にかけて年代が上がるにつれて割合が減少しており、最も高い 30 代（47.6%）と最も低い 50 代（30.5%）では 17.1 ポイントの差があります。また、50 代では『不満である』（33.9%）が『満足している』（30.5%）を上回っています。

図表　街並み景観について（全体、性別、年齢）



（３）道路整備状況について

問８　道路・公共交通についておたずねします。

①あなたは、町の道路の整備状況について満足していますか。

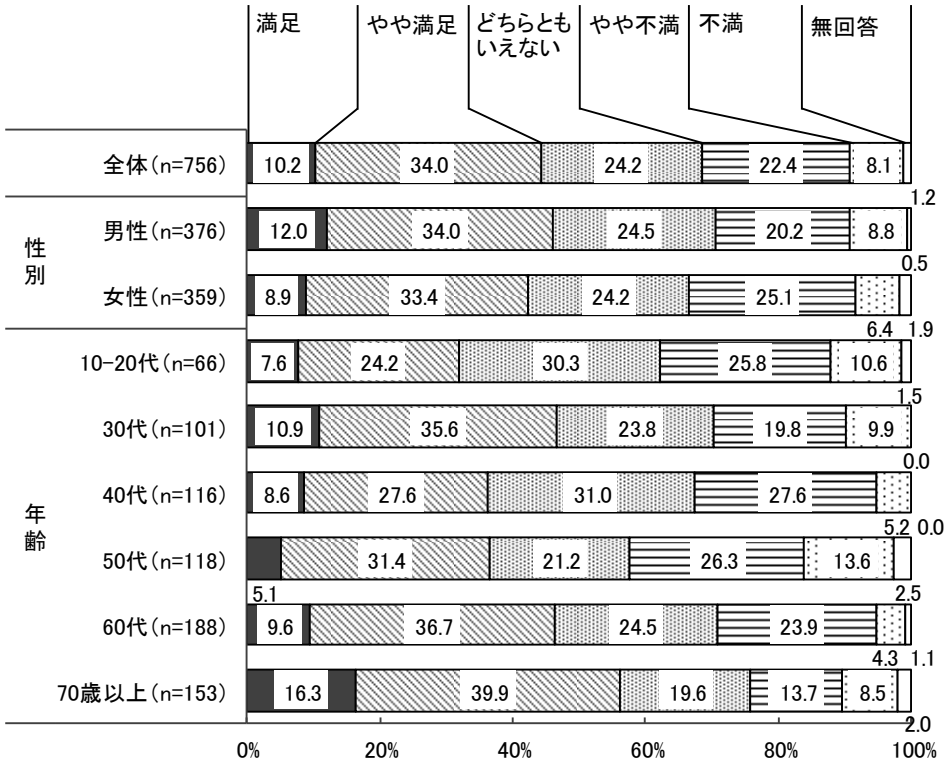
～『満足している』が４割以上、『不満である』は３割台～

町の道路の整備状況について全体をみると、「満足」（10.2%）と「やや満足」（34.0%）を合計した『満足している』は 44.2%となっており、「不満」（8.1%）と「やや不満」（22.4%）を合計した『不満である』の 30.5%を 13.7 ポイント上回っています。

性別でみると、『満足している』は男性が 46.0%、女性は 42.3%と、男性が女性を 3.7 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 56.2%と最も高く、最も低い 10-20 代（31.8%）を 24.4 ポイント上回っています。また、10-20 代と 50 代では『不満である』（36.4%、39.9%）が『満足している』（31.8%、36.5%）を上回っています。

図表　道路の整備状況について（全体、性別、年齢）



（４）公共交通機関の利便性について

問８　道路・公共交通についておたずねします。

②あなたは、町の公共交通機関（バスなど）の便利さについて満足していますか。

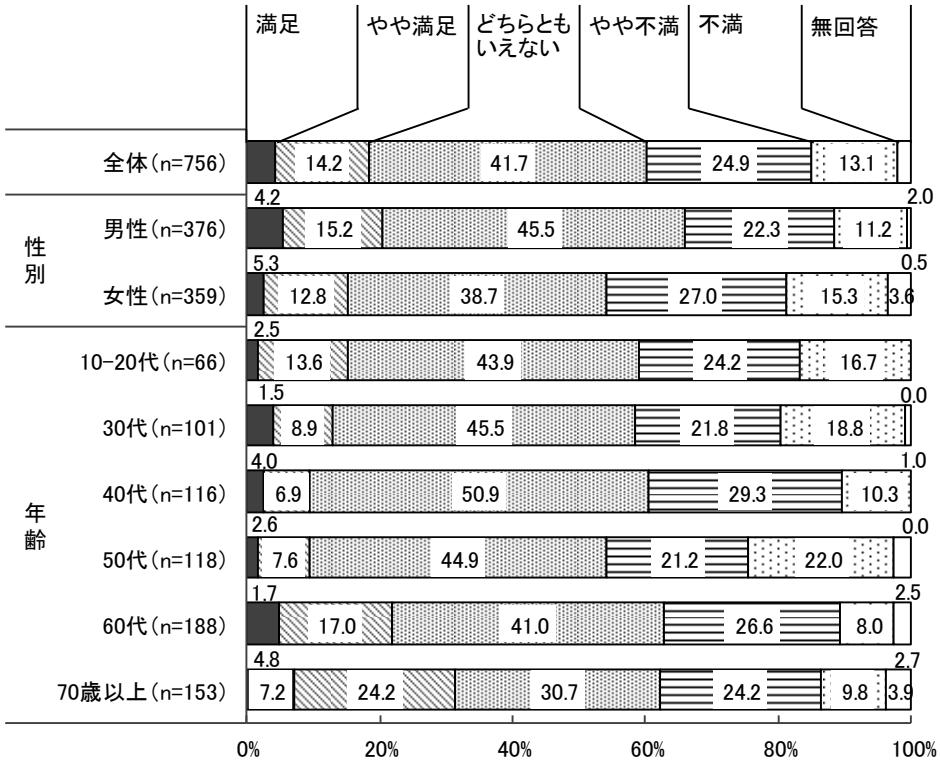
～『不満である』が４割弱、『満足している』は２割弱～

町の公共交通機関（バスなど）の利便性について全体をみると、「満足」（4.2%）と「やや満足」（14.2%）を合計した『満足している』は 18.4%となっており、「不満」（13.1%）と「やや不満」（24.9%）を合計した『不満である』の 38.0%を 19.6 ポイント下回っています。

性別でみると、『満足している』は男性が 20.5%、女性は 15.3%と、男性が女性を 5.2 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 10-20 代から 50 代にかけて年代が上がるにつれて減少し、60 代、70 歳以上で増加しています。70 歳以上が 31.4%と最も高く、最も低い 50 代（9.3%）を 22.1 ポイント上回っています。また、いずれの年代も『不満である』が『満足している』を上回っています。

図表　公共交通機関の利便性について（全体、性別、年齢）



（５）今後必要な道路交通手段について

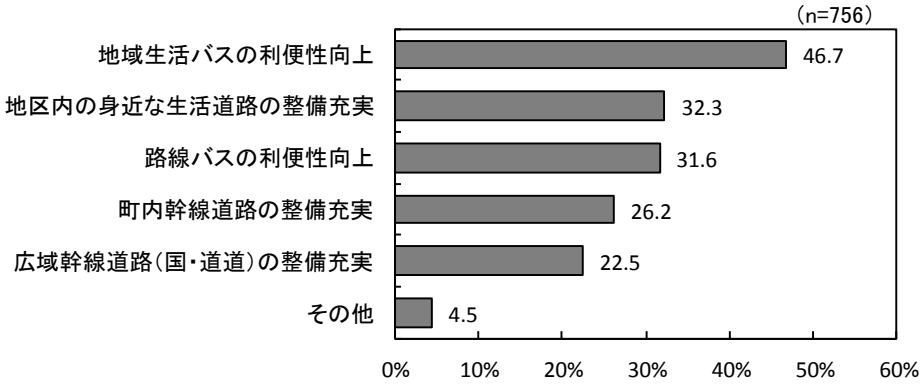
問８　道路・公共交通についておたずねします。

③今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。【複数回答】

～「地域生活バスの利便性向上」が４割以上、次いで
「地区内の身近な生活道路の整備充実」と「路線バスの利便性向上」が３割台～

今後町及びその周辺で必要な道路交通手段についてみると、「地域生活バスの利便性向上」が 46.7%と最も高く、これに次ぐ「地域内の身近な生活道路の整備充実」（32.3%）や「路線バスの利便性向上」（31.6%）よりも 10 ポイント以上上回っています。さらに、「町内幹線道路の整備充実」が 26.2%、「広域幹線道路（国・道道）の整備充実」が 22.5%となっています。

図表　今後必要な道路交通手段について（全体／複数回答）



（６）公営住宅の整備状況について

問９　住宅・公園・緑地についておたずねします。

①あなたは、町の住宅の整備状況について満足していますか。

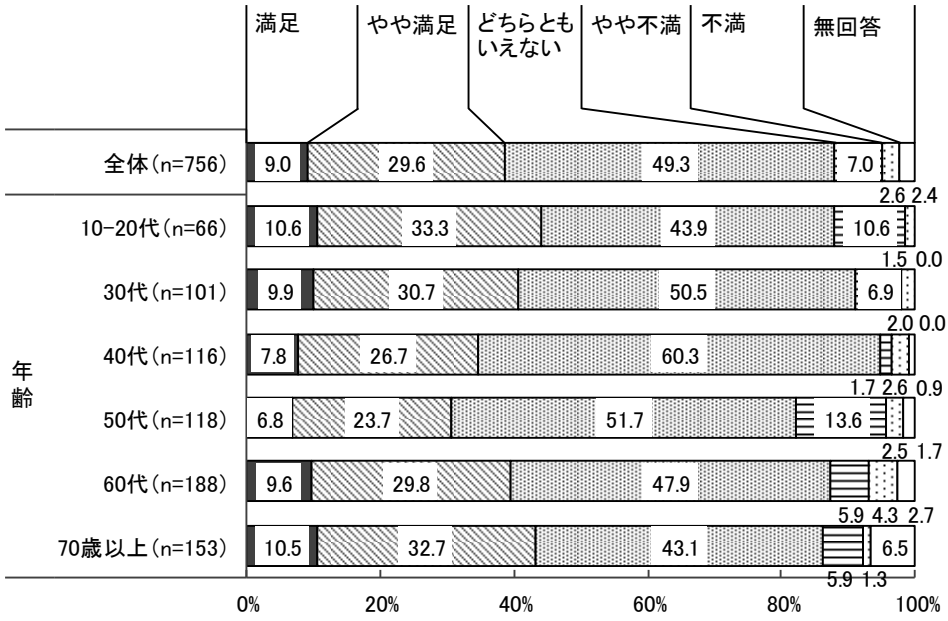
～「どちらともいえない」が５割弱、

『満足している』は４割弱、『不満である』は１割弱～

町の住宅の整備状況について全体をみると、「満足」（9.0%）と「やや満足」（29.6%）を合計した『満足している』は 38.6%となっており、「不満」（2.6%）と「やや不満」（7.0%）を合計した『不満である』の 9.6%を 29.0 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 49.3%と高くなっています。

年齢別でみると、『満足している』は 10-20 代から 50 代にかけて年代が上がるにつれて減少し、60 代、70 歳以上で増加しています。10-20 代が 43.9%と最も高く、最も低い 50 代（30.5%）を 13.4 ポイント上回っています。また、いずれの年代も『満足している』が『不満である』を上回っています。

図表　公営住宅の整備状況について（全体、年齢）



（７）公園・緑地の整備状況について

問９　住宅・公園・緑地についておたずねします。

②あなたは、町の公園・緑地の整備状況について満足していますか。

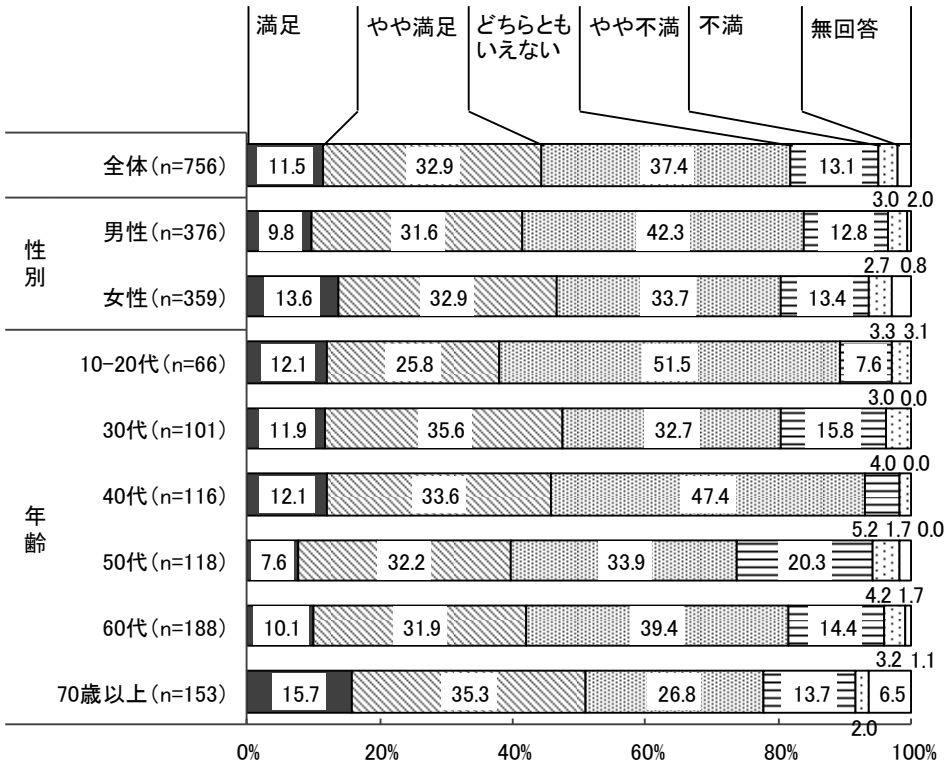
～『満足している』が４割以上、『不満である』は１割台～

公園・緑地の整備状況について全体をみると、「満足」（11.5%）と「やや満足」（32.9%）を合計した『満足している』は 44.4%となっており、「不満」（3.0%）と「やや不満」（13.1%）を合計した『不満である』の 16.1%を 28.3 ポイント上回っています。

性別でみると、『満足している』は男性が 41.4%、女性は 46.5%と、女性が男性を 5.1 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 30 代から 50 代にかけて年代が上がるにつれて減少し、60 代、70 歳以上で増加しています。70 歳以上が 51.0%と最も高く、最も低い 10-20 代（37.9%）を 13.1 ポイント上回っています。また、いずれの年代も『満足している』が『不満である』を上回っています。

図表　公園・緑地の整備状況について（全体、性別、年齢）



（８）水道の整備状況について

問 10　水道についておたずねします。

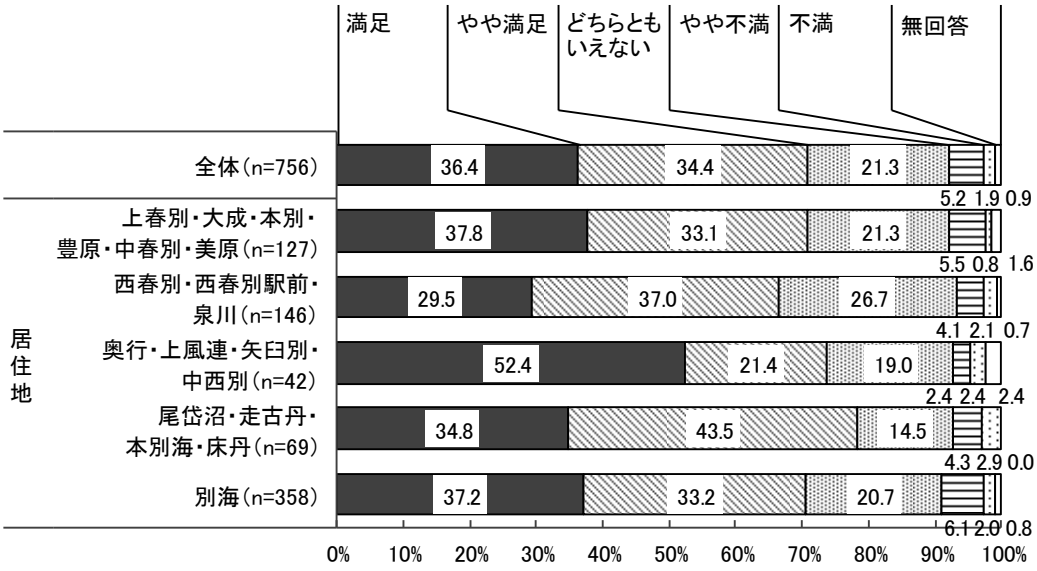
あなたは、町の水道の整備状況について満足していますか。

～『満足している』が約７割、『不満である』は１割以下～

水道の整備状況について全体をみると、「満足」（36.4%）と「やや満足」（34.4%）を合計した『満足している』は 70.8%となっており、「不満」（1.9%）と「やや不満」（5.2%）を合計した『不満である』の 7.1%を 63.7 ポイント上回っています。

居住地別でみると、『満足している』は「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」が 78.3%と最も高く、次いで「奥行・上風連・矢臼別・中西別」が 73.8%となっています。また、最も高い「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」と最も低い「西春別・西春別駅前・泉川」（66.5%）とは 11.8 ポイントの差があります。

図表　水道の整備状況について（全体、居住地）



（９）下水道等の整備状況について

問 11　下水道・排水処理施設についておたずねします。

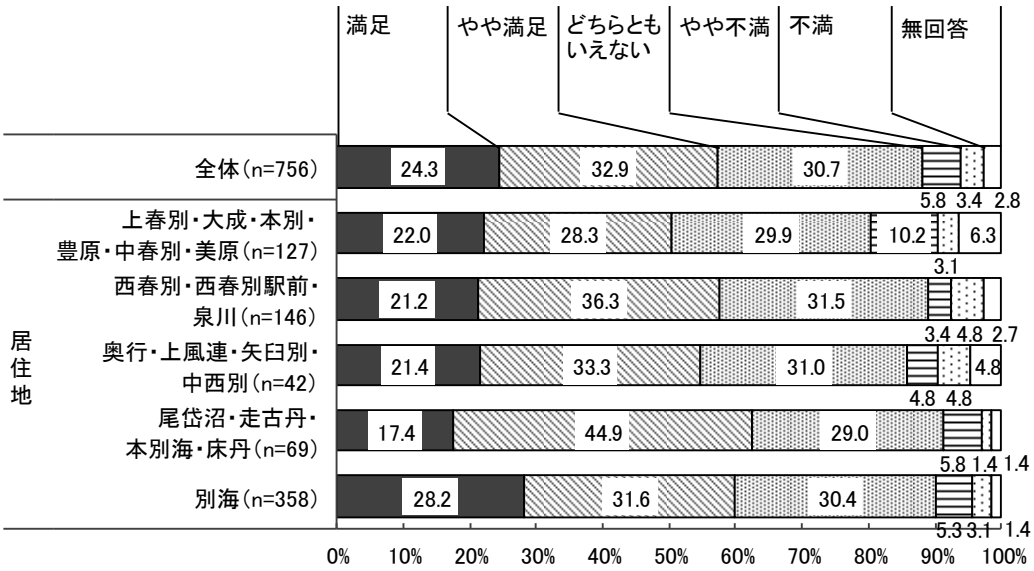
あなたは、町の下水道等（公共下水道、農業集落排水施設、漁業集落排水施設、合併処理浄化槽）の整備状況について満足していますか。

～『満足している』が５割以上、『不満である』は１割以下～

下水道等の整備状況について全体をみると、「満足」（24.3%）と「やや満足」（32.9%）を合計した『満足している』は 57.2%となっており、「不満」（3.4%）と「やや不満」（5.8%）を合計した『不満である』の 9.2%を 48.0 ポイント上回っています。

居住地別でみると、『満足している』は「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」が 62.3%と最も高く、次いで「別海」が 59.8%となっています。また、最も高い「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」と最も低い「上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原」（50.3%）とは 9.5 ポイントの差があります。

図表　下水道等の整備状況について（全体、居住地）



（10）情報通信網の整備状況について

問 12　ＩＣＴ（情報通信技術）についておたずねします。

①あなたは、町の情報通信網（インターネット、携帯電話等）の整備状況について満足していますか。

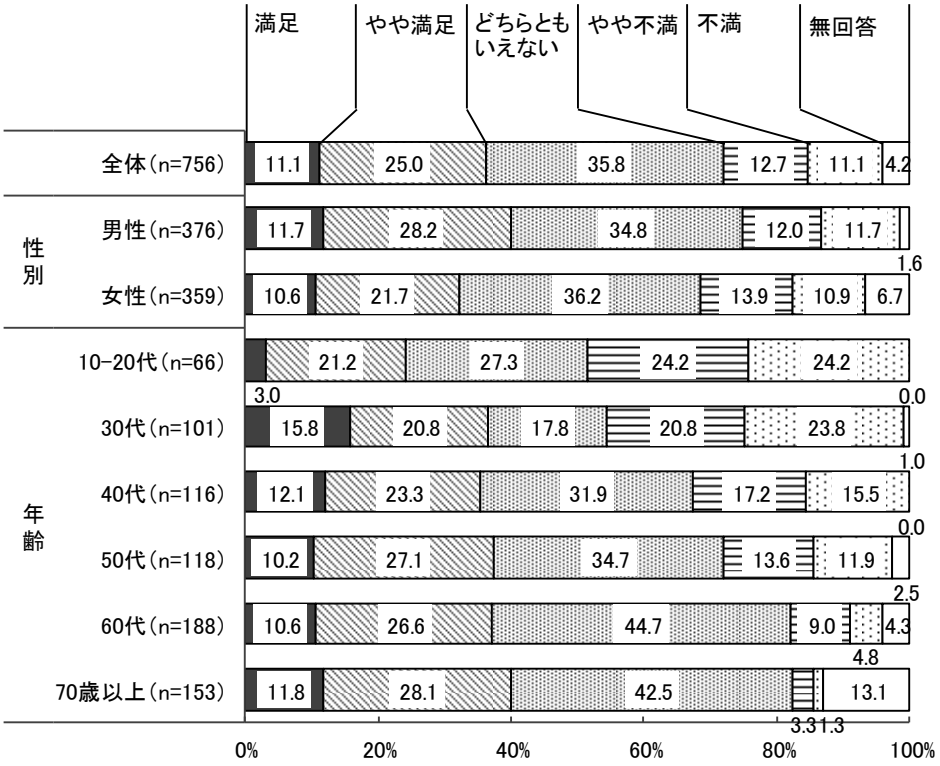
～『満足している』が３割以上、『不満である』は２割台～

情報通信網の整備状況について全体をみると、「満足」（11.1％）と「やや満足」（25.0％）を合計した『満足している』は 36.1％となっており、「不満」（11.1％）と「やや不満」（12.7％）を合計した『不満である』の 23.8％を 12.3 ポイント上回っています。

性別でみると、『満足している』は男性が 39.9％、女性は 32.3％と、男性が女性を 7.6 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 39.9％と最も高く、最も低い 10-20 代（24.2％）を 15.7 ポイント上回っています。また、『不満である』は年代が下がるにつれて割合が上がっており、10-20 代と 30 代では『不満である』が『満足している』を上回っています。

図表　情報通信網の整備状況について（全体、性別、年齢）



（11）高度情報化社会に対応するために必要なことについて

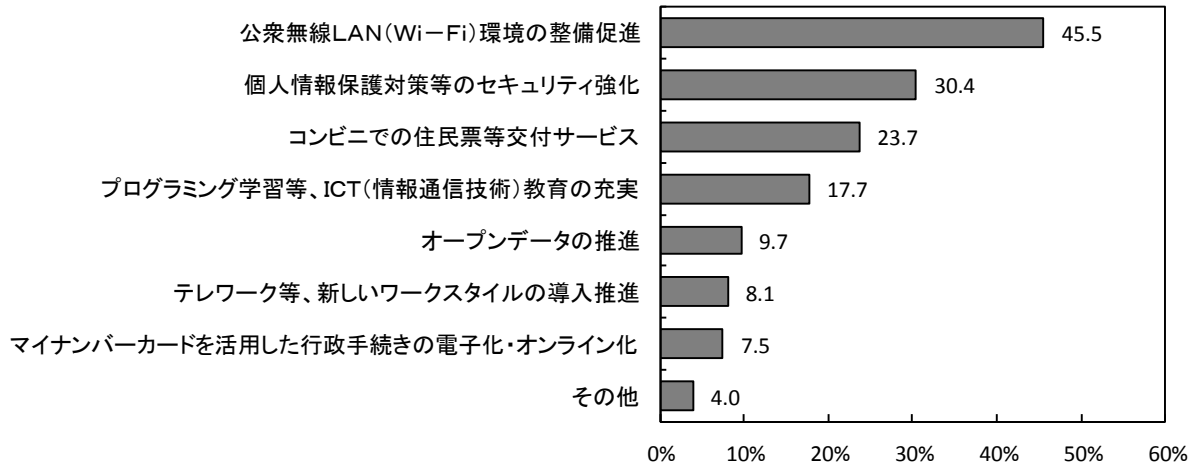
問 12　ＩＣＴ（情報通信技術）についておたずねします。

②あなたは、高度情報化社会に対応するため、今後どのような取組みが必要だと思いますか。【複数回答】

～「公衆無線ＬＡＮ（Wi-Fi）環境の整備促進」が４割以上、
次いで「個人情報保護対策等のセキュリティ強化」が３割～

高度情報化社会に対応するために必要なことについてみると、「公衆無線 LAN（Wi-Fi）環境の整備促進」が 45.5%と最も高く、これに次ぐ「個人情報保護対策等のセキュリティ強化」（30.4%）とは 15.1 ポイントの差があります。さらに、「コンビニでの住民票交付サービス」が 23.7%、「プログラミング学習等、ICT（情報通信技術）教育の充実」が 17.7%となっています。

図表　高度情報化社会に対応するために必要なことについて（全体／複数回答）



5　環境保全・生活環境について

（1）自然環境の豊かさについて

問 13　環境対策についておたずねします。

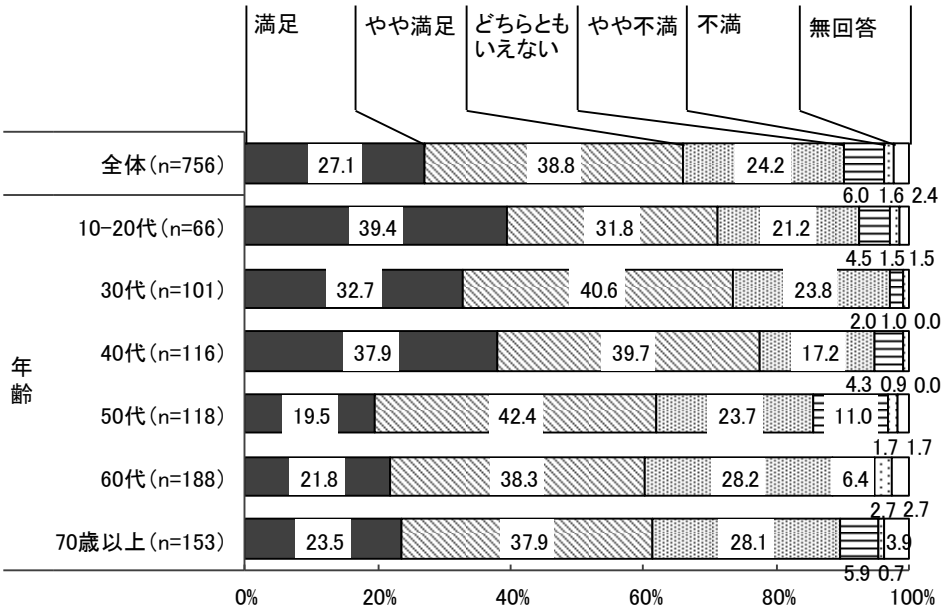
①あなたは、町の自然環境の豊かさについて満足していますか。

～『満足している』が６割以上、『不満である』は１割以下～

自然環境の豊かさについて全体をみると、「満足」（27.1％）と「やや満足」（38.8％）を合計した『満足している』は 65.9％となっており、「不満」（1.6％）と「やや不満」（6.0％）を合計した『不満である』の 7.6％を 58.3 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 40 代が 77.6％と最も高く、最も低い 60 代（60.1％）を 17.5 ポイント上回っています。また、『満足している』は 50 代から 70 歳以上は６割程度であるのに対して、10-20 代から 40 代では７割を超えており差がみられます。

図表　自然環境の豊かさについて（全体、年齢）



（２）ごみ処理・リサイクル状況について

問 13　環境対策についておたずねします。

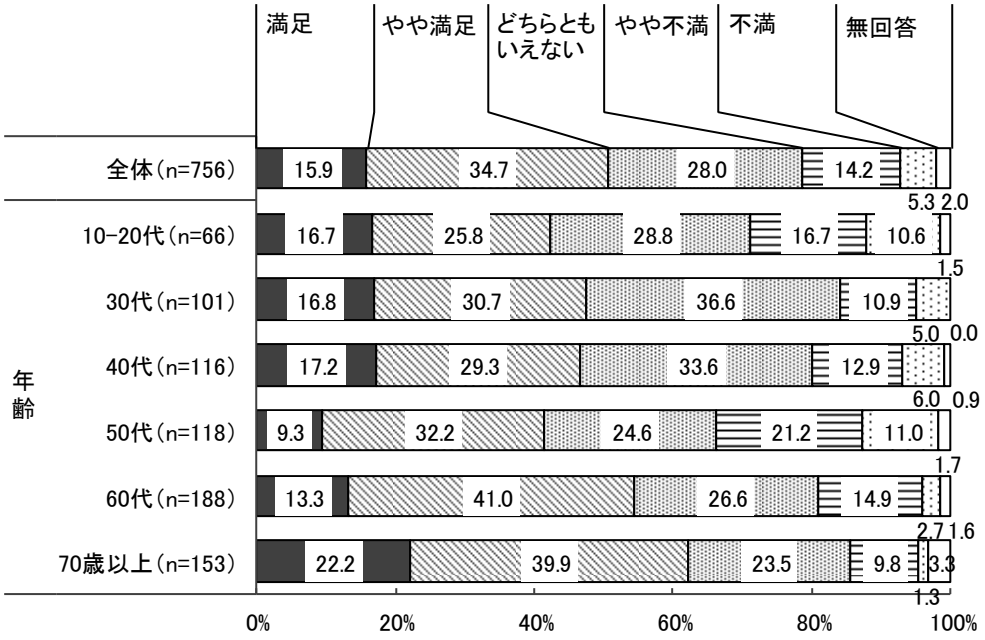
②あなたは、町のごみ処理・リサイクルの状況について満足していますか。

～『満足している』が約５割、『不満である』は約２割～

ごみ処理・リサイクル状況について全体をみると、「満足」（15.9%）と「やや満足」（34.7%）を合計した『満足している』は 50.6%となっており、「不満」（5.3%）と「やや不満」（14.2%）を合計した『不満である』の 19.5%を 31.1 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 62.1%と最も高く、最も低い 50 代（41.5%）を 20.6 ポイント上回っています。また、『満足している』は 10-20 代から 50 代は半数以下であるのに対して、60 代と 70 歳以上では半数を超えており差がみられます。

図表　ごみ処理・リサイクル状況について（全体、年齢）



（3）自然・生活環境保全のために取り組むべきこと

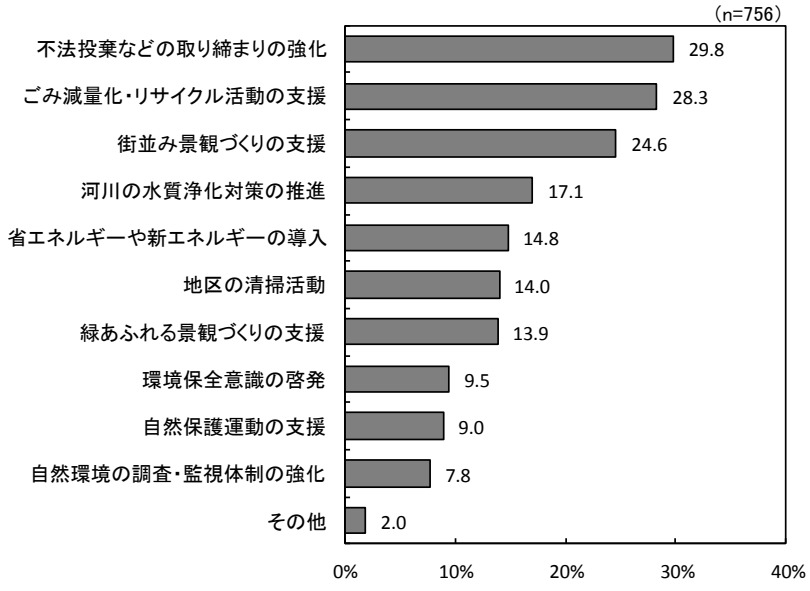
問 13　環境対策についておたずねします。

③あなたは、地域の自然環境や生活環境を守るため、町として特にどのようなことに取り組むべきとお考えですか。【複数回答】

～「不法投棄などの取り締まりの強化」が約３割、
次いで「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」も３割近く～

自然・生活環境保全のために取り組むべきことについてみると、「不法投棄などの取り締まりの強化」が 29.8%と最も高く、次いで、「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」が 28.3%、「街並み景観づくりの支援」が 24.6%と２割を超えており、「河川の水質浄化対策の推進」（17.1%）、「省エネルギーや新エネルギーの導入」（14.8%）、「地区の清掃活動」（14.0%）などよりも高くなっています。

図表　自然・生活環境保全のために取り組むべきこと（全体／複数回答）



（４）環境に配慮した生活について

問 13　環境対策についておたずねします。

④あなたは、自然保護や省資源・省エネルギーなど、環境に配慮した生活をしていますか。

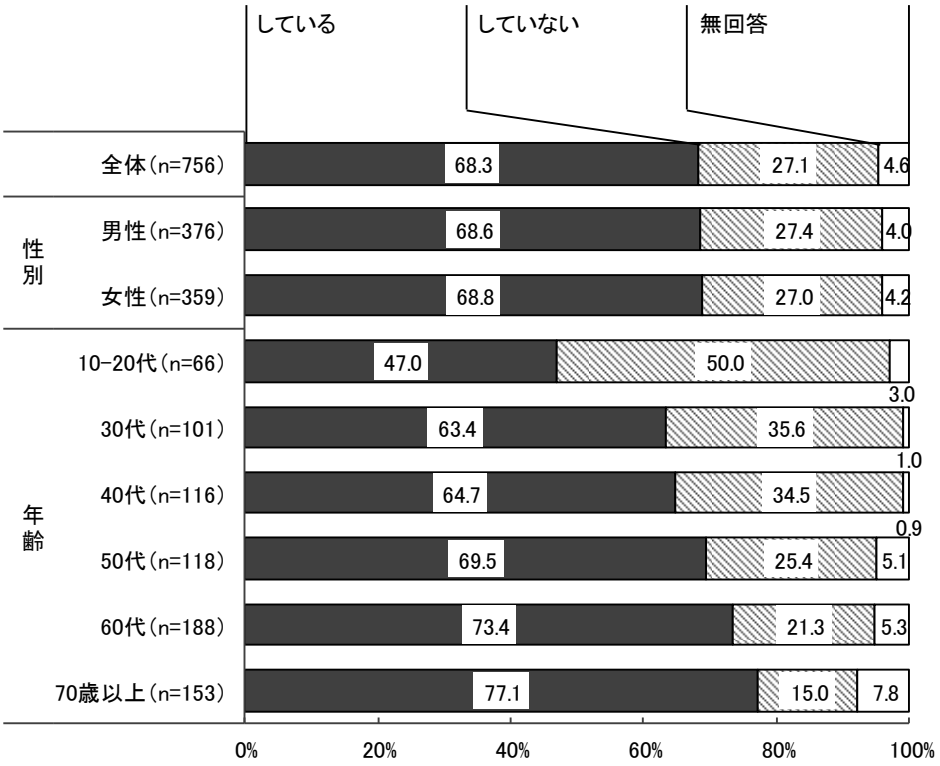
～『している』が７割近く、『していない』は３割以下～

環境に配慮した生活について全体をみると、「している」が 68.3%で、「していない」は 27.1%となっており、「している」が 41.2 ポイント上回っています。

性別でみると、「している」は男性で 68.6%、女性は 68.8%で差はみられません。

年齢別でみると、「している」は年代が上がるにつれて割合が高くなっており、70 歳以上が 77.1%で最も高く、最も低い 10-20 代（47.0%）よりも 30.1 ポイント上回っています。

図表　環境に配慮した生活について（全体、性別、年齢）



（５）ごみ資源の分別について

問 13　環境対策についておたずねします。

⑤あなたは、ごみの減量化のため、ごみ出しルールに沿ってごみ資源を分別していますか。

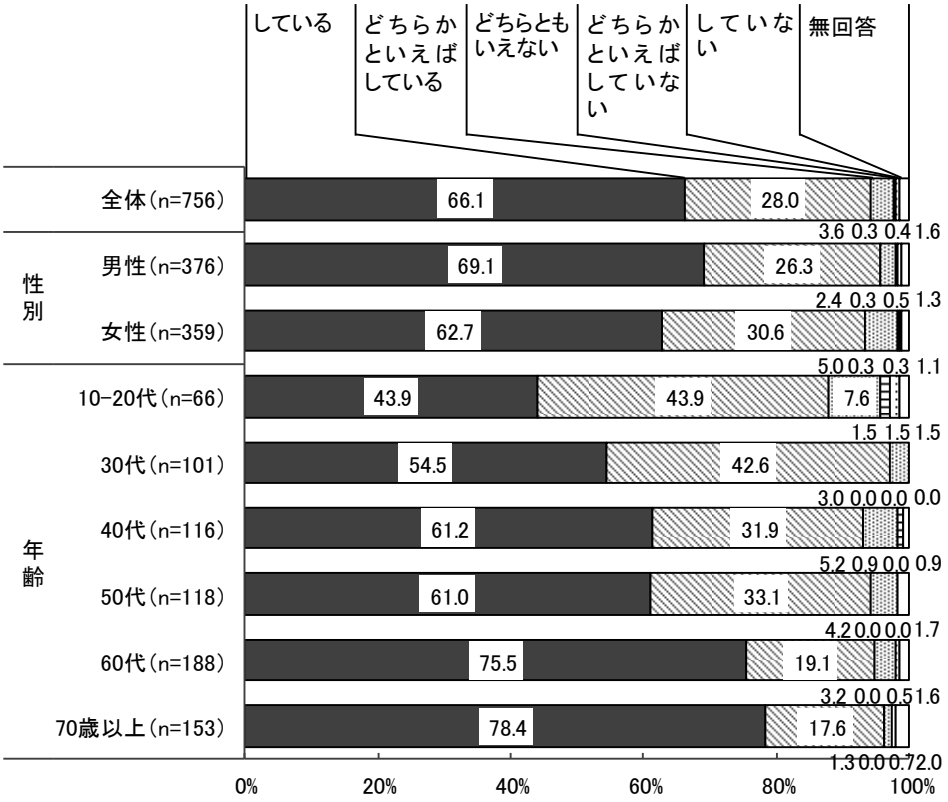
～『している』が９割以上、『していない』は１％以下～

ごみ資源の分別について全体をみると、「している」（66.1％）と「どちらかといえばしている」（28.0％）を合計した『している』は 94.1％となっており、「していない」（0.4％）と「どちらかといえばしていない」（0.3％）を合計した『していない』の 0.7％を 93.4 ポイント上回っています。

性別でみると、『している』は男性が 95.4％、女性は 93.3％と大きな差はみられません。

年齢別でみると、『している』は 10-20 代が 87.8％とやや低いものの、ほかはすべて９割を超えています。

図表　ごみ資源の分別について（全体、性別、年齢）



6　防犯・防災対策について

（１）防犯・交通安全体制について

問 14　防犯・交通安全についておたずねします。

①あなたは、町の防犯・交通安全体制について満足していますか。

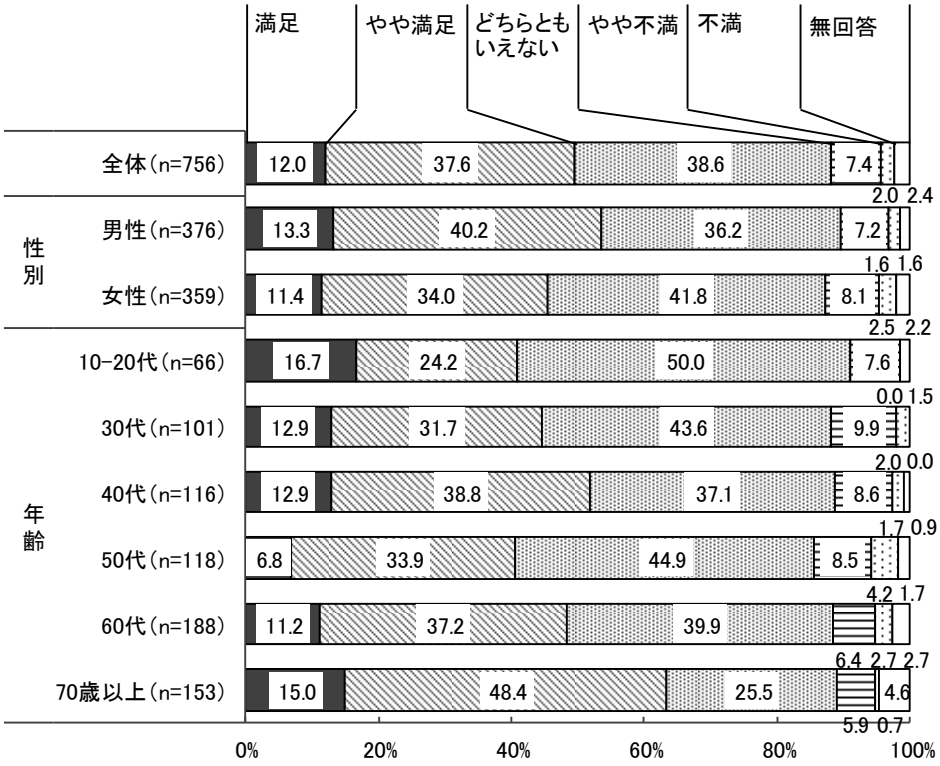
～『満足している』が５割近く、『不満である』は１割以下～

防犯・交通安全体制について全体をみると、「満足」（12.0%）と「やや満足」（37.6%）を合計した『満足している』は 49.6%となっており、「不満」（2.0%）と「やや不満」（7.4%）を合計した『不満である』の 9.4%を 40.2 ポイント上回っています。

性別でみると、『満足している』は男性が 53.5%、女性は 45.4%と、男性が女性を 8.1 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 63.4%と最も高く、最も低い 50 代（40.7%）を 22.7 ポイント上回っています。また、すべての年代で『満足している』が『不満である』を上回っています。

図表　防犯・交通安全体制について（全体、性別、年齢）



（２）地域での防犯活動への参加状況

問 14　防犯・交通安全についておたずねします。

②あなたは、身近な地域での防犯活動に参加していますか。

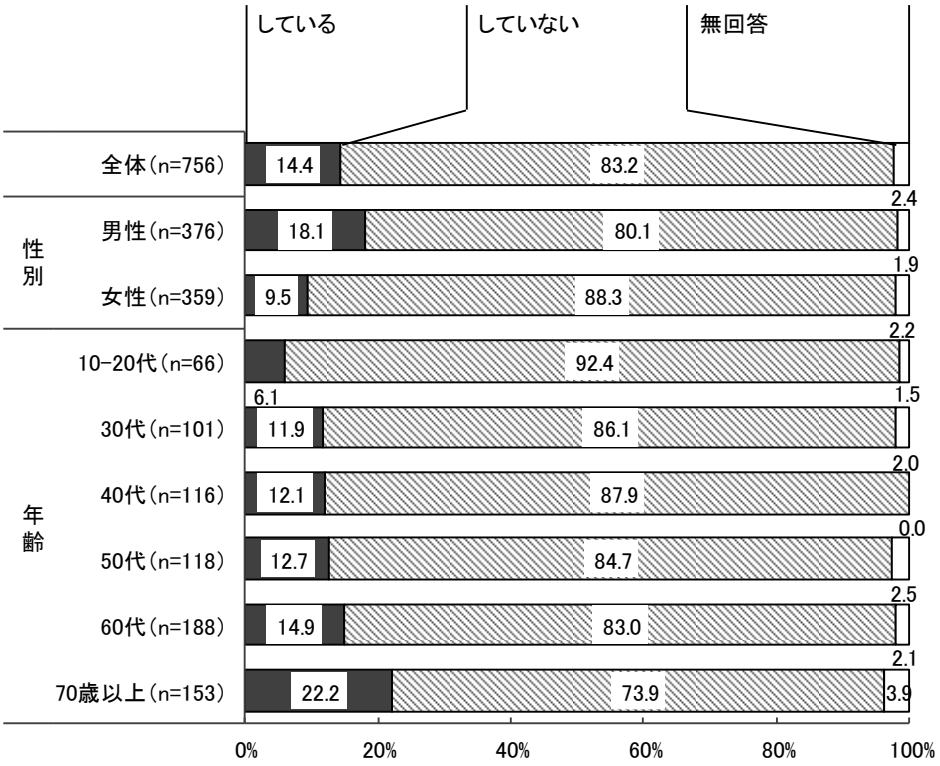
～「していない」が８割以上、「している」は１割台～

地域での防犯活動への参加状況について全体をみると、「していない」が 83.2%、「している」が 14.4%となっており、「していない」が 68.8 ポイント上回っています。

性別でみると、「している」は男性が 18.1%、女性は 9.5%と、男性が女性を 8.6 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「している」は年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向があり、70 歳以上が 22.2%と最も高く、最も低い 10-20 代（6.1%）を 16.1 ポイント上回っています。

図表　地域での防犯活動への参加状況（全体、性別、年齢）



（３）消防・防災体制について

問 15　消防・防災についておたずねします。

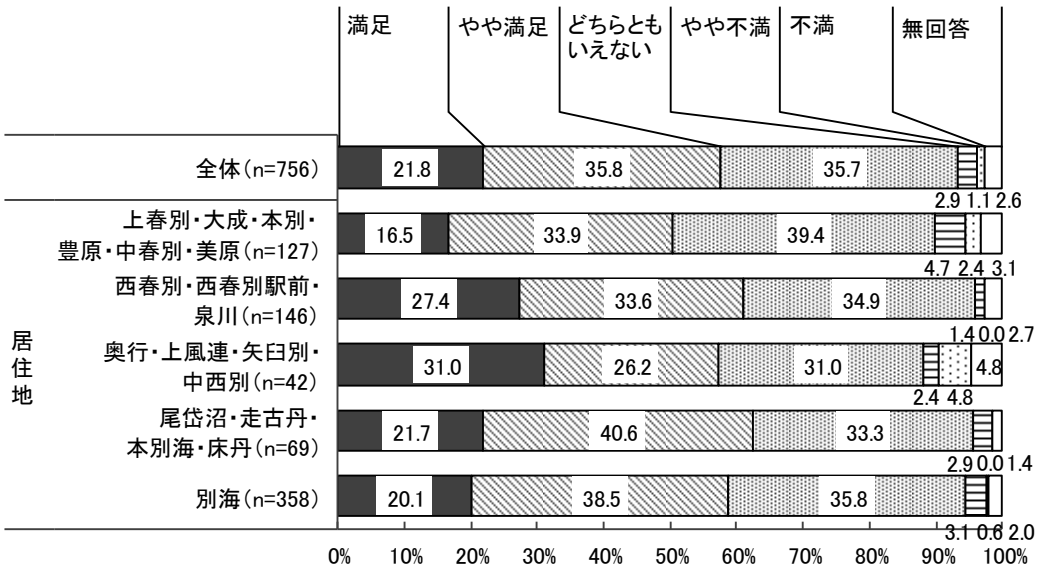
①あなたは、町の消防・防災体制に満足していますか。

～『満足している』が５割以上、『不満である』は１割以下～

消防・防災体制について全体をみると、「満足」（21.8%）と「やや満足」（35.8%）を合計した『満足している』は 57.6%となっており、「不満」（1.1%）と「やや不満」（2.9%）を合計した『不満である』の 4.0%を 53.6 ポイント上回っています。

居住地別でみると、『満足している』は「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」が 62.3%と最も高く、次いで「西春別・西春別駅前・泉川」が 61.0%となっていて、６割を超えています。また、最も高い「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」と最も低い「上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原」（50.4%）とは 11.9 ポイントの差があります。

図表　消防・防災体制について（全体、居住地）



（４）消防・防災対策で力を入れるべきこと

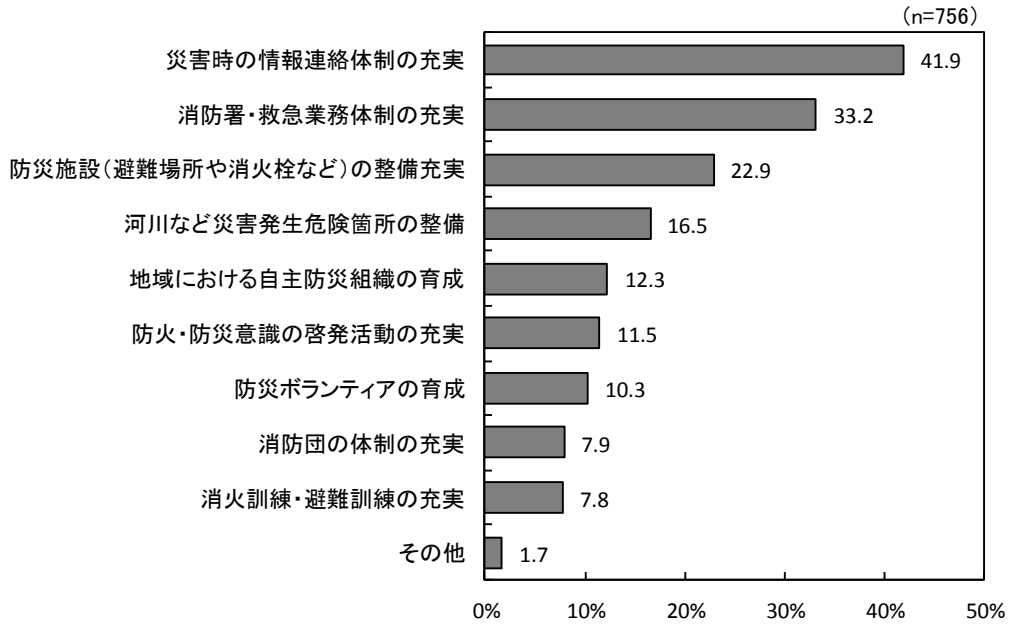
問 15　消防・防災についておたずねします。

②あなたは、町の消防・防災対策について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

～「災害時の情報連絡体制の充実」が４割以上、
次いで「消防署・救急業務体制の充実」が３割台～

消防・防災対策で力を入れるべきことについてみると、「災害時の情報連絡体制の充実」が 41.9%と最も高く、次いで「消防署・救急業務体制の充実」が 33.2%、「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」が 22.9%と割合が高くなっています。さらに、「河川など災害発生危険箇所の整備」（16.5%）、「地域における自主防災組織の育成」（12.3%）、「防火・防災意識の啓発活動の充実」（11.5%）、「防災ボランティアの育成」（10.3%）などが１割台となっています。

図表　消防・防災対策で力を入れるべきこと（全体／複数回答）



（５）居住地区の避難場所について

問 15　消防・防災についておたずねします。

③あなたは、ご自分が住んでいる地区の避難場所を知っていますか。

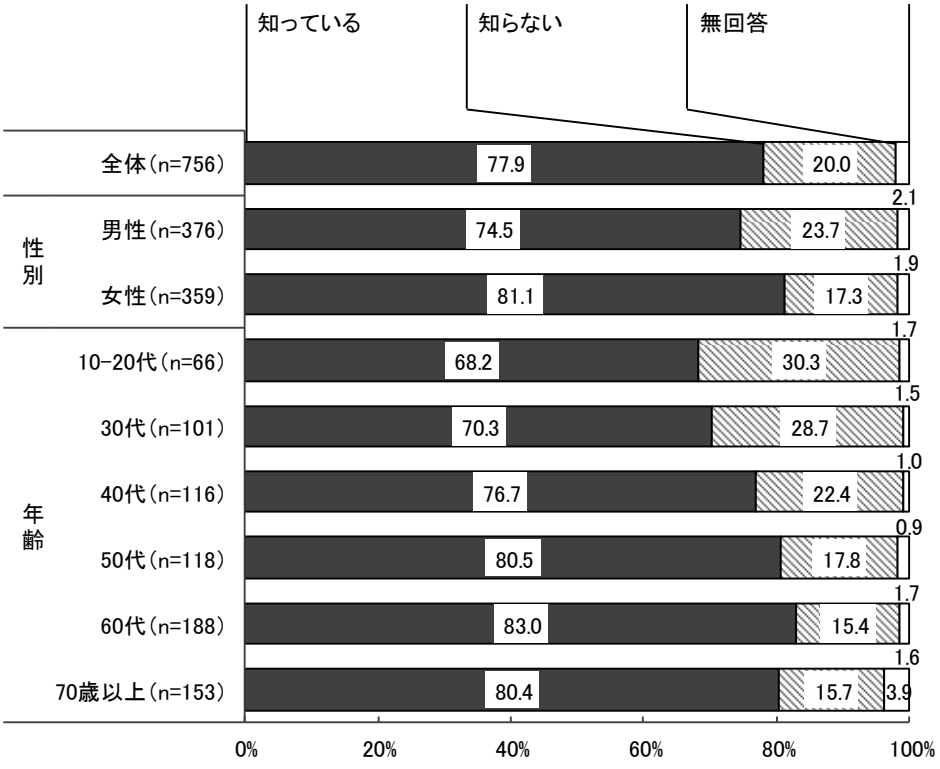
～「知っている」が７割以上、「知らない」は２割～

居住地区の避難場所について全体をみると、「知っている」が 77.9%で、「知らない」は 20.0%となっており、「知っている」が 57.9 ポイント上回っています。

性別でみると、「知っている」は男性で 74.5%、女性は 81.1%で、女性が男性を 6.6 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「知っている」は 10-20 代から 60 代にかけて、年代が上がるにつれて割合が高くなっており、60 代が 83.0%で最も高く、最も低い 10-20 代（68.2%）よりも 14.8 ポイント上回っています。また、すべての年代で「知っている」が「知らない」を上回っています。

図表　居住地区の避難場所について（全体、性別、年齢）



（６）防災対策への取組状況

問 15　消防・防災についておたずねします。

④あなたは、防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）をしていますか。

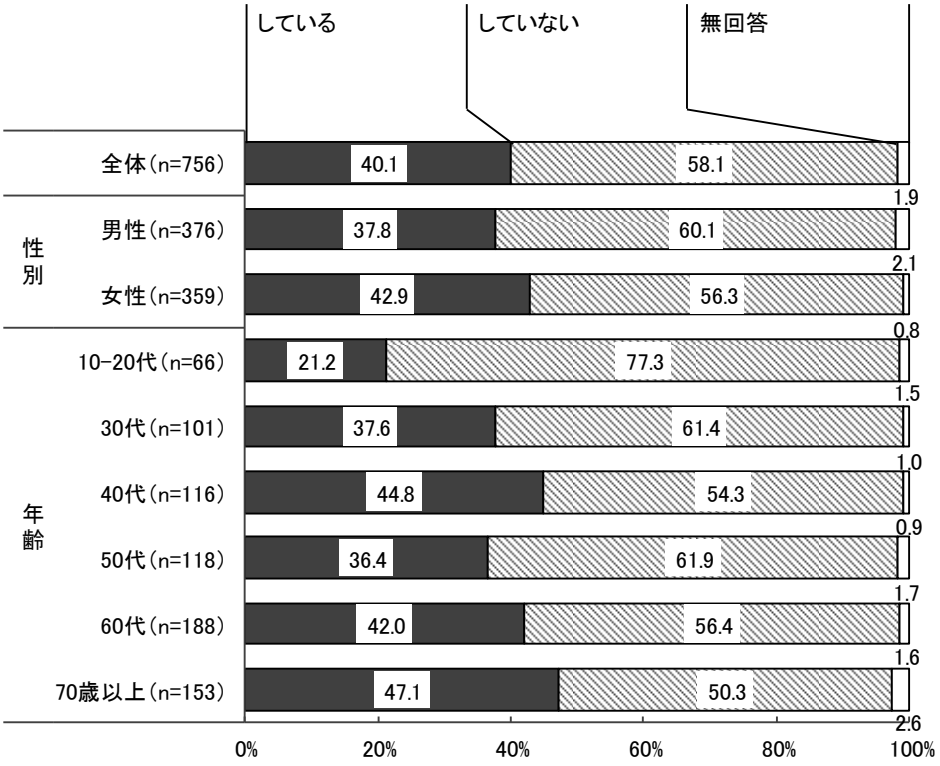
～「していない」が５割以上、「している」は約４割～

防災対策への取組状況について全体をみると、「していない」が 58.1%、「している」は 40.1%となっており、「していない」が「している」を 18.0 ポイント上回っています。

性別でみると、「している」は男性が 37.8%、女性は 42.9%となっており、女性が男性を 5.1 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「している」は 70 歳以上が 47.1%と最も高く、最も低い 10-20 代（21.2%）とは 25.9 ポイント差があります。また、すべての年代で「していない」が「している」を上回っています。

図表　防災対策への取組状況（全体、性別、年齢）



7　産業振興について

（1）農林業の振興に関する取組みについて

問 16　農林業についておたずねします。

①あなたは、町の農林業の振興に関する取組み（農地、水辺、農林道の整備など）について満足していますか。

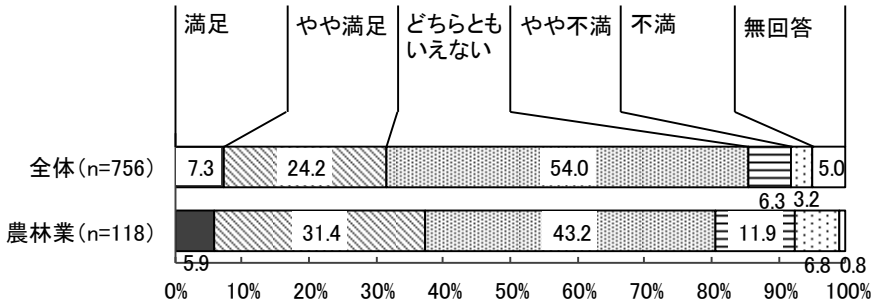
～全体では『満足している』は３割台、『不満である』は１割以下、
農林業では『満足している』『不満である』ともに全体を上回る～

農林業の振興に関する取組みについて全体をみると、「満足」（7.3%）と「やや満足」（24.2%）を合計した『満足している』は 31.5%となっており、「不満」（3.2%）と「やや不満」（6.3%）を合計した『不満である』の 9.5%を 22.0 ポイント上回っています。

職業別の農林業（全体の 15.6%、118 人）をみると、『満足している』は 37.3%、『不満である』は 18.7%となっており、『満足している』が 18.6 ポイント上回っています。

また、全体と農林業とでは、「どちらともいえない」が農林業では低く、『満足している』、『不満である』ともに農林業が上回っています。

図表　農林業の振興に関する取組みについて（全体、農林業）



（2）農林業の振興で力を入れるべきこと

問 16　農林業についておたずねします。

②あなたは、町の農林業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

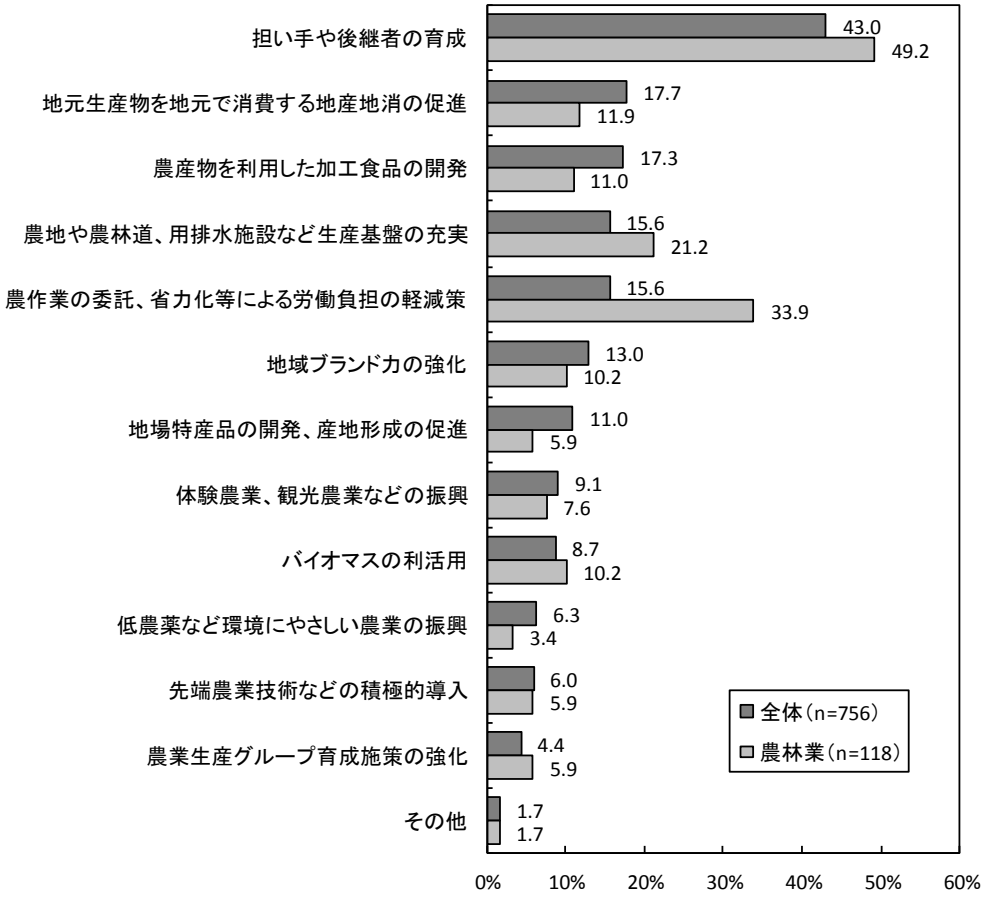
～全体、農林業ともに「担い手や後継者の育成」が 4 割以上～

農林業の振興で力を入れるべきことについて全体をみると、「担い手や後継者の育成」が 43.0%で最も高く、これに次ぐ「地元生産物を地元で消費する地産地消の促進」（17.7%）、「農産物を利用した加工食品の開発」（17.3%）などとの差が大きくなっています。

職業別の農林業をみると、全体と同様に「担い手や後継者の育成」が 49.2%で最も高くなっていますが、これに次ぐのは「農作業の委託、省力化等による労働負担の軽減策」（33.9%）、「農地や農林道、用排水施設など生産基盤の充実」（21.2%）となっており、大きく異なっています。

全体と農林業を比較すると、「農作業の委託、省力化等による労働負担の軽減策」で農林業が全体を 20 ポイント近く上回っています。

図表　農林業の振興で力を入れるべきこと（全体、農林業／複数回答）



（３）水産業の振興に関する取組みについて

問 17　水産業についておたずねします。

①あなたは、町の水産業の振興に関する取組み（漁港の整備など）について満足していますか。

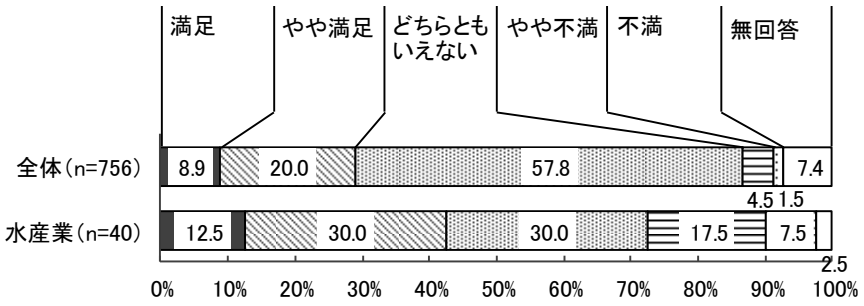
～全体では『満足している』が３割弱、
水産業では『満足している』が４割以上だが、『不満である』も２割以上～

水産業の振興に関する取組みについて全体をみると、「満足」（8.9%）と「やや満足」（20.0%）を合計した『満足している』は 28.9%となっており、「不満」（1.5%）と「やや不満」（4.5%）を合計した『不満である』の 6.0%を 22.9 ポイント上回っています。

職業別の水産業（全体の 5.3%、40 人）をみると、『満足している』は 42.5%、『不満である』は 25.0%となっており、『満足している』が 17.5 ポイント上回っています。

また、全体と水産業とでは、「どちらともいえない」が水産業では低く、『満足している』、『不満である』ともに水産業が上回っています。

図表　水産業の振興に関する取組みについて（全体、水産業）



（4）水産業の振興で力を入れるべきこと

問 17　水産業についておたずねします。

②あなたは、町の水産業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

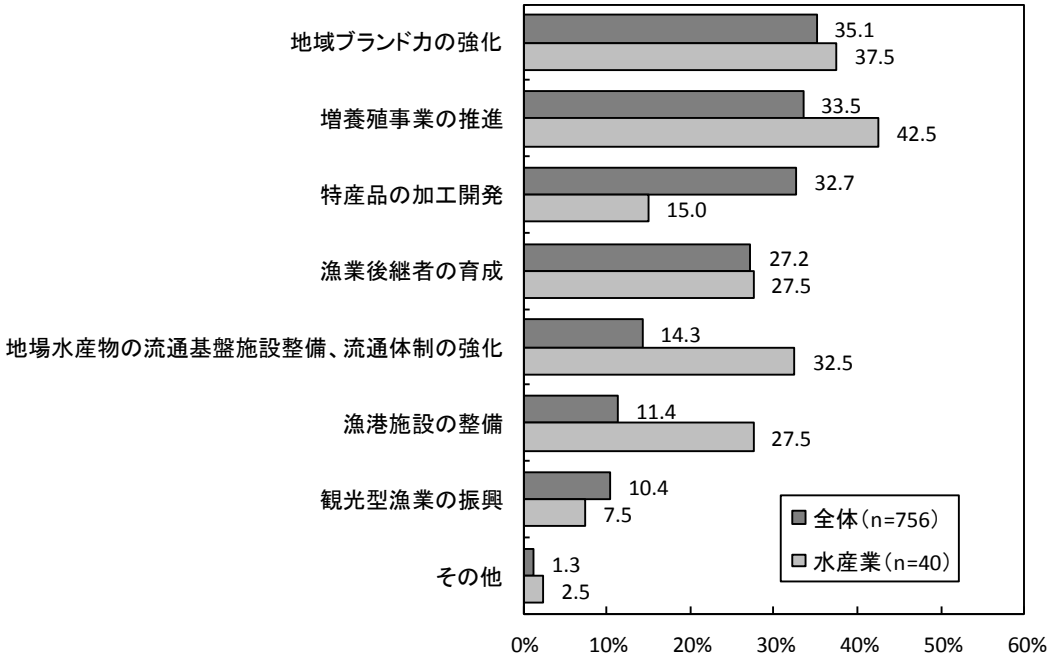
～全体では「地域ブランド力の強化」が３割以上、
水産業では「増養殖事業の推進」が４割以上～

水産業の振興で力を入れるべきことについて全体をみると、「地域ブランド力の強化」が 35.1％で最も高く、次いで「増養殖事業の推進」（33.5％）、「特産品の加工開発」（32.7％）となっています。

職業別の水産業をみると、「増養殖事業の推進」が 42.5％で最も高く、次いで「地域ブランド力の強化」（37.5％）、「地場水産物の流通基盤施設整備、流通体制の強化」（32.5％）となっています。

全体と水産業と比較すると、「地場水産物の流通基盤施設整備、流通体制の強化」や「漁港施設の整備」で水産業が全体を 15 ポイント以上上回っています。

図表　水産業の振興で力を入れるべきこと（全体、水産業／複数回答）



（５）商業環境について

問 18　商業についておたずねします。

①あなたは、町の商業環境（商店街など）について満足していますか。

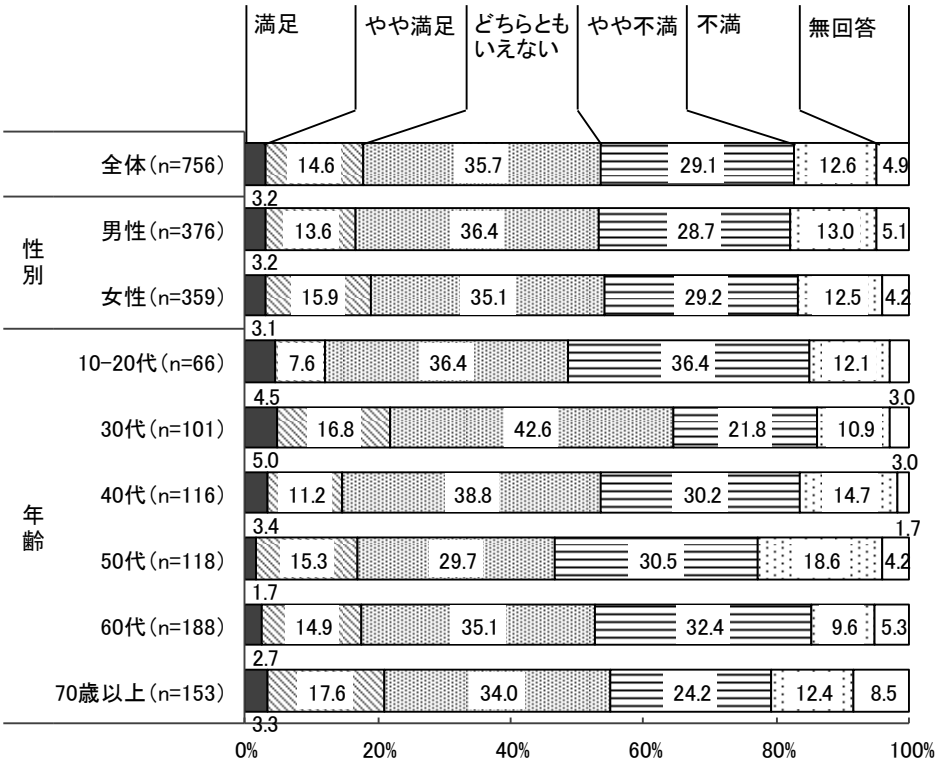
～『不満である』が４割以上、『満足している』は２割以下～

商業環境について全体をみると、「満足」（3.2%）と「やや満足」（14.6%）を合計した『満足している』は 17.8%となっており、「不満」（12.6%）と「やや不満」（29.1%）を合計した『不満である』の 41.7%を 23.9 ポイント下回っています。

性別でみると、『満足している』は男性が 16.8%、女性は 19.0%と、女性が男性を 2.2 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 30 代が 21.8%と最も高く、最も低い 10-20 代（12.1%）を 9.7 ポイント上回っていますが、30 代でも『不満である』が 32.7%と『満足している』を 10.9 ポイント上回っており、すべての年代で『不満である』が『満足している』を上回っています。

図表　商業環境について（全体、性別、年齢）



（６）商業振興で力を入れるべきこと

問 18　商業についておたずねします。

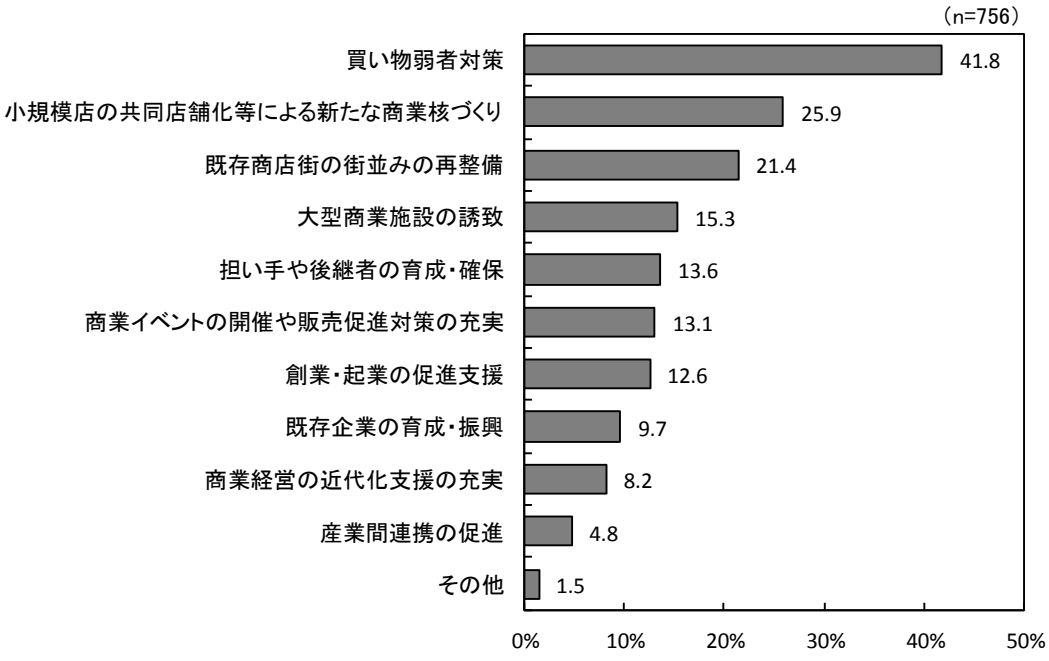
②あなたは、町の商業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

～「買い物弱者対策」が４割以上、次いで「小規模店の共同店舗化等による新たな商業核づくり」や「既存商店街の街並みの再整備」が２割台～

商業振興で力を入れるべきことについてみると、「買い物弱者対策」が 41.8%で最も高く、これに次ぐ「小規模店の共同店舗化等による新たな商業核づくり」（25.9%）や「既存商店街の街並みの再整備」（21.4%）よりも 15 ポイント以上上回っています。

また、「産業間連携の促進」（4.8%）や「商業経営の近代化支援の充実」（8.2%）、「既存企業の育成・振興」（9.7%）は１割以下と低くなっています。

図表　商業振興で力を入れるべきこと（全体／複数回答）



（７）町内での買物について

問 18　商業についておたずねします。

③あなたは、日頃、町内で買物をしていますか。

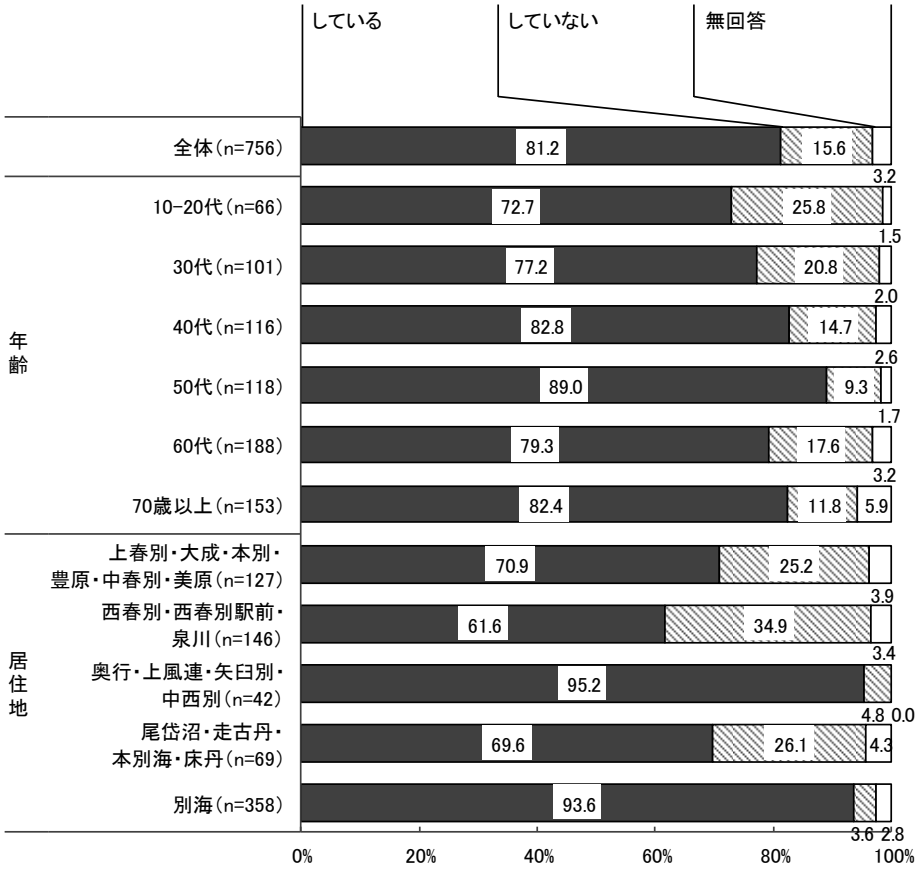
～町内で買物を「している」が８割以上～

町内での買物について全体をみると、「している」が 81.2%、「していない」は 15.6%となっており、「している」が「していない」を 65.6 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「している」は 50 代が 89.0%と最も高く、最も低い 10-20 代（72.7%）とは 16.3 ポイント差があります。また、すべての年代で「している」が「していない」を上回っています。

居住地別でみると、「している」は「奥行・上風連・矢臼別・中西別」（95.2%）や「別海」（93.6%）で９割を超えて高くなっており、逆に「西春別・西春別駅前・泉川」（61.6%）や「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」（69.6%）では６割台と低くなっています。

図表　町内での買物について（全体、年齢、居住地）



（８）買物の割合について

問 18　商業についておたずねします。

③－１　上記のうち、買物の割合はどれくらいですか。

～大型店での買物の割合が地元商店やコンビニよりも高い～

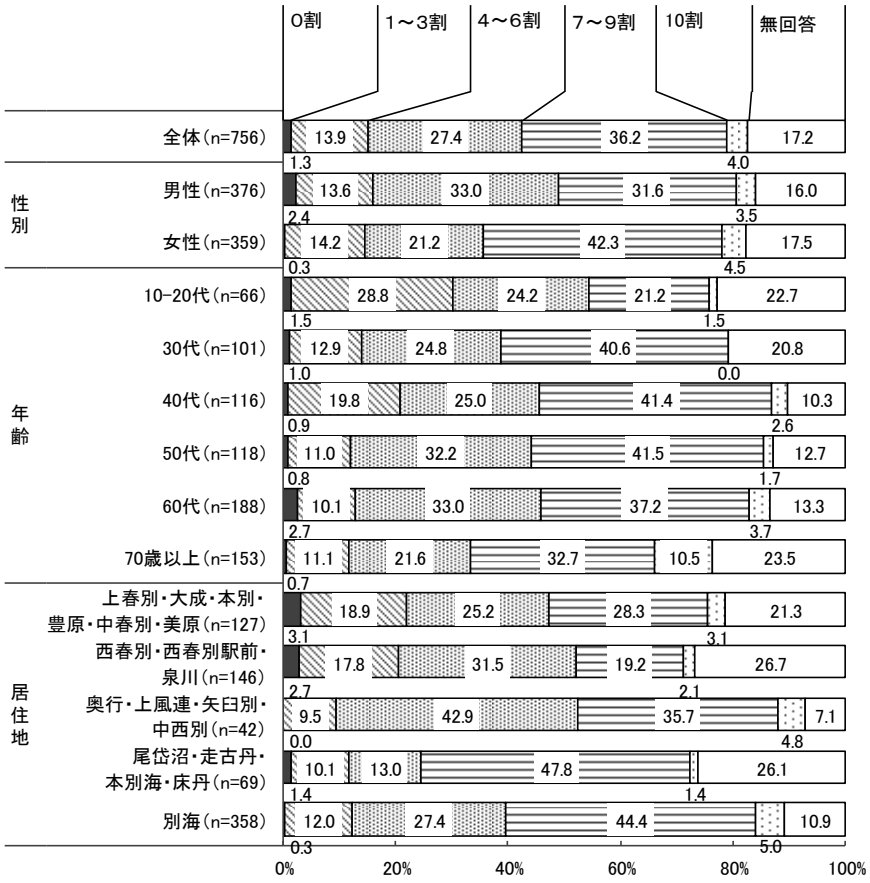
大型店での買物の割合について全体をみると、「７～９割」が 36.2%で最も高く、次いで「４～６割」が 27.4%、「１～３割」が 13.9%となっています。「７～９割」と「10 割」を合計した『７割以上』は 40.2%となっています。

性別でみると、『７割以上』は男性で 35.1%、女性で 46.8%と、女性が男性を 11.7 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『７割以上』は 40 代が 44.0%で最も高く、次いで 50 代と 70 歳以上が 43.2%となっており、最も低い 10-20 代（22.7%）と 20 ポイント以上の差があります。また、10-20 代以外で『７割以上』が４割を超えており、10-20 代では「０割」と「１～３割」を合計した『３割以下』が３割を超えています。

居住地別でみると、『７割以上』は「別海」が 49.4%で最も高く、次いで「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」が 49.2%となっており、５割近くになっています。

図表　大型店での買物の割合について（全体、性別、年齢、居住地）



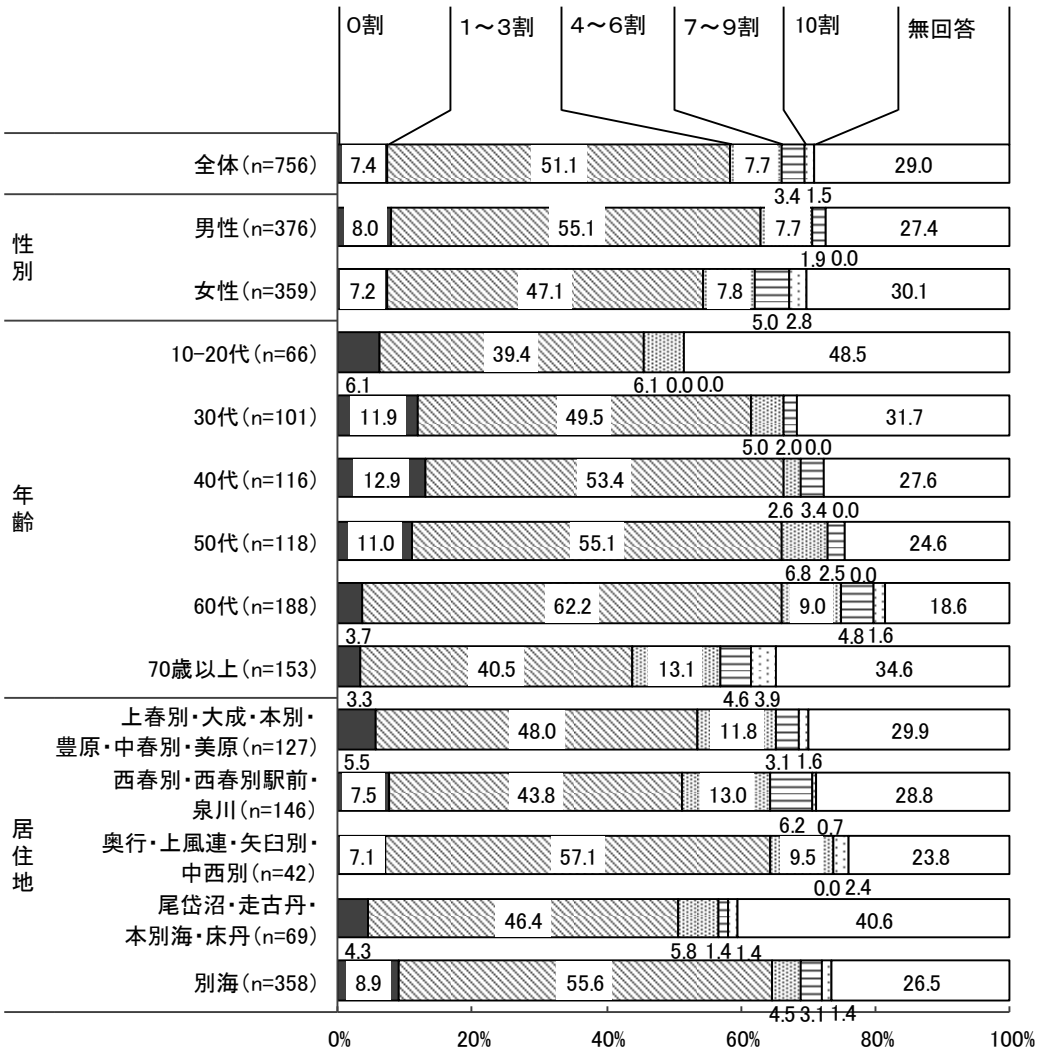
地元商店での買物の割合について全体をみると、「１～３割」が 51.1%で最も高く、次いで「４～６割」が 7.7%、「０割」が 7.4%となっています。「０割」と「１～３割」を合計した『３割以下』は 58.5%となっています。

性別でみると、『３割以下』は男性で 63.1%、女性で 54.3%と、男性が女性を 8.8 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『３割以下』は 40 代が 66.3%で最も高く、次いで 50 代が 66.1%となっており、最も低い 70 歳以上（43.8%）と 10 ポイント以上の差があります。また、30 代から 50 代では「０割」が１割以上あり、他の年代よりも高くなっています。

居住地別でみると、『３割以下』は「別海」が 64.5%で最も高く、次いで「奥行・上風連・矢臼別・中西別」が 64.2%となっており、ほかの居住地よりも 10 ポイント以上上回っていますが、すべての居住地で５割を超えています。

図表　地元商店での買物の割合について（全体、性別、年齢、居住地）



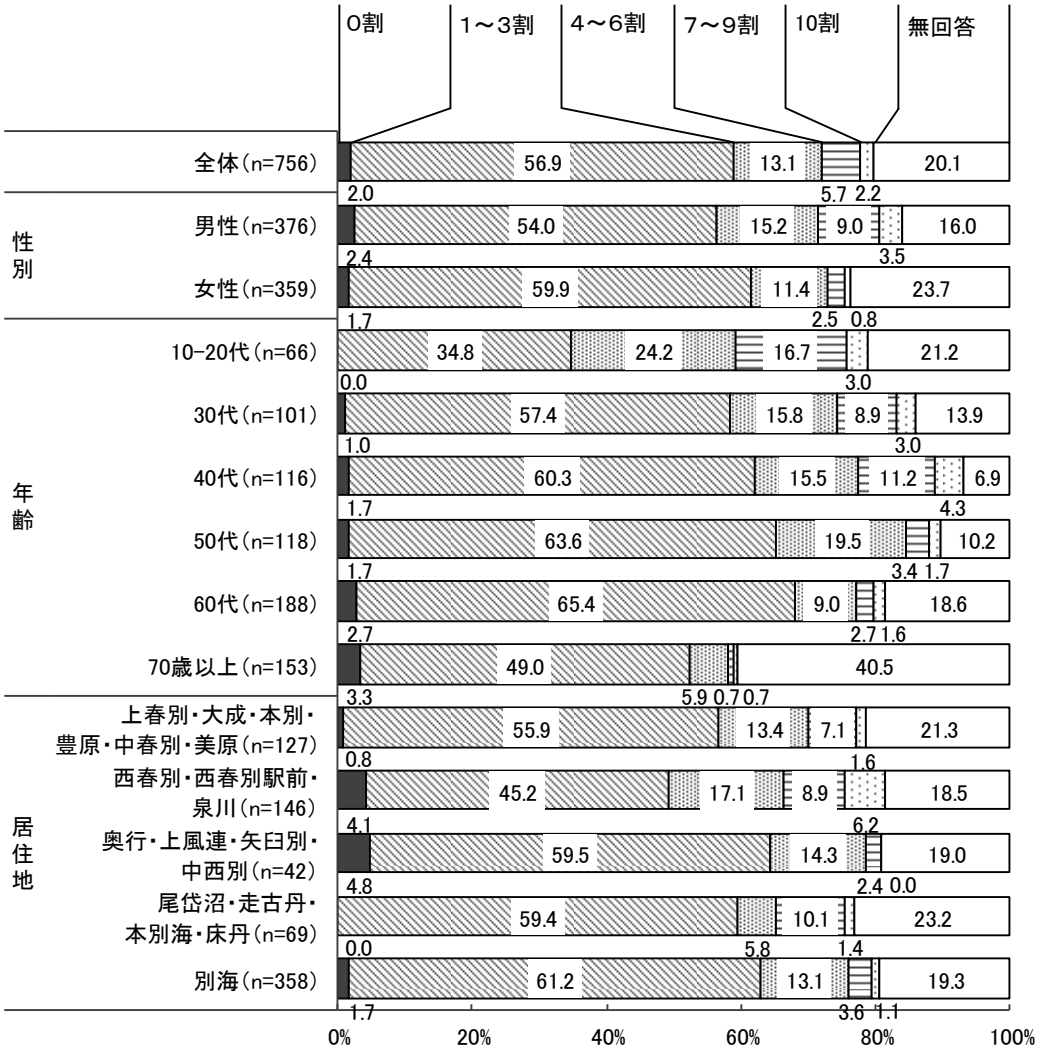
コンビニでの買物の割合について全体をみると、「１～３割」が 56.9%で最も高く、次いで「４～６割」が 13.1%、「７～９割」が 5.7%となっています。「０割」と「１～３割」を合計した『３割以下』は 58.9%となっています。

性別でみると、『３割以下』は男性で 56.4%、女性で 61.6%と、女性が男性を 5.2 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『３割以下』は 60 代が 68.1%で最も高く、次いで 50 代が 65.3%となっており、最も低い 10-20 代（34.8%）と 30 ポイント以上の差があります。また、『７割以上』は、10-20 代が 19.7%で最も高く、30 代、40 代ともに１割を超えており、50 代以上よりも高くなっています。

居住地別でみると、『３割以下』は「奥行・上風連・矢臼別・中西別」が 64.3%で最も高く、次いで「別海」が 62.9%となっており、『７割以上』は「西春別・西春別駅前・泉川」が 15.1%、「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」が 11.5%とほかの居住地よりも高くなっています。

図表　コンビニでの買物の割合について（全体、性別、年齢、居住地）



（９）地場産業の振興や企業誘致について

問 19　工業についておたずねします。

①あなたは、町の地場産業の振興や企業誘致に関する取組みについて満足していますか。

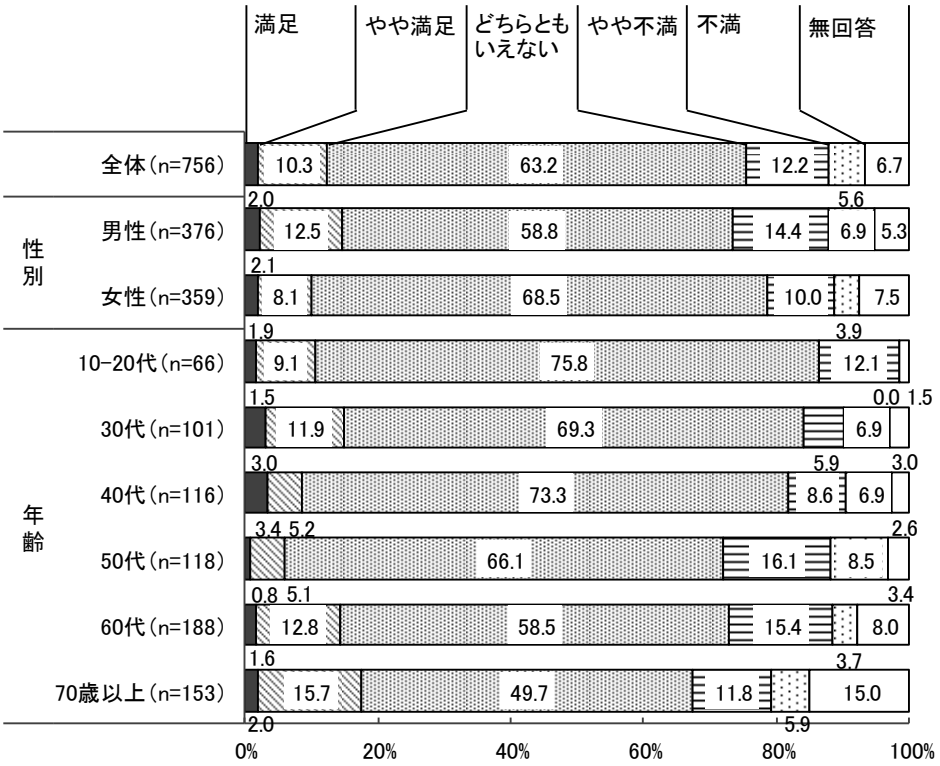
～「どちらともいえない」が６割以上、
『不満である』、『満足している』はともに２割台～

地場産業の振興や企業誘致について全体をみると、「満足」（2.0%）と「やや満足」（10.3%）を合計した『満足している』は 12.3%となっており、「不満」（5.6%）と「やや不満」（12.2%）を合計した『不満である』の 17.8%を 5.5 ポイント下回っています。また、「どちらともいえない」が 63.2%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 14.6%、女性は 10.0%と、男性が女性を 4.6 ポイント上回っていますが、『不満である』も男性（21.3%）が女性（13.9%）を 7.4 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 17.7%と最も高く、最も低い 50 代（5.9%）を 11.8 ポイント上回っています。また、30 代と 70 歳以上を除いて『不満である』が『満足している』を上回っていますが、すべての年代で「どちらともいえない」が高くなっています。

図表　地場産業の振興や企業誘致について（全体、性別、年齢）



（10）工業の振興で力を入れるべきこと

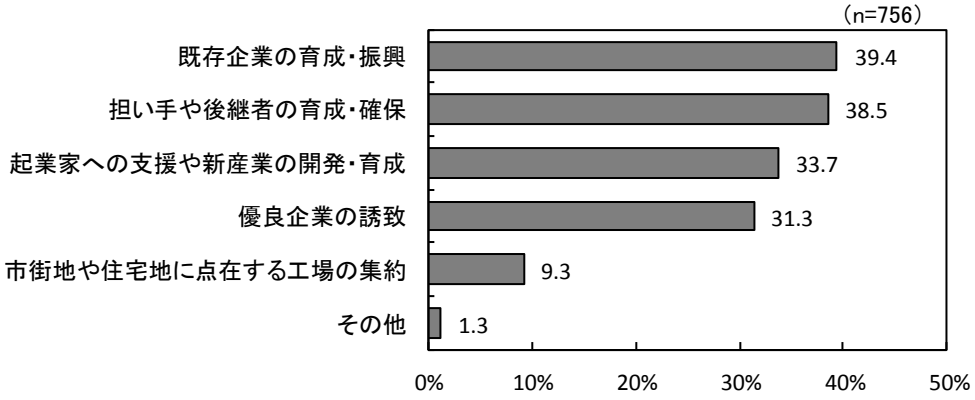
問 19　工業についておたずねします。

②あなたは、町の工業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

～「既存企業の育成・振興」、次いで「担い手や後継者の育成・確保」が４割弱～

工業の振興で力を入れるべきことについてみると、「既存企業の育成・振興」が 39.4%と最も高く、次いで「担い手や後継者の育成・確保」が 38.5%、「起業家への支援や新産業の開発・育成」が 33.7%、「優良企業の誘致」が 31.3%となっており、いずれも 3 割を超えており、「市街地や住宅地に点在する工場の集約」が 9.3%と低くなっています。

図表　工業の振興で力を入れるべきこと（全体／複数回答）



（11）観光の振興に関する取組みについて

問 20　観光についておたずねします。

①あなたは、町の観光の振興に関する取組み（観光施設や観光ルートの整備など）について満足していますか。

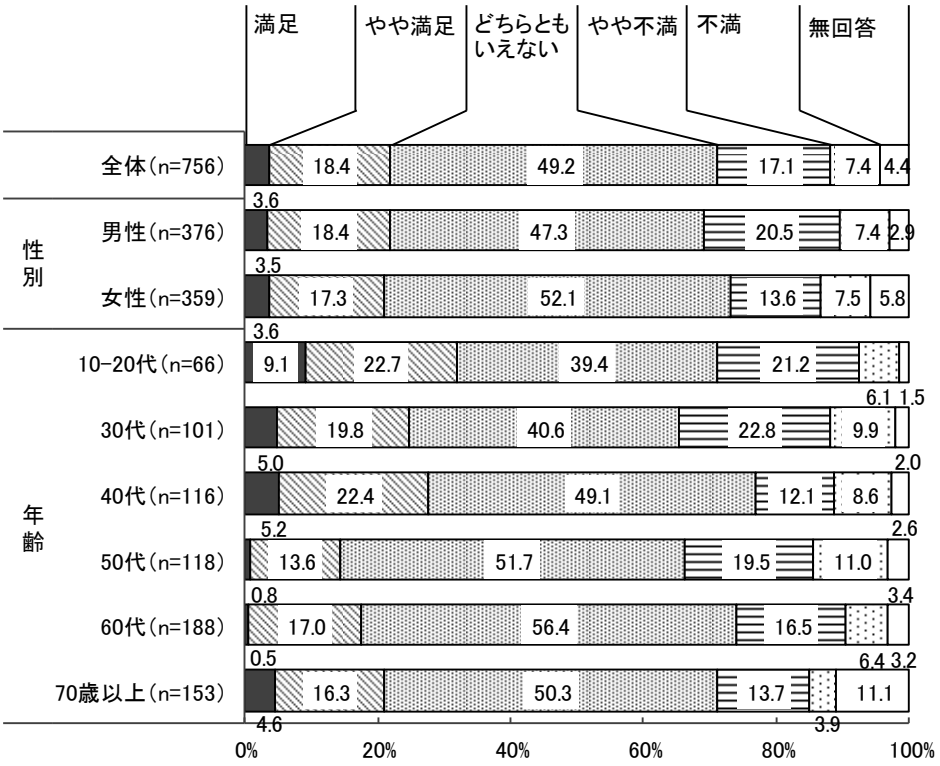
～「どちらともいえない」が５割弱、
『不満である』、『満足している』はともに２割台～

観光の振興に関する取組みについて全体をみると、「満足」（3.6%）と「やや満足」（18.4%）を合計した『満足している』は 22.0%となっており、「不満」（7.4%）と「やや不満」（17.1%）を合計した『不満である』の 24.5%を 2.5 ポイント下回っています。また、「どちらともいえない」が 49.2%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 21.9%、女性は 20.9%と、差はみられませんが、『不満である』は男性（27.9%）が女性（21.1%）を 6.8 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 10-20 代が 31.8%と最も高く、最も低い 50 代（14.4%）を 17.4 ポイント上回っています。10-20 代から 40 代ではいずれも２割を超えており、50 代以上よりも高くなっています。

図表　観光の振興に関する取組みについて（全体、性別、年齢）



（12）観光の振興で力を入れるべきこと

問 20　観光についておたずねします。

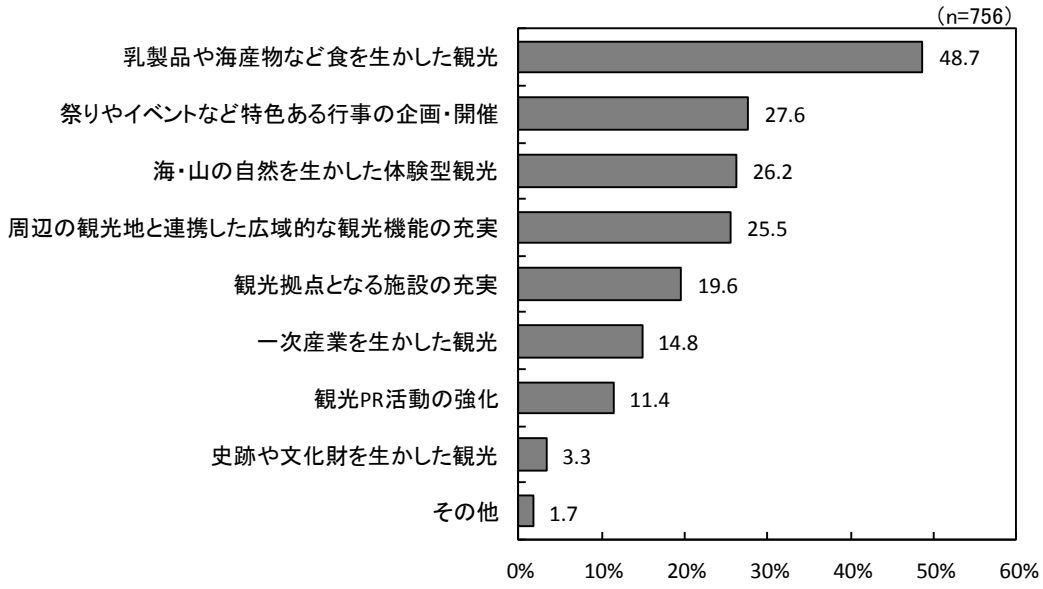
②あなたは、町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

～「乳製品や海産物など食を生かした観光」が５割弱～

観光の振興で力を入れるべきことについてみると、「乳製品や海産物など食を生かした観光」が 48.7%と最も高く、これに次ぐ「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」（27.6%）、「海・山の自然を生かした体験型観光」（26.2%）、「周辺の観光地と連携した広域的な観光機能の充実」（25.5%）よりも 20 ポイント以上上回っています。

また、「史跡や文化財を生かした観光」（3.3%）は１割以下で低くなっています。

図表　観光の振興で力を入れるべきこと（全体／複数回答）



（13）雇用・就労対策に関する取組みについて

問 21　雇用・就労対策についておたずねします。

①あなたは、町の雇用・就労対策（職業訓練機会の確保、情報提供、起業支援など）に関する取組みについて満足していますか。

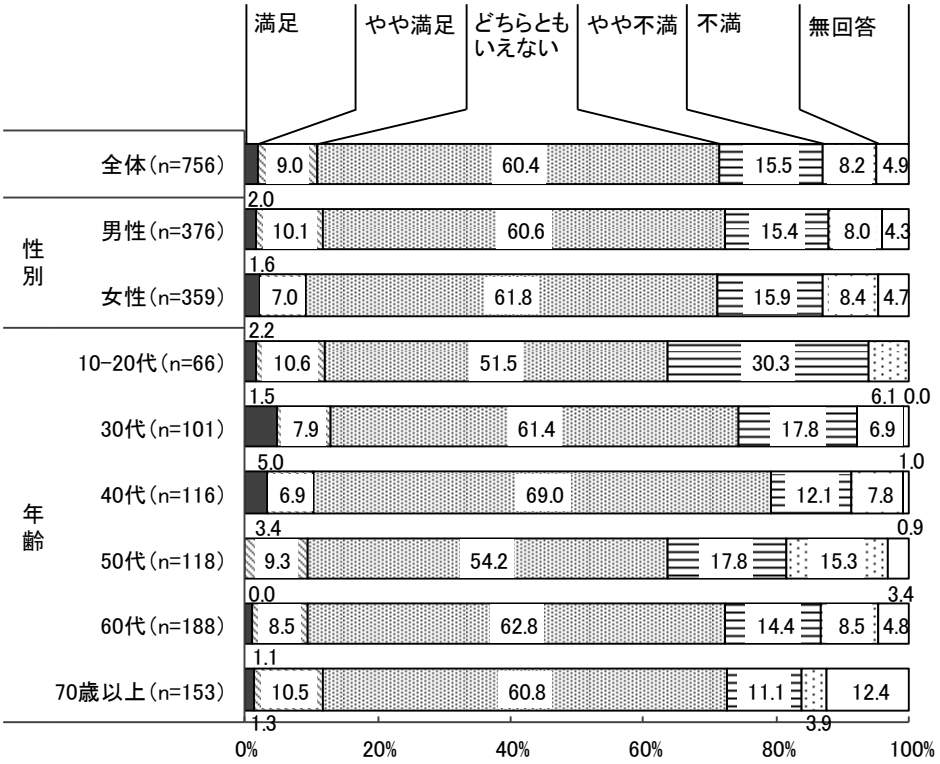
～「どちらともいえない」が６割、
『不満である』は２割台、『満足している』は１割台～

雇用・就労対策に関する取組みについて全体をみると、「満足」（2.0%）と「やや満足」（9.0%）を合計した『満足している』は 11.0%となっており、「不満」（8.2%）と「やや不満」（15.5%）を合計した『不満である』の 23.7%を 12.7 ポイント下回っています。また、「どちらともいえない」が 60.4%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 11.7%、女性は 9.2%と、男性が女性を 2.5 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 30 代が 12.9%と最も高く、最も低い 50 代（9.3%）を 3.6 ポイント上回っていますが、すべての年代で『不満である』が『満足している』を上回っていて、『不満である』は特に 10-20 代(36.4%)と 50 代(33.1%)で３割を超えて高くなっています。また、「どちらともいえない」はすべての年代で５割を超えて高くなっています。

図表　雇用・就労対策に関する取組みについて（全体、性別、年齢）



（14）雇用・就労対策事業の利用について

問 21　雇用・就労対策についておたずねします。

②あなたは、町の雇用・就労対策事業（職業訓練、就業情報、起業支援など）を利用したことがありますか。

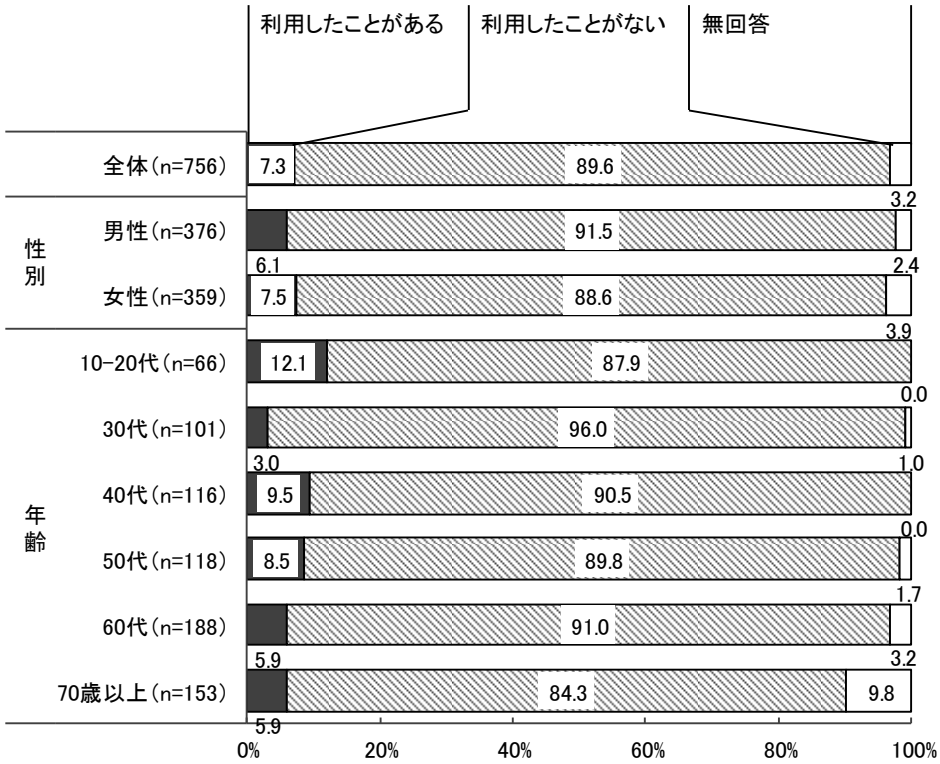
～「利用したことがない」が約９割、「利用したことがある」は１割以下～

雇用・就労対策について全体をみると、「利用したことがない」が 89.6%、「利用したことがある」は 7.3%となっており、「利用したことがない」が「利用したことがある」を 82.3 ポイント上回っています。

性別でみると、「利用したことがある」は男性が 6.1%、女性は 7.5%で差はみられません。

年齢別でみると、「利用したことがある」は 10-20 代が 12.1%と最も高く、最も低い 30 代（3.0%）とは 9.1 ポイント差があります。また、10-20 代を除いて「利用したことがある」は１割以下となっています。

図表　雇用・就労対策事業の利用について（全体、性別、年齢）



8　保健・医療・福祉について

（1）医療体制について

問 22　保健・医療についておたずねします。

①あなたは、町の医療体制について満足していますか。

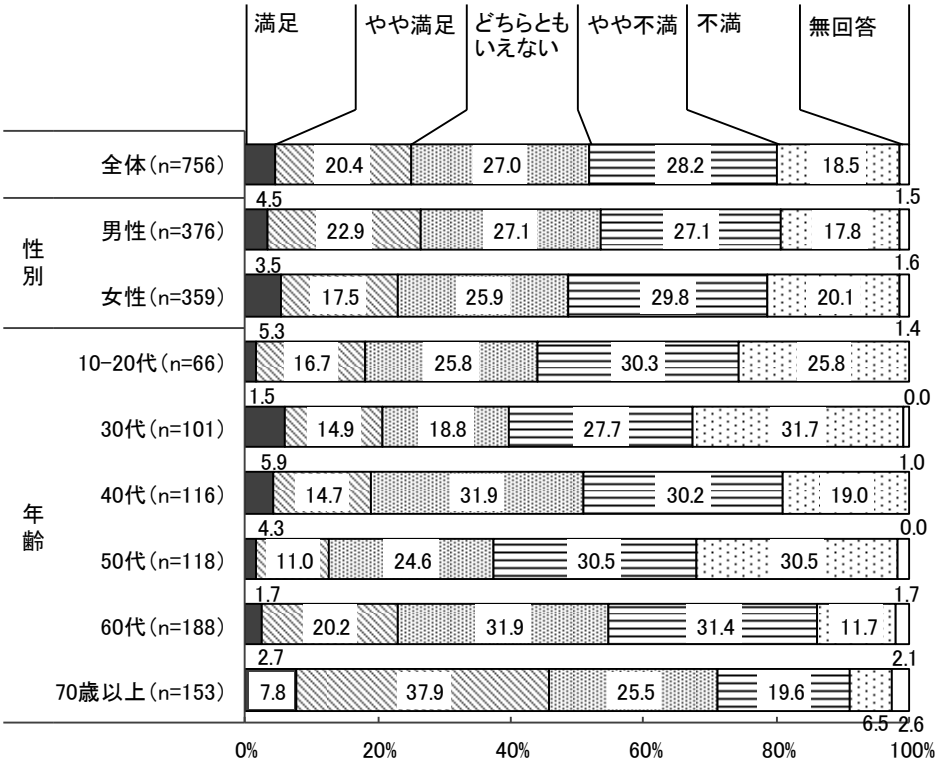
～『不満である』が４割以上、『満足している』は２割台～

医療体制について全体をみると、「満足」（4.5%）と「やや満足」（20.4%）を合計した『満足している』は 24.9%となっており、「不満」（18.5%）と「やや不満」（28.2%）を合計した『不満である』の 46.7%を 21.8 ポイント下回っています。

性別でみると、『満足している』は男性が 26.4%、女性は 22.8%と、男性が女性を 3.6 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 45.7%と最も高く、最も低い 50 代（12.7%）を 33.0 ポイント上回っています。70 歳以上を除いて『満足している』は高くても２割台となっており、『不満である』が 20 ポイント以上上回っています。

図表　医療体制について（全体、性別、年齢）



（２）保健サービスについて

問 22　保健・医療についておたずねします。

②あなたは、町の保健サービス（健康診断、健康相談、栄養指導など）について満足していますか。

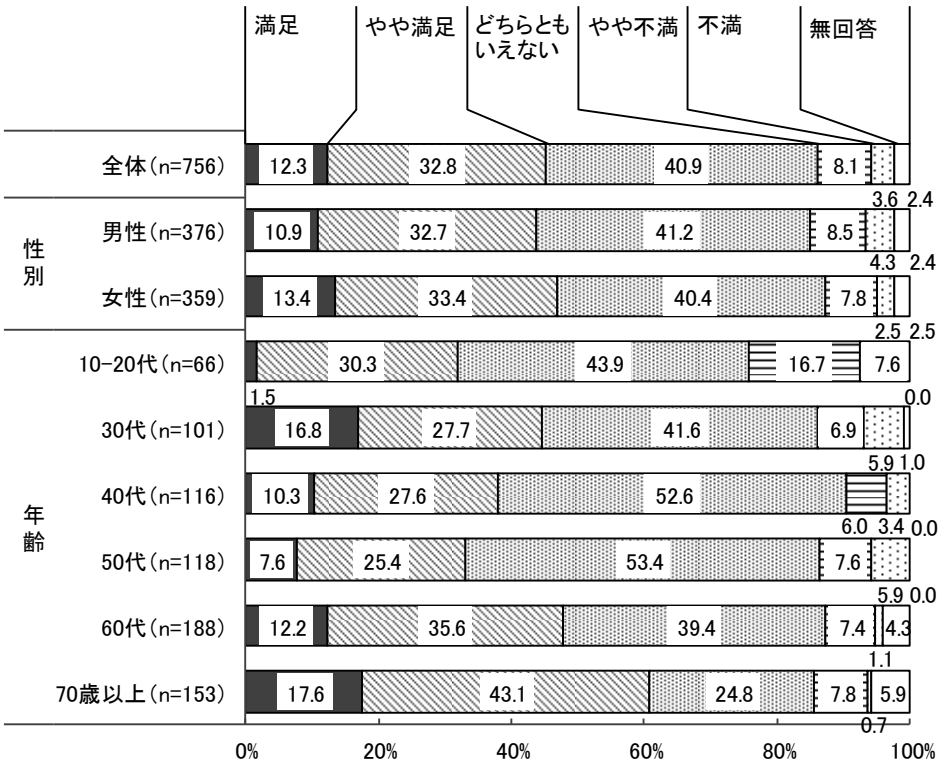
～『満足している』が４割以上、『不満である』は１割台～

保健サービスについて全体をみると、「満足」（12.3%）と「やや満足」（32.8%）を合計した『満足している』は 45.1%となっており、「不満」（3.6%）と「やや不満」（8.1%）を合計した『不満である』の 11.7%を 33.4 ポイント上回っています

性別でみると、『満足している』は男性が 43.6%、女性は 46.8%と、女性が男性を 3.2 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 60.7%と最も高く、最も低い 10-20 代（31.8%）を 28.9 ポイント上回っていて、すべての年代で『満足している』が『不満である』を上回っていますが、10-20 代から 50 代では「どちらともいえない」が４割を超えて高くなっています。

図表　保健サービスについて（全体、性別、年齢）



（3）医療対策で力を入れるべきこと

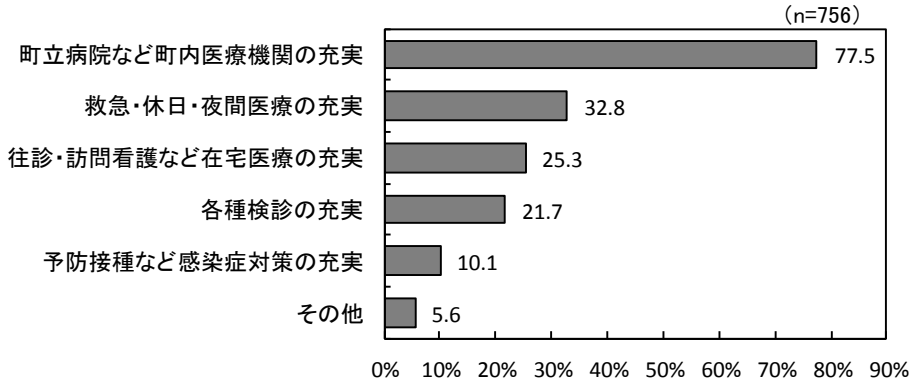
問 22　保健・医療についておたずねします。

③あなたは、町の医療対策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

～「町立病院など町内医療機関の充実」が７割以上、
次いで「救急・休日・夜間医療の充実」が３割台～

医療対策で力を入れるべきことについてみると、「町立病院など町内医療機関の充実」が 77.5%と最も高く、これに次ぐ「救急・休日・夜間医療の充実」（32.8%）よりも 44.7 ポイント上回っています。さらに、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」（25.3%）や「各種検診の充実」（21.7%）が２割を超えています。

図表　医療対策で力を入れるべきこと（全体／複数回答）



（４）保健対策で力を入れるべきこと

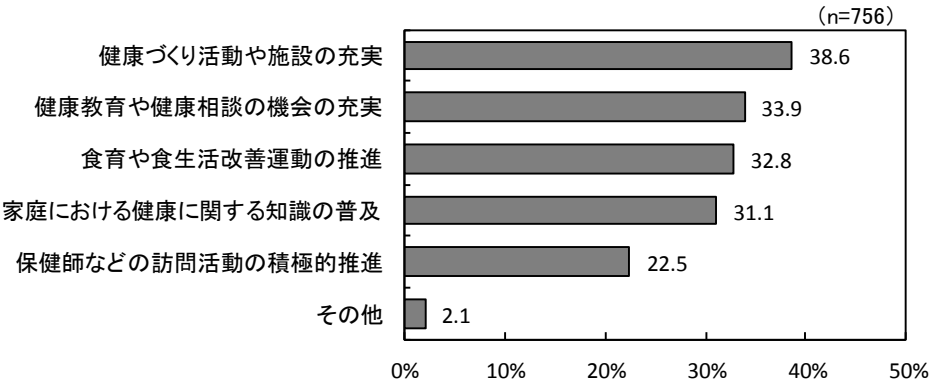
問 22　保健・医療についておたずねします。

④あなたは、町の保健対策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

～「健康づくり活動や施設の充実」が４割弱、
次いで「健康教育や健康相談の機会の充実」なども３割台～

保健対策で力を入れるべきことについてみると、「健康づくり活動や施設の充実」が 38.6%で最も高く、次いで「健康教育や健康相談の機会の充実」が 33.9%、「食育や食生活改善運動の推進」が 32.8%と、いずれも３割を超えています。

図表　保健対策で力を入れるべきこと（全体／複数回答）



（５）健康増進のための取組みについて

問 22　保健・医療についておたずねします。

⑤あなたは、日頃、健康増進のための取組み（運動や食生活の改善など）をしていますか。

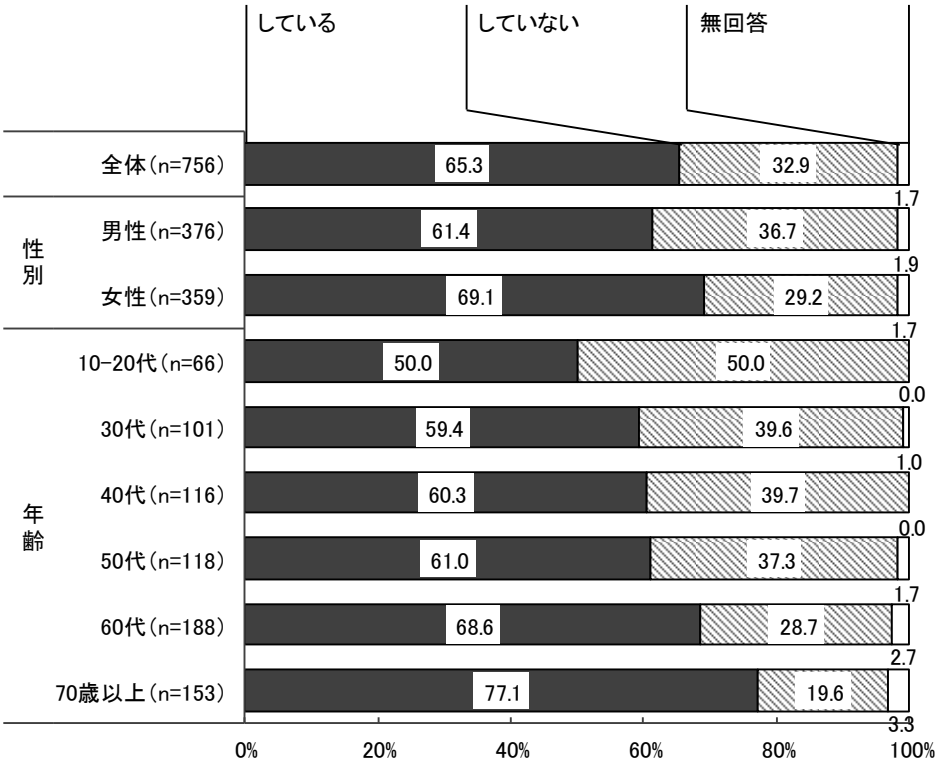
～「している」が６割以上、「していない」は３割台～

健康増進のための取組みについて全体をみると、「している」が 65.3%、「していない」は 32.9%となっており、「している」が「していない」を 32.4 ポイント上回っています。

性別でみると、「している」は男性が 61.4%、女性は 69.1%で、女性が男性を 7.7 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「している」は年代が上がるにつれて割合も高くなっており、70 歳以上が 77.1%と最も高く、最も低い 10-20 代（50.0%）とは 27.1 ポイント差があります。また、10-20 代を除いて「している」が「していない」を上回っています。

図表　健康増進のための取組みについて（全体、性別、年齢）



（６）バリアフリー化について

問 23　地域福祉についておたずねします。

①あなたは、町のバリアフリー化への取組み（公共施設などの段差解消、障がい者にも使いやすい施設の整備など）について満足していますか。

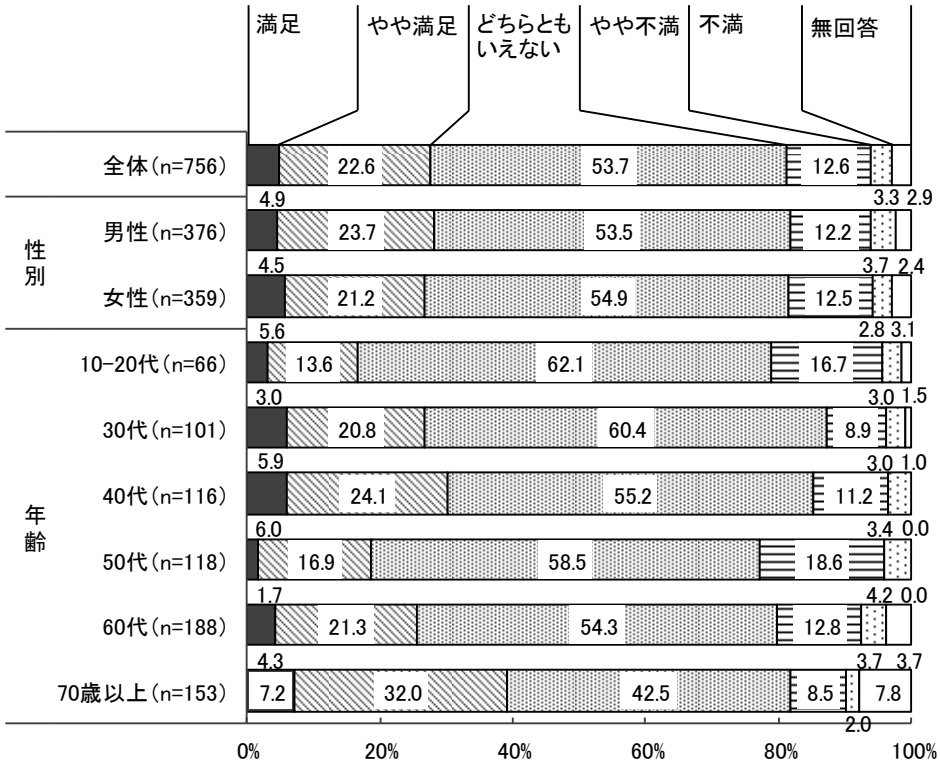
～「どちらともいえない」が５割以上、
『満足している』は２割台、『不満である』は１割台～

バリアフリー化について全体をみると、「満足」（4.9%）と「やや満足」（22.6%）を合計した『満足している』は 27.5%となっており、「不満」（3.3%）と「やや不満」（12.6%）を合計した『不満である』の 15.9%を 11.6 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 53.7%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 28.2%、女性は 26.8%と、差はみられません。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 39.2%と最も高く、最も低い 10-20 代（16.6%）を 22.6 ポイント上回っており、10-20 代と 50 代を除いて『満足している』が『不満である』を上回っています。また、「どちらともいえない」が 70 歳以上を除いて５割を超えて高くなっています。

図表　バリアフリー化について（全体、性別、年齢）



（７）地域福祉活動への参加について

問 23　地域福祉についておたずねします。

②あなたは、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加していますか。

～「していない」が８割弱、「している」は２割台～

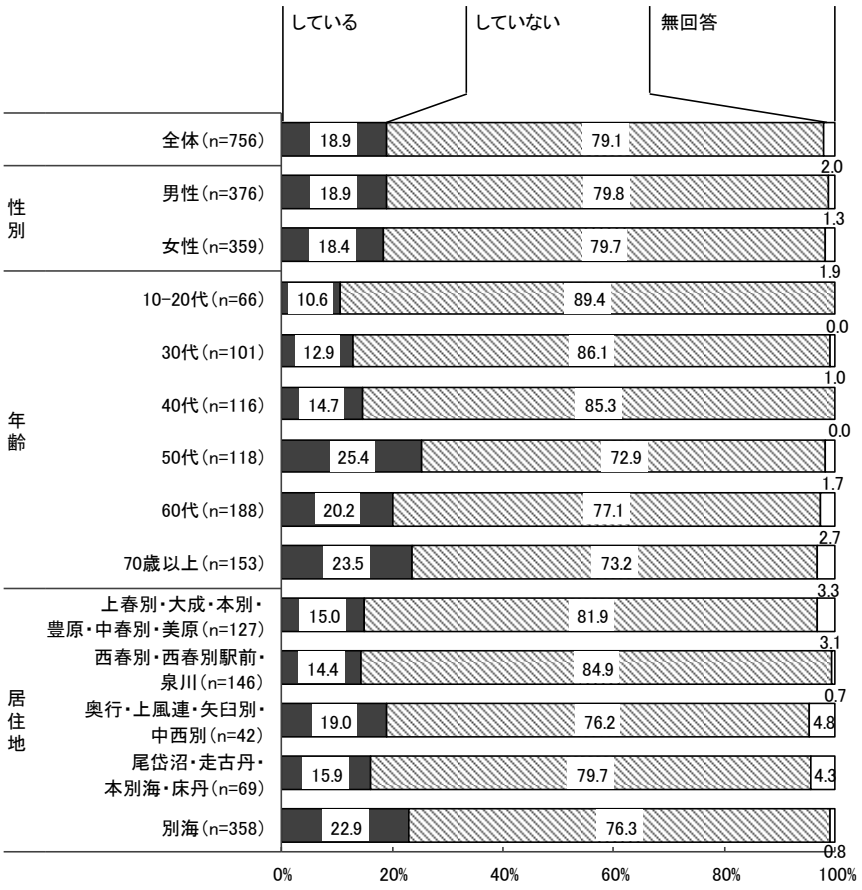
地域福祉活動への参加について全体をみると、「していない」が 79.1%、「している」は 18.9%となっており、「していない」が「している」を 60.2 ポイント上回っています。

性別でみると、「している」は男性が 18.9%、女性は 18.4%で、差はみられません。

年齢別でみると、「している」は 50 代が 25.4%と最も高く、最も低い 10-20 代（10.6%）とは 14.8 ポイント差があります。また、50 代以上はいずれも「している」が２割を超えており、いずれも１割台の 10-20 代から 40 代よりも高くなっています。

居住地別でみると、「している」は「別海」が 22.9%と最も高く、次いで「奥行・上風連・矢臼別・中西別」が 19.0%となっています。

図表　地域福祉活動への参加について（全体、性別、年齢、居住地）



（８）子育て環境について

問 24　子育て支援についておたずねします。

①あなたは、町の子育て環境について満足していますか。

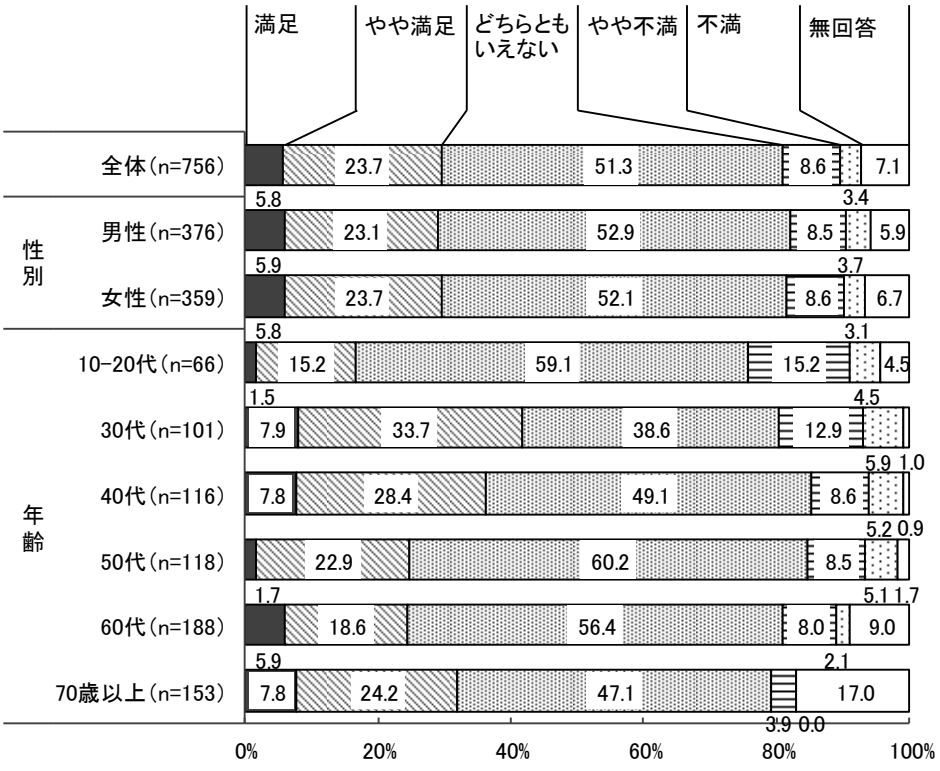
～「どちらともいえない」が５割以上、
『満足している』は３割弱、『不満である』は１割台～

子育て環境について全体をみると、「満足」（5.8%）と「やや満足」（23.7%）を合計した『満足している』は 29.5%となっており、「不満」（3.4%）と「やや不満」（8.6%）を合計した『不満である』の 12.0%を 17.5 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 51.3%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 29.0%、女性は 29.5%と、差はみられません。

年齢別でみると、『満足している』は 30 代が 41.6%と最も高く、最も低い 10-20 代（16.7%）を 24.9 ポイント上回っており、逆に『不満である』は年代が上がるにつれて割合が低くなっており、最も高い 10-20 代で 19.7%、次いで 30 代で 18.8%と２割近くなっています。また、「どちらともいえない」が 30 代を除いて４割を超えて高くなっています。

図表　子育て環境について（全体、性別、年齢）



（9）子育て環境を充実するために力を入れるべきこと

問 24　子育て支援についておたずねします。

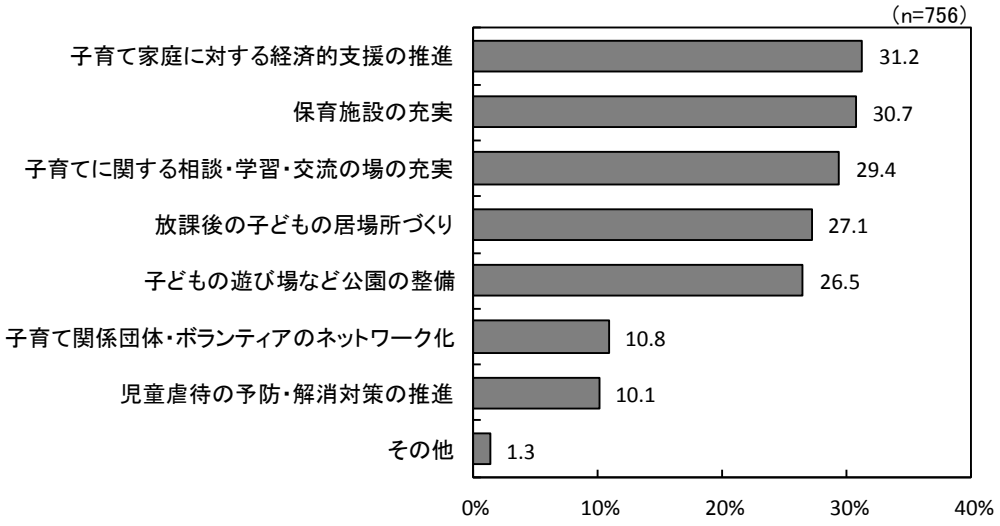
②あなたは、町の子育て環境を充実するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

～「子育て家庭に対する経済的支援の推進」と
それに次ぐ「保育施設の充実」が３割台～

子育て環境を充実するために力を入れるべきことについてみると、「子育て家庭に対する経済的支援の推進」が 31.2%で最も高く、次いで「保育施設の充実」が 30.7%と３割を超えており、「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」（29.4%）も３割弱となっています。

逆に、「児童虐待の予防・解消対策の推進」（10.1%）、「子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化」（10.8%）は約１割と低くなっています。

図表　子育て環境を充実するために力を入れるべきこと（全体／複数回答）



（10）妊婦・出産・育児（乳児期）支援について力を入れるべきこと

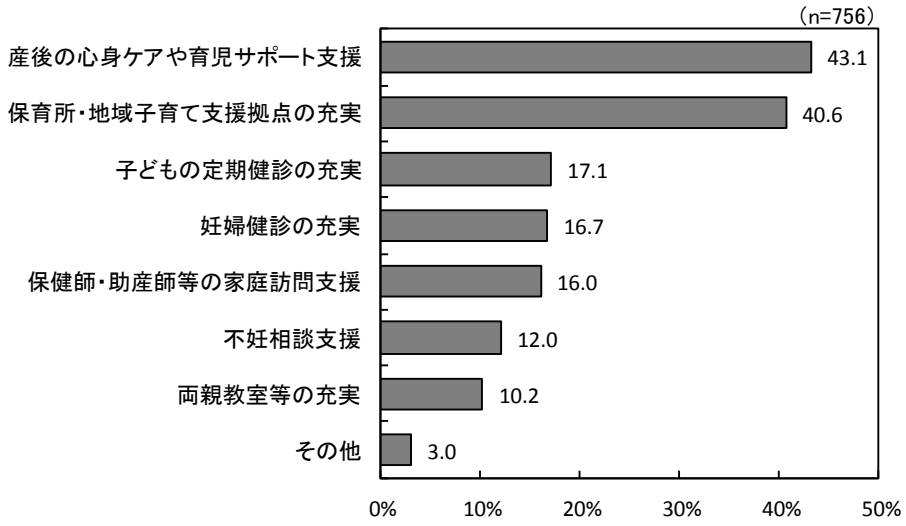
問 24　子育て支援についておたずねします。

③あなたは、妊婦・出産・育児（乳児期）支援について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

～「産後の心身ケアや育児サポート支援」と
それに次ぐ「保育所・地域子育て支援拠点の充実」が４割台～

妊婦・出産・育児（乳児期）支援について力を入れるべきことについてみると、「産後の心身ケアや育児サポート支援」が 43.1％で最も高く、次いで「保育所・地域子育て支援拠点の充実」が 40.6％と４割を超えており、これに次ぐ、「子どもの定期健診の充実」（17.1％）、よりも 20 ポイント以上上回っています。

図表　妊婦・出産・育児（乳児期）支援について力を入れるべきこと（全体／複数回答）



（11）高齢者施策ついて

問 25　高齢者施策についておたずねします。

①あなたは、町の高齢者施策について満足していますか。

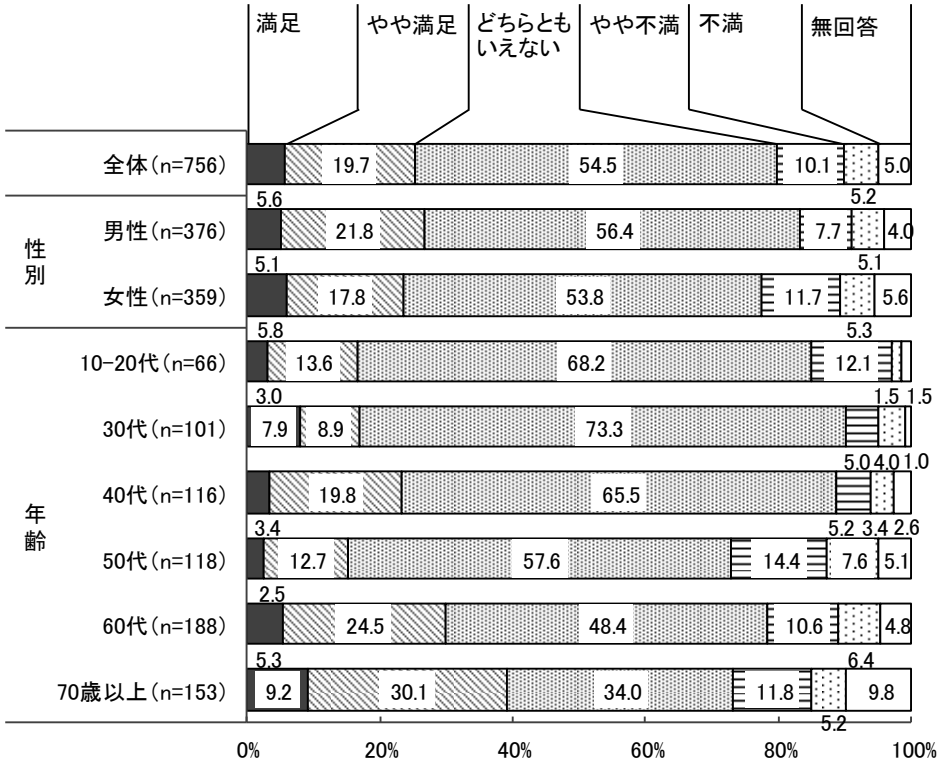
～「どちらともいえない」が５割以上、
『満足している』は２割台、『不満である』は１割台～

高齢者施策について全体をみると、「満足」（5.6%）と「やや満足」（19.7%）を合計した『満足している』は 25.3%となっており、「不満」（5.2%）と「やや不満」（10.1%）を合計した『不満である』の 15.3%を 10.0 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 54.5%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 26.9%、女性は 23.6%と、男性が女性を 3.3 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 39.3%と最も高く、最も低い 50 代（15.2%）を 24.1 ポイント上回っており、50 代を除いて『満足している』が『不満である』を上回っています。また、「どちらともいえない」が 70 歳以上を除いて４割を超えて高くなっています。

図表　高齢者施策について（全体、性別、年齢）



（12）高齢者施策について力を入れるべきこと

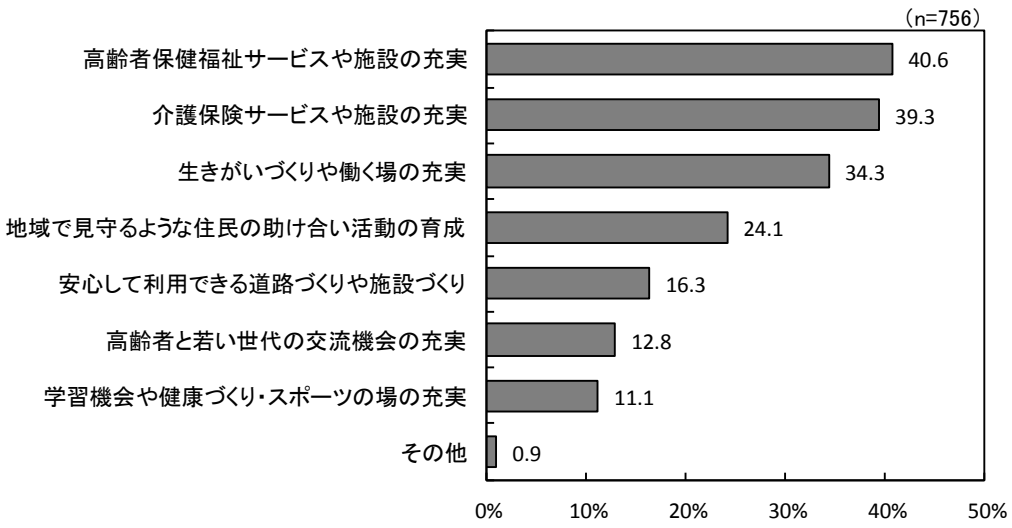
問 25　高齢者施策についておたずねします。

②あなたは、町の高齢者施策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

～「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」と
それに次ぐ「介護保険サービスや施設の充実」が４割前後～

高齢者施策について力を入れるべきことについてみると、「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」が 40.6%で最も高く、次いで「介護保険サービスや施設の充実」が 39.3%と、４割前後となっており、さらに「生きがいづくりや働く場の充実」（34.3%）も３割を超えています。

図表　高齢者施策について力を入れるべきこと（全体／複数回答）



（13）障がい者施策について

問 26　障がい者施策についておたずねします。

①あなたは、町の障がい者施策について満足していますか。

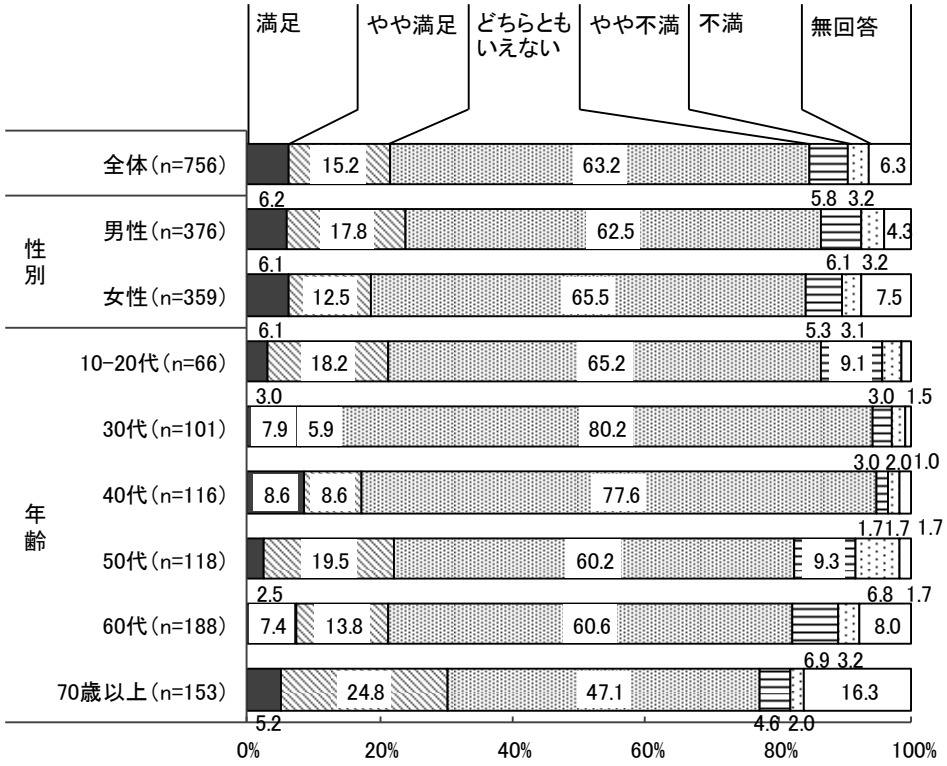
～「どちらともいえない」が６割以上、
『満足している』は２割台、『不満である』は１割以下～

障がい者施策について全体をみると、「満足」（6.2%）と「やや満足」（15.2%）を合計した『満足している』は 21.4%となっており、「不満」（3.2%）と「やや不満」（5.8%）を合計した『不満である』の 9.0%を 12.4 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 63.2%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 23.9%、女性は 18.6%と、男性が女性を 5.3 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 30.0%と最も高く、最も低い 30 代（13.8%）を 16.2 ポイント上回っており、すべての年代で『満足している』が『不満である』を上回っています。また、「どちらともいえない」が 70 歳以上を除いて６割を超えて高くなっています。

図表　障がい者施策について（全体、性別、年齢）



（14）障がい者施策について力を入れるべきこと

問 26　障がい者施策についておたずねします。

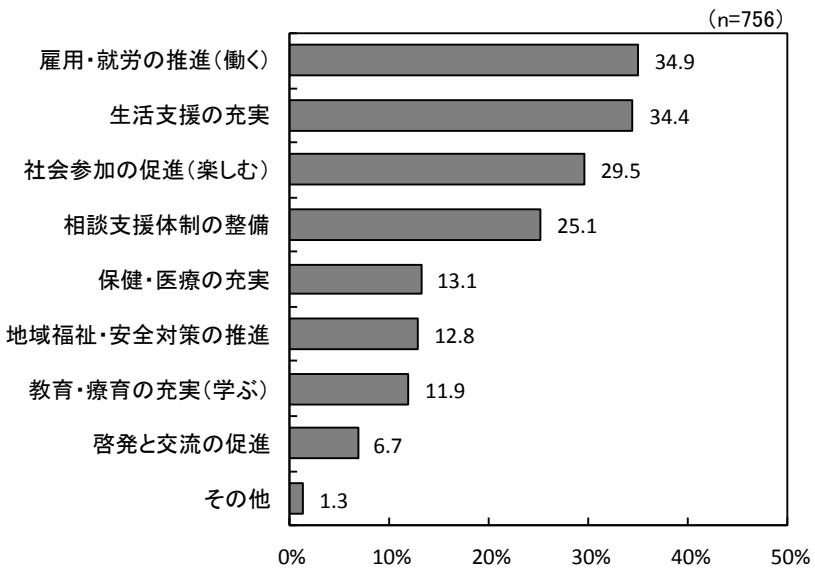
②あなたは、町の障がい者施策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

～「雇用・就労の推進（働く）」とそれに次ぐ「生活支援の充実」が３割以上～

障がい者施策について力を入れるべきことについてみると、「雇用・就労の推進（働く）」が 34.9%で最も高く、次いで「生活支援の充実」が 34.4%と３割を超えています。さらに、「社会参加の促進（楽しむ）」（29.5%）、「相談支援体制の整備」（25.1%）が２割を超えています。

逆に、「啓発と交流の促進」（6.7%）は１割以下と低くなっています。

図表　障がい者施策について力を入れるべきこと（全体／複数回答）



9　教育・文化・スポーツについて

（1）学校教育環境について

問 27　幼児教育・学校教育についておたずねします。

①あなたは、町の幼稚園・小中学校などの学校教育環境（教育内容、学校施設など）について満足していますか。

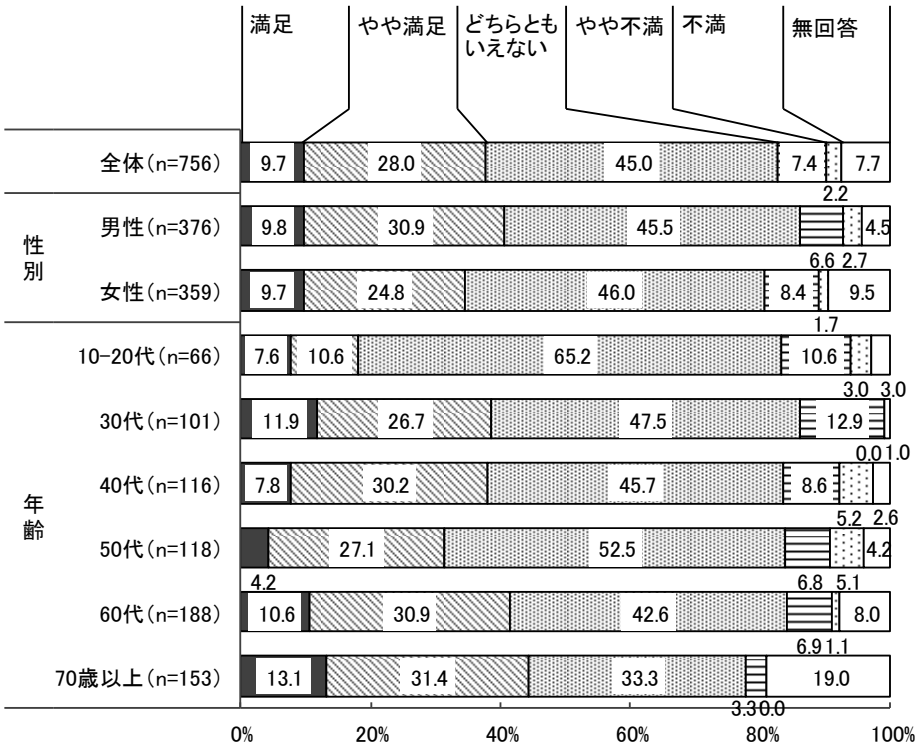
～「どちらともいえない」が４割以上、
『満足している』は３割台、『不満である』は１割以下～

学校教育環境について全体をみると、「満足」（9.7%）と「やや満足」（28.0%）を合計した『満足している』は 37.7%となっており、「不満」（2.2%）と「やや不満」（7.4%）を合計した『不満である』の 9.6%を 28.1 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 45.0%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 40.7%、女性は 34.5%と、男性が女性を 6.2 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 44.5%と最も高く、最も低い 10-20 代（18.2%）を 26.3 ポイント上回っており、すべての年代で『満足している』が『不満である』を上回っています。また、「どちらともいえない」が 70 歳以上を除いて４割を超えており、特に 10-20 代では６割を超えて高くなっています。

図表　学校教育環境について（全体、性別、年齢）



（２）豊かな人間教育のために必要なこと

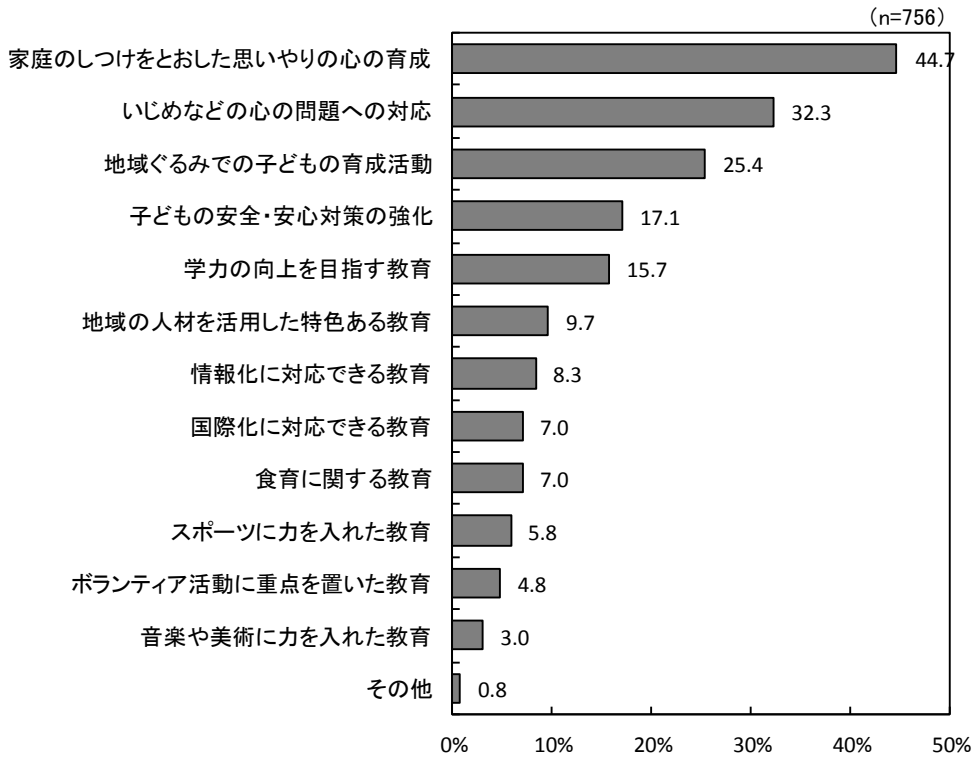
問 27　幼児教育・学校教育についておたずねします。

②子どもの健全育成が大きな社会的課題となっていますが、豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

～「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」が４割以上、次いで「いじめなどの心の問題への対応」が３割台～

豊かな人間教育のために必要なことについてみると、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」が 44.7%で最も高く、次いで「いじめなどの心の問題への対応」が 32.3%、「地域ぐるみでの子どもの育成活動」が 25.4%、「子どもの安全・安心対策の強化」が 17.1%、「学力の向上を目指す教育」が 15.7%となっています。

図表　豊かな人間教育のために必要なこと（全体／複数回答）



（３）生涯学習・芸術文化活動について

問 28　生涯学習・芸術文化活動についておたずねします。

①あなたは、町の生涯学習活動・芸術文化活動に関する取組み（各種講座・教室の実施、学習施設の整備・充実など）について満足していますか。

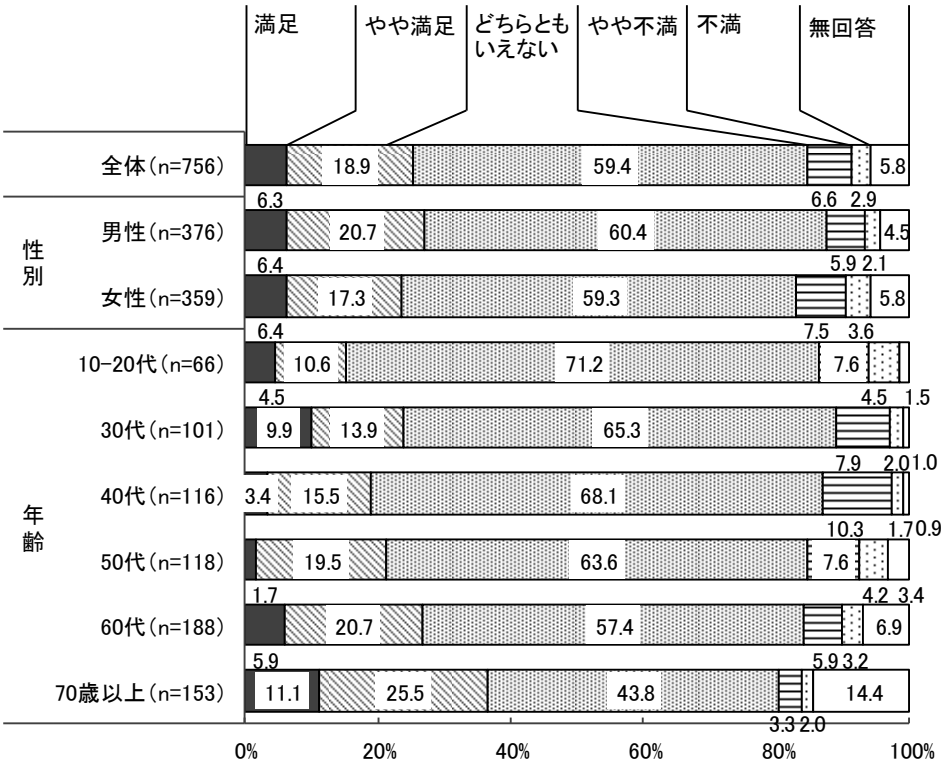
～「どちらともいえない」が６割弱、
『満足している』は２割台、『不満である』は１割以下～

生涯学習活動・芸術文化活動について全体をみると、「満足」（6.3%）と「やや満足」（18.9%）を合計した『満足している』は 25.2%となっており、「不満」（2.9%）と「やや不満」（6.6%）を合計した『不満である』の 9.5%を 15.7 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 59.4%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 27.1%、女性は 23.7%と、男性が女性を 3.4 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 36.6%と最も高く、最も低い 10-20 代（15.1%）を 21.5 ポイント上回っており、すべての年代で『満足している』が『不満である』を上回っています。また、「どちらともいえない」が 70 歳以上を除いて５割を超えており、特に 10-20 代では７割を超えて高くなっています。

図表　生涯学習・芸術文化活動について（全体、性別、年齢）



（４）生涯学習活動・芸術文化活動の活発化に必要なこと

問 28　生涯学習・芸術文化活動についておたずねします。

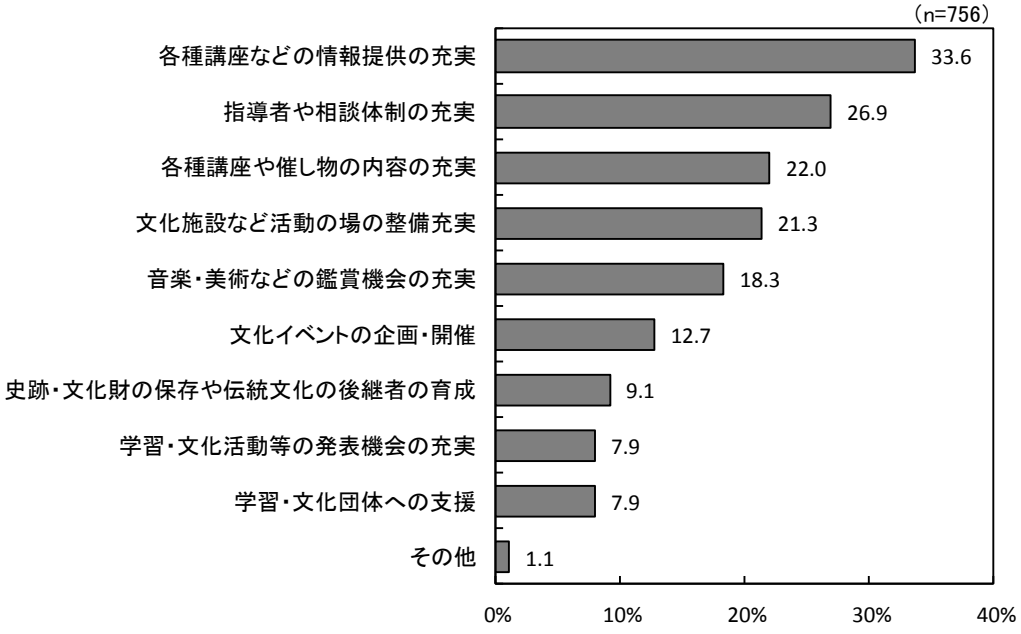
②あなたは、生涯学習活動・芸術文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

～「各種講座などの情報提供の充実」が３割以上、
次いで「指導者や相談体制の充実」が２割台～

生涯学習活動・芸術文化活動の活発化に必要なことについてみると、「各種講座などの情報提供の充実」が 33.6％で最も高く、これに次ぐ「指導者や相談体制の充実」（26.9％）、「各種講座や催し物の内容の充実」（22.0％）、「文化施設など活動の場の整備充実」（21.3％）が２割を超えています。

逆に、「学習・文化団体への支援」（7.9％）、「学習・文化活動等の発表機会の充実」（7.9％）、「史跡・文化財の保存や伝統文化の後継者の育成」（9.1％）は１割以下で低くなっています。

図表　生涯学習活動・芸術文化活動の活発化に必要なこと（全体／複数回答）



（５）生涯学習活動への参加状況

問 28　生涯学習・芸術文化活動についておたずねします。

③あなたは、日頃、生涯学習活動（参加含む）をしていますか。

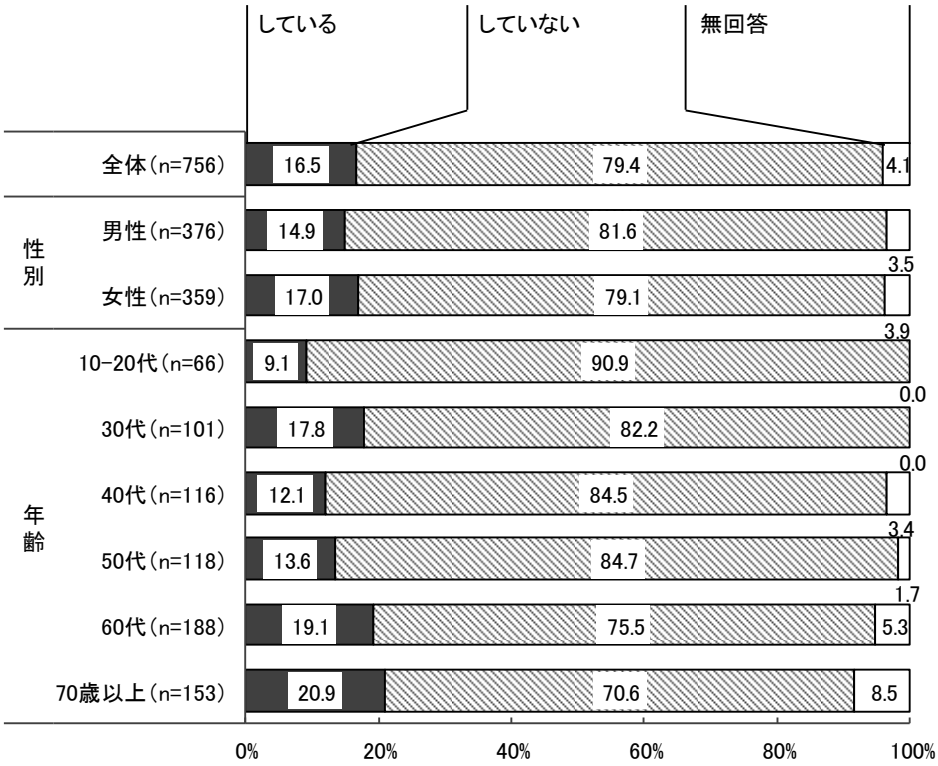
～「していない」が８割弱、「している」は１割台～

生涯学習活動への参加状況について全体をみると、「していない」が 79.4%、「している」は 16.5%となっており、「していない」が「している」を 62.9 ポイント上回っています。

性別でみると、「している」は男性が 14.9%、女性は 17.0%で、女性が男性を 2.1 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「している」は 70 歳以上が 20.9%と最も高く、最も低い 10-20 代（9.1%）とは 11.8 ポイント差があります。

図表　生涯学習活動への参加状況（全体、性別、年齢）



（６）スポーツ活動について

問 29　スポーツ活動についておたずねします。

①あなたは、町のスポーツ活動に関する取組み（各種講座・教室の実施、スポーツ施設の整備・充実など）について満足していますか。

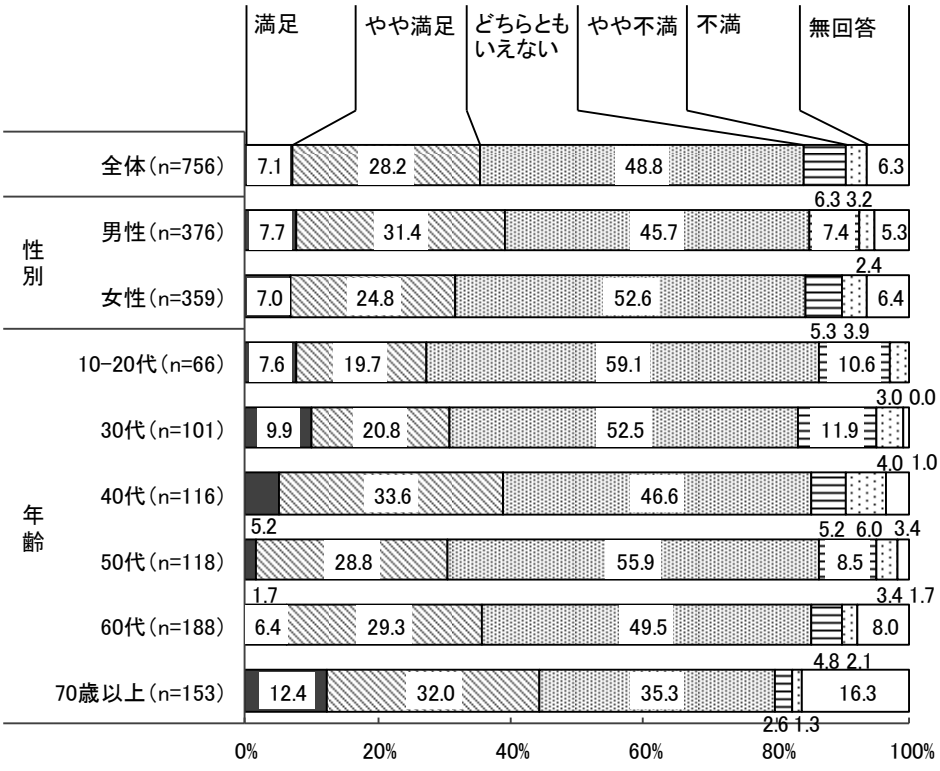
～「どちらともいえない」が５割近く、
『満足している』は３割台、『不満である』は１割以下～

スポーツ活動について全体をみると、「満足」（7.1%）と「やや満足」（28.2%）を合計した『満足している』は 35.3%となっており、「不満」（3.2%）と「やや不満」（6.3%）を合計した『不満である』の 9.5%を 25.8 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 48.8%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 39.1%、女性は 31.8%と、男性が女性を 7.3 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 44.4%と最も高く、最も低い 10-20 代（27.3%）を 17.1 ポイント上回っており、すべての年代で『満足している』が『不満である』を上回っています。また、「どちらともいえない」が 70 歳以上を除いて４割を超えています。

図表　スポーツ活動について（全体、性別、年齢）



（７）スポーツ活動の活発化に必要なこと

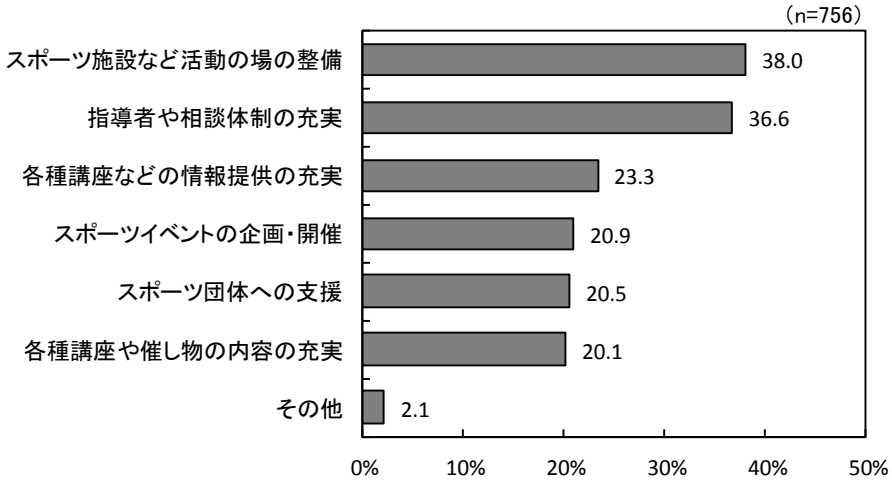
問 29　スポーツ活動についておたずねします。

②あなたは、スポーツ活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

～「スポーツ施設など活動の場の整備」と、
それに次ぐ「指導者や相談体制の充実」が３割台～

スポーツ活動の活発化に必要なことについてみると、「スポーツ施設など活動の場の整備」が 38.0%で最も高く、次いで「指導者や相談体制の充実」が 36.6%となっており、これらに次ぐ「各種講座などの情報提供の充実」（23.3%）、「スポーツイベントの企画・開催」（20.9%）、「スポーツ団体への支援」（20.5%）などよりも 10 ポイント以上上回っています。

図表　スポーツ活動の活発化に必要なこと（全体／複数回答）



（８）週１回以上の日常的な運動ついて

問 29　スポーツ活動についておたずねします。

③あなたは、日常的に（週１回以上）をしていますか。

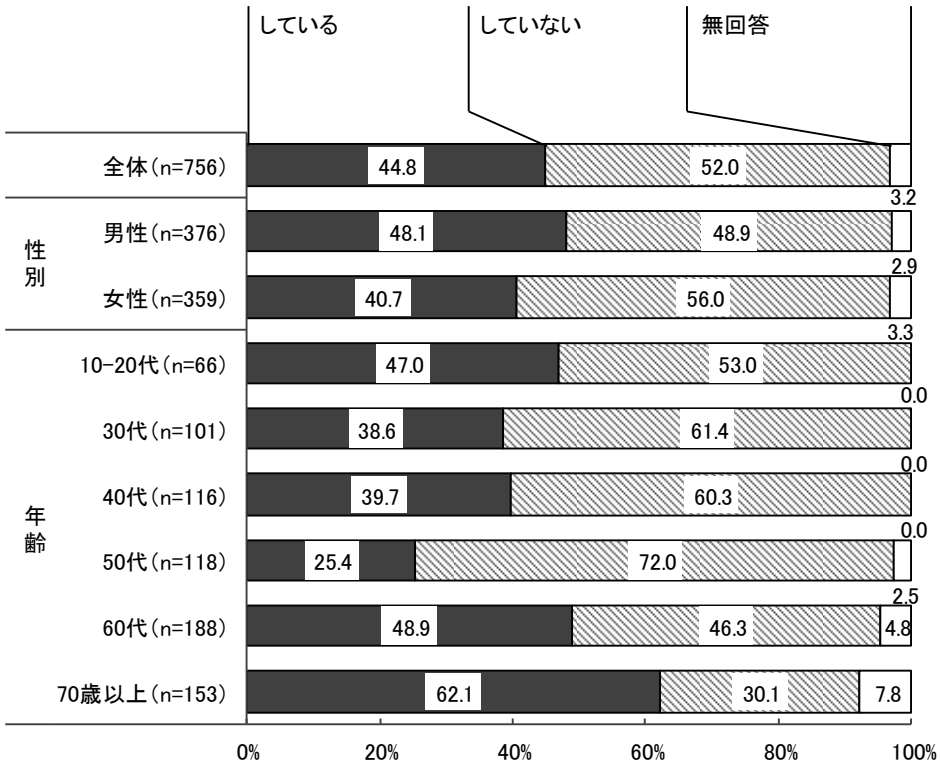
～「していない」が５割以上、「している」は４割台～

週１回以上の日常的な運動ついて全体をみると、「していない」が 52.0%、「している」は 44.8%となっており、「していない」が「している」を 7.2 ポイント上回っています。

性別でみると、「している」は男性が 48.1%、女性は 40.7%で、男性が女性を 7.4 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「している」は 70 歳以上が 62.1%と最も高く、最も低い 50 代（25.4%）とは 36.7 ポイント差があり、60 代と 70 歳以上では『している』が『していない』を上回っています。

図表　週１回以上の日常的な運動ついて（全体、性別、年齢）



10　人権・男女共同参画について

（1）人権教育・啓発について

問 30　人権教育・啓発についておたずねします。

①あなたは、町の人権教育・啓発に関する取組みについて満足していますか。

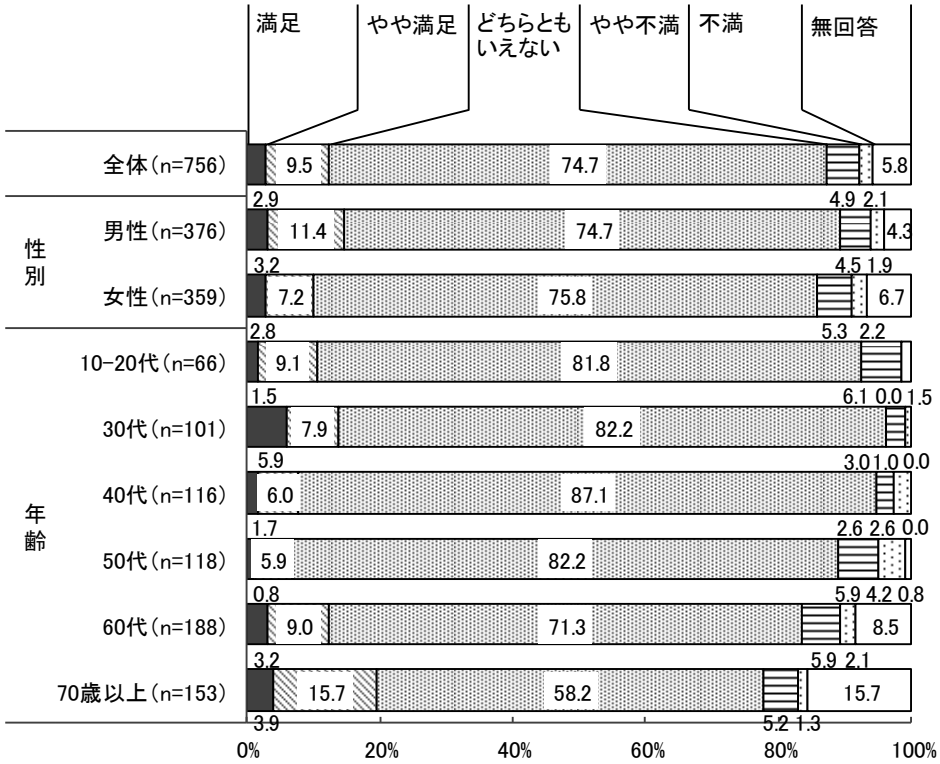
～「どちらともいえない」が７割以上、
『満足している』は１割台、『不満である』は１割以下～

人権教育・啓発について全体をみると、「満足」（2.9%）と「やや満足」（9.5%）を合計した『満足している』は 12.4%となっており、「不満」（2.1%）と「やや不満」（4.9%）を合計した『不満である』の 7.0%を 5.4 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 74.7%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 14.6%、女性は 10.0%と、男性が女性を 4.6 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 19.6%と最も高く、最も低い 50 代（6.7%）を 12.9 ポイント上回っており、50 代を除いて『満足している』が『不満である』を上回っています。また、「どちらともいえない」が 70 歳以上を除いて７割を超えています。

図表　人権教育・啓発について（全体、性別、年齢）



（２）人権教育・啓発活動への参加状況

問 30　人権教育・啓発についておたずねします。

②あなたは、人権教育・啓発活動などに参加したことがありますか。

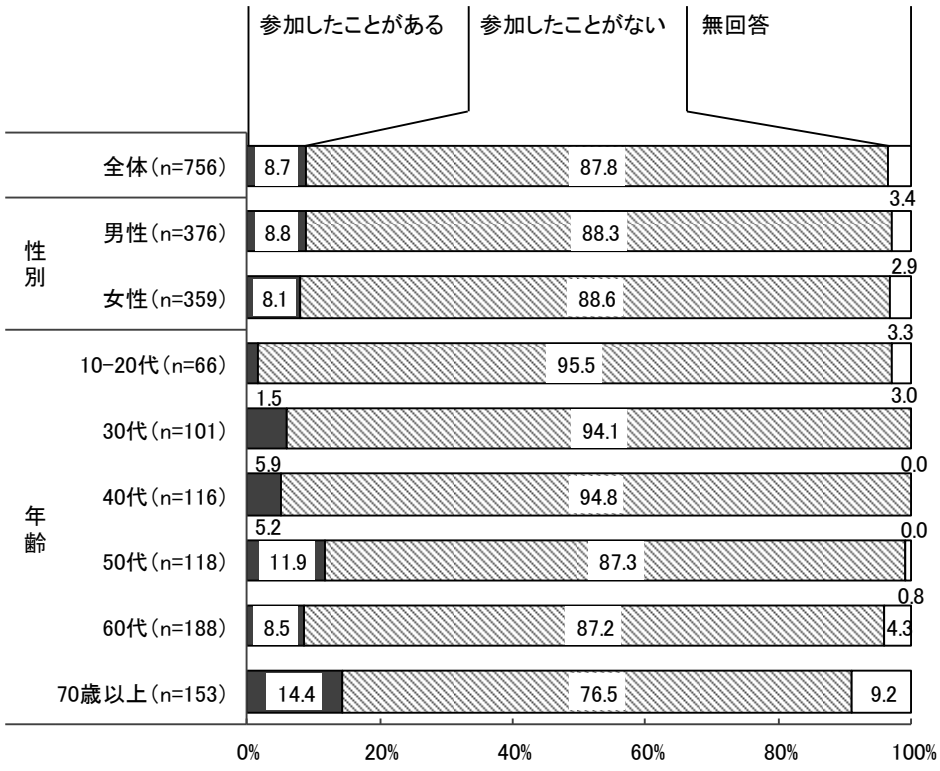
～「参加したことがない」が８割以上、「参加したことがある」は１割以下～

人権教育・啓発活動への参加状況について全体をみると、「参加したことがない」が 87.8%、「参加したことがある」は 8.7%となっており、「参加したことがない」が「参加したことがある」を 79.1 ポイント上回っています。

性別でみると、「参加したことがある」は男性が 8.8%、女性は 8.1%で、差がありません。

年齢別でみると、「参加したことがある」は 70 歳以上が 14.4%と最も高く、次いで 50 代が 11.9%と１割を超えており、逆に 10-20 代が 1.5%と最も低くなっています。

図表　人権教育・啓発活動への参加状況ついて（全体、性別、年齢）



（３）男女共同参画の推進について

問 31　男女共同参画についておたずねします。

①あなたは、町の男女共同参画の推進に関する取組み（男女平等意識の啓発、委員会等への女性の登用など）について満足していますか

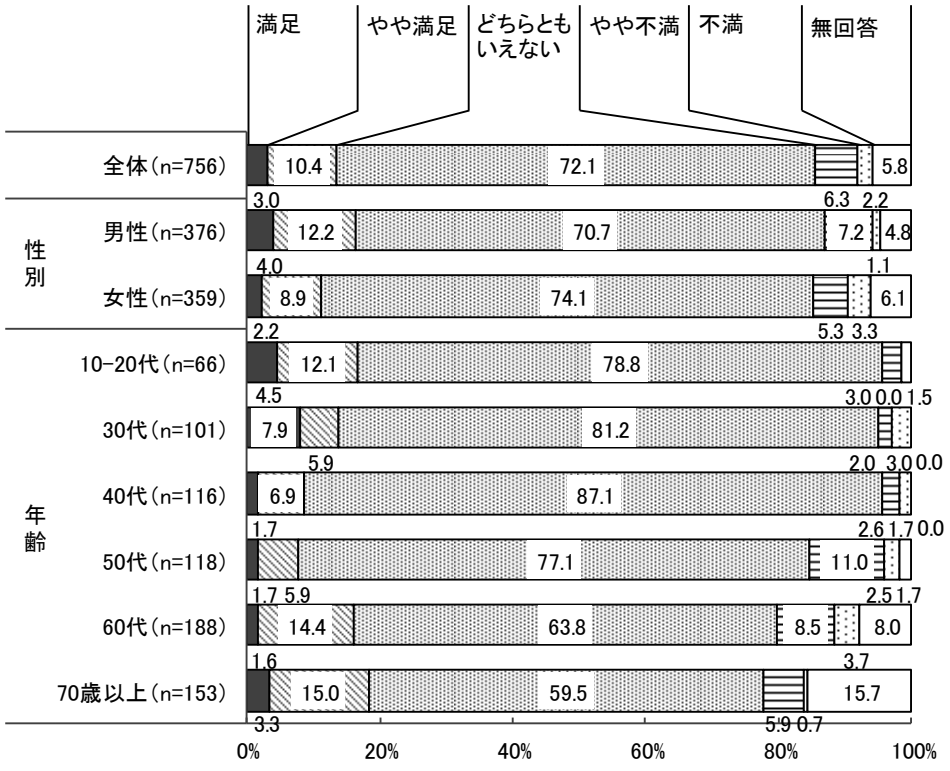
～「どちらともいえない」が７割以上、
『満足している』は１割台、『不満である』は１割以下～

男女共同参画の推進について全体をみると、「満足」（3.0%）と「やや満足」（10.4%）を合計した『満足している』は 13.4%となっており、「不満」（2.2%）と「やや不満」（6.3%）を合計した『不満である』の 8.5%を 4.9 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 72.1%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 16.2%、女性は 11.1%と、男性が女性を 5.1 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 18.3%と最も高く、最も低い 50 代（7.6%）を 10.7 ポイント上回っており、50 代を除いて『満足している』が『不満である』を上回っています。また、「どちらともいえない」が 60 代と 70 歳以上を除いて７割を超えています。

図表　男女共同参画の推進について（全体、性別、年齢）



（４）男女共同参画社会の形成のために必要なこと

問 31　男女共同参画についておたずねします。

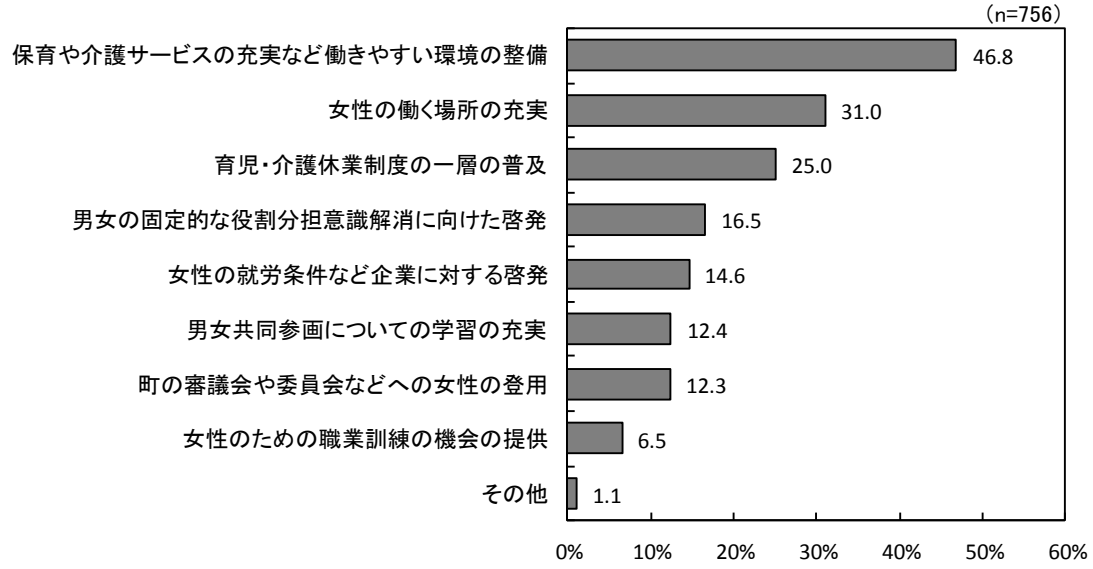
②あなたは、男女共同参画社会を形成するため、どのような取組みが必要だと思いますか。【複数回答】

～「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」が４割以上、次いで「女性の働く場所の充実」が３割台～

男女共同参画社会の形成のために必要なことについてみると、「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」が 46.8%で最も高く、次いで「女性の働く場所の充実」が 31.0%、「育児・介護休業制度の一層の普及」が 25.0%となっています。

逆に、「女性のための職業訓練の機会の提供」（6.5%）は１割以下で低くなっています。

図表　男女共同参画社会の形成のために必要なこと（全体／複数回答）



11　地域間交流について

（１）国内外との交流活動について

問 32　国際交流・地域間交流についておたずねします。

①あなたは、町の国内外との交流活動（姉妹都市、友好都市交流など）について満足していますか。

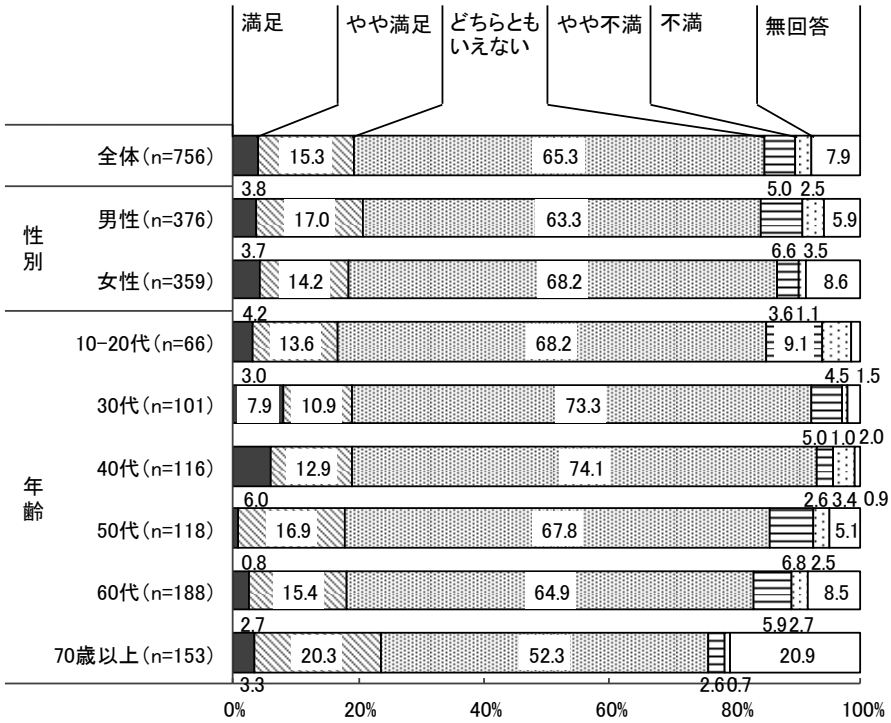
～「どちらともいえない」が６割以上、
『満足している』は２割弱、『不満である』は１割以下～

国内外との交流活動について全体をみると、「満足」（3.8%）と「やや満足」（15.3%）を合計した『満足している』は 19.1%となっており、「不満」（2.5%）と「やや不満」（5.0%）を合計した『不満である』の 7.5%を 11.6 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 65.3%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 20.7%、女性は 18.4%と、男性が女性を 2.3 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 23.6%と最も高く、そのほかはいずれも１割台となっており、すべての年代で『満足している』が『不満である』を上回っています。また、「どちらともいえない」が 70 歳以上を除いて６割を超えています。

図表　国内外との交流活動について（全体、性別、年齢）



（２）国内外との交流活動に必要だと思うこと

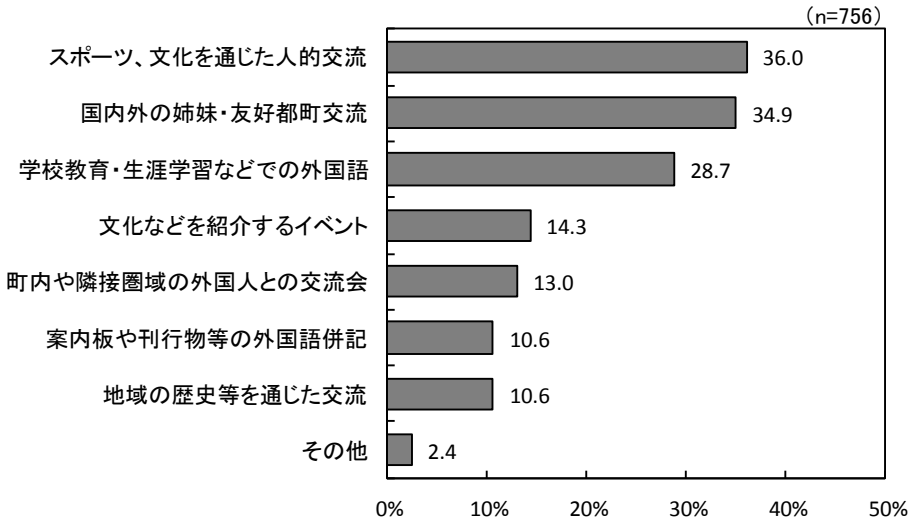
問 32　国際交流・地域間交流についておたずねします。

②あなたは、国内外との交流活動について、今後どのような取組みが必要だと思いますか。【複数回答】

～「スポーツ、文化を通じた人的交流」と、
それに次ぐ「国内外の姉妹・友好都町交流」が３割以上～

国内外との交流活動に必要なことについてみると、「スポーツ、文化を通じた人的交流」が 36.0%で最も高く、次いで「国内外の姉妹・友好都町交流」が 34.9%、「学校教育・生涯学習などでの外国語」が 28.7%となっていて、これらに続く「文化などを紹介するイベント」（14.3%）などよりも高くなっています。

図表　国内外との交流活動に必要だと思うこと（全体／複数回答）



12　広報・広聴、住民活動などについて

（1）広報・広聴活動について

問 33　広報・広聴についておたずねします。

①あなたは、町の広報・広聴活動に関する取組み（広報紙やホームページなど）について満足していますか。

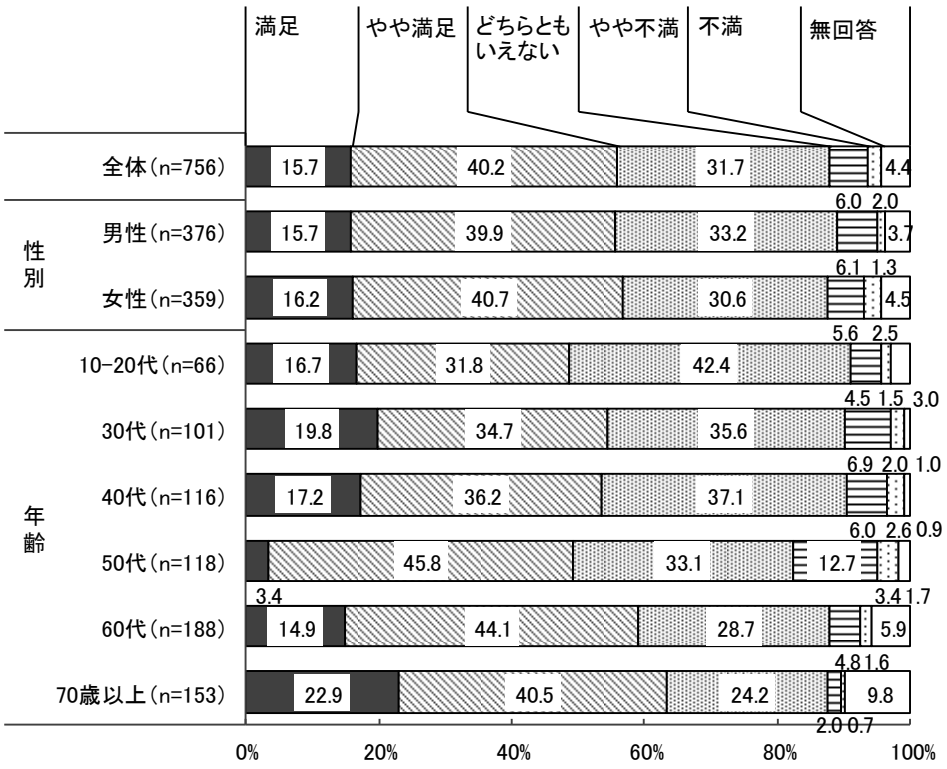
～『満足している』が５割以上、『不満である』は１割以下～

広報・広聴活動について全体をみると、「満足」（15.7%）と「やや満足」（40.2%）を合計した『満足している』は 55.9%となっており、「不満」（2.0%）と「やや不満」（6.0%）を合計した『不満である』の 8.0%を 47.9 ポイント上回っています

性別でみると、『満足している』は男性が 55.6%、女性は 56.9%と、差がありません。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 63.4%と最も高く、最も低い 10-20 代（48.5%）を 14.9 ポイント上回っていて、すべての年代で『満足している』が『不満である』を上回っていますが、50 代を除いて『不満である』が１割以下であるのに対して、50 代では 16.1%とほかよりも高くなっています。

図表　広報・広聴活動について（全体、性別、年齢）



（２）町の広報について

問 33　広報・広聴についておたずねします。

②あなたは、町の広報紙を読んでいますか。

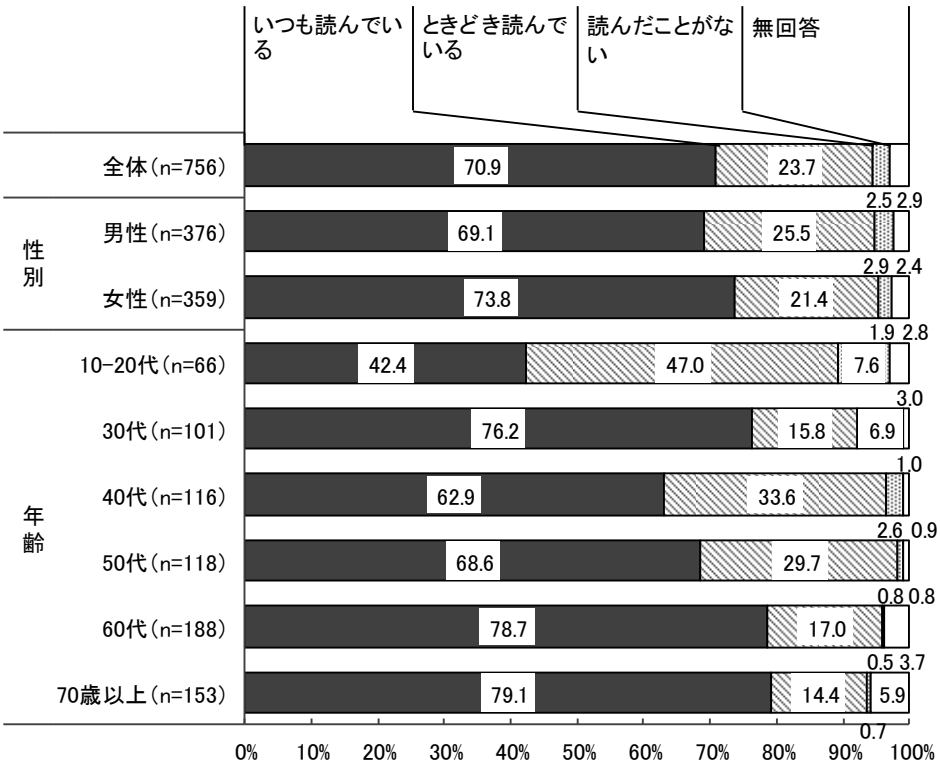
～「いつも読んでいる」が約７割、「読んだことがない」は１割以下～

町の広報について全体をみると、「いつも読んでいる」は 70.9%で、「ときどき読んでいる」（23.7%）と合計した『読んでいる』は 94.6%となっており、「読んだことがない」の 2.5%を 92.1 ポイント上回っています

性別でみると、『読んでいる』は男性が 94.6%、女性は 95.2%と、差がありません。

年齢別でみると、『読んでいる』は 50 代が 98.3%と最も高く、最も低い 10-20 代でも 89.4%と９割弱となっています。ただ、「いつも読んでいる」をみると、30 代以上では６割を超えているのに対して、10-20 代では 42.4%とほかよりも 20 ポイント以上低くなっています。

図表　町の広報について（全体、性別、年齢）



（３）町のホームページの閲覧について

問 33　広報・広聴についておたずねします。

③あなたは、町のホームページを見たことがありますか。

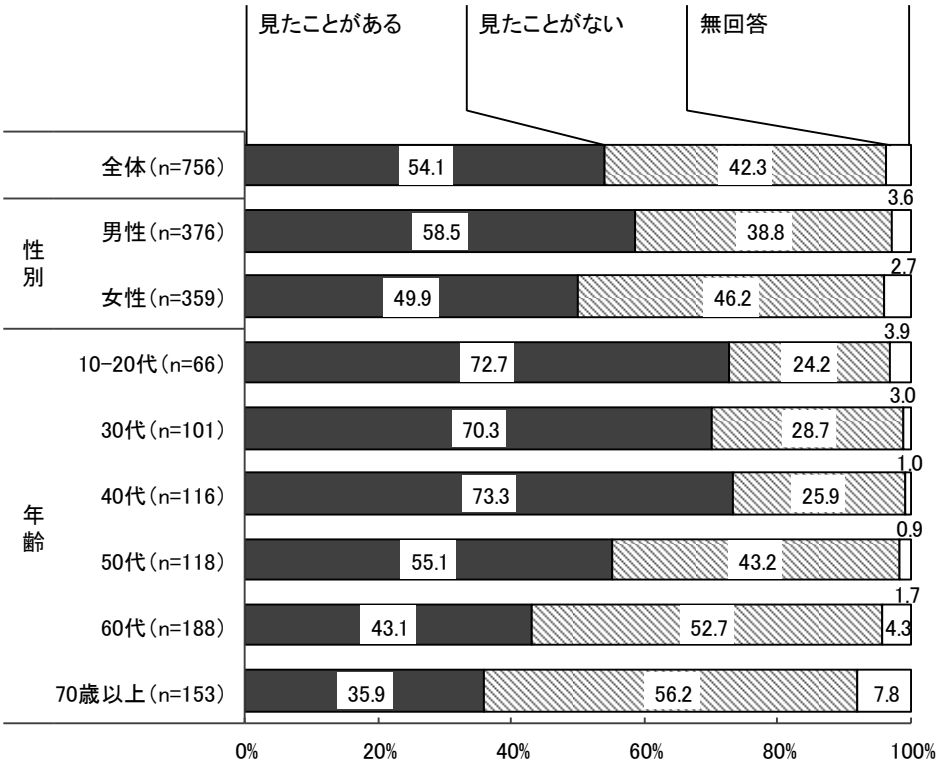
～「見たことがある」が５割以上、「見たことがない」も４割台～

町のホームページの閲覧について全体をみると、「見たことがある」が 54.1%、「見たことがない」が 42.3%で、「見たことがある」が 11.8 ポイント上回っています。

性別でみると、「見たことがある」は男性が 58.5%、女性は 49.9%で、男性が女性を 8.6 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「見たことがある」は 40 代が 73.3%と最も高く、最も低い 70 歳以上（35.9%）よりも 37.4 ポイント上回っています。また、10-20 代から 40 代では「見たことがある」が７割を超えているのに対して、50 代は５割台で、年代が上がるにつれて割合が低くなっており、60 代と 70 歳代では「見たことがない」が「見たことがある」を上回っています。

図表　町のホームページの閲覧について（全体、性別、年齢）



（４）住民参画について

問 34　住民参画についておたずねします。

①あなたは、町の住民参画に関する取組み（各種委員の一般公募、町政情報の公開、ボランティア・ＮＰＯ活動の活性化支援など）について満足していますか。

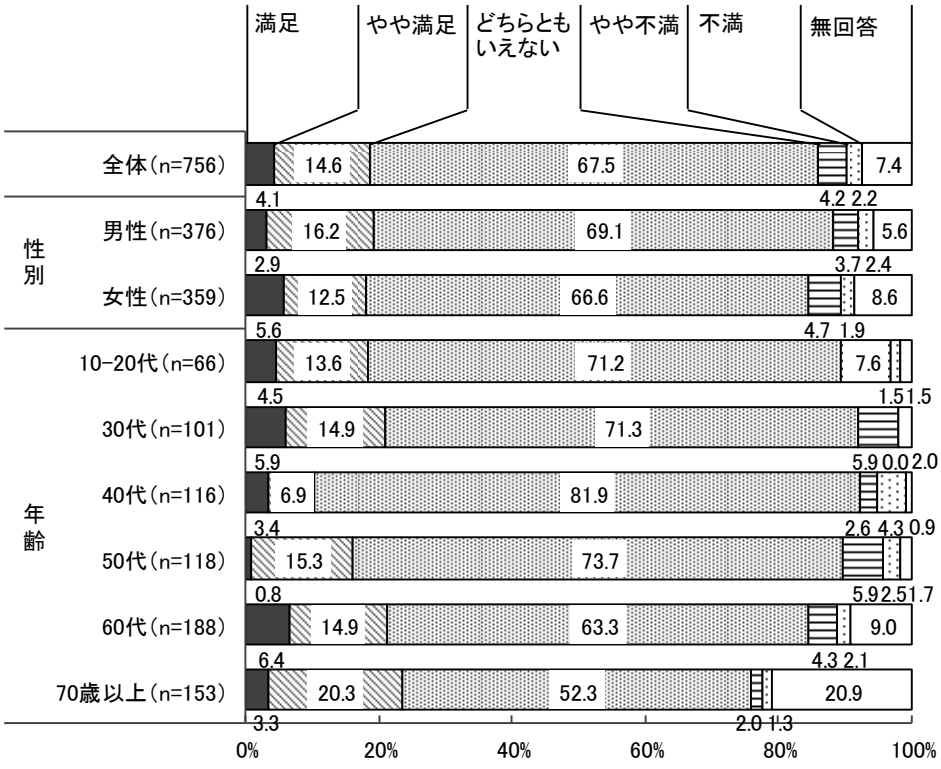
～「どちらともいえない」が６割以上、
『満足している』は１割台、『不満である』は１割以下～

住民参画について全体をみると、「満足」（4.1%）と「やや満足」（14.6%）を合計した『満足している』は 18.7%となっており、「不満」（2.2%）と「やや不満」（4.2%）を合計した『不満である』の 6.4%を 12.3 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 67.5%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 19.1%、女性は 18.1%と、差がありません。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 23.6%と最も高く、最も低い 40 代（10.3%）を 13.3 ポイント上回っており、すべての年代で『満足している』が『不満である』を上回っています。また、「どちらともいえない」が 60 代と 70 歳以上を除いて７割を超えています。

図表　住民参画について（全体、性別、年齢）



（５）地域活動やボランティア活動への参加意向

問 34　住民参画についておたずねします。

②地域活動やボランティア活動に、あなたは今後参加したいと思いますか。

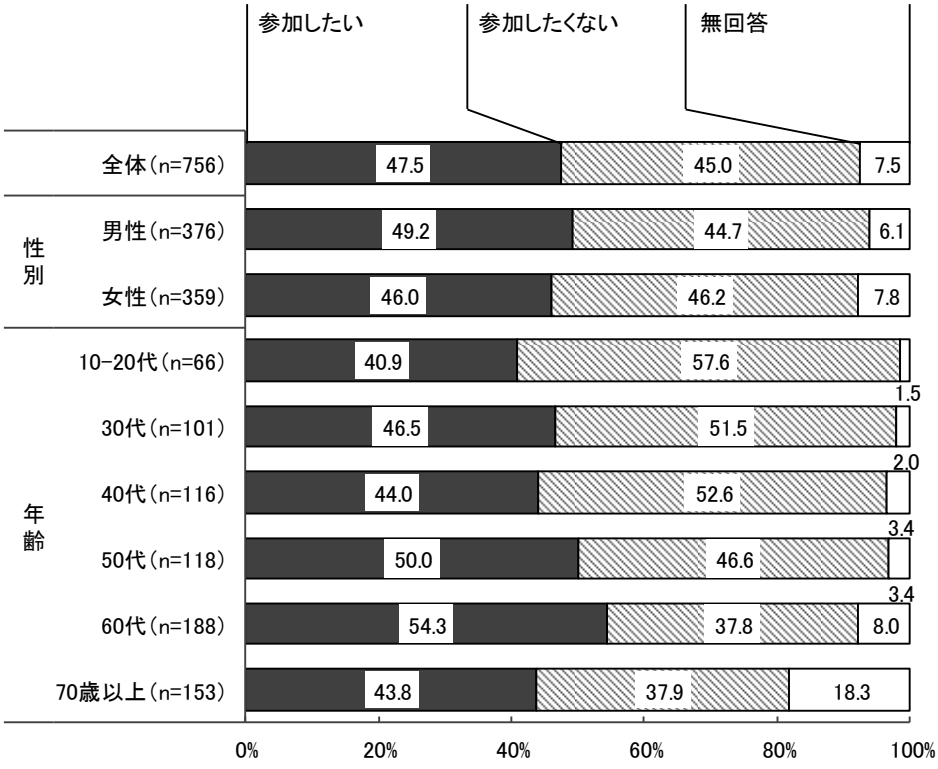
～「参加したい」が「参加したくない」を上回っているものの、ともに４割台～

地域活動やボランティア活動への参加意向について全体をみると、「参加したい」が 47.5%、「参加したくない」は 45.0%となっており、「参加したい」が「参加したくない」を 2.5 ポイント上回っています。

性別でみると、「参加したい」は男性が 49.2%、女性は 46.0%で、男性が女性を 3.2 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「参加したい」は 60 代が 54.3%と最も高く、次いで 50 代が 50.0%と５割以上となっており、逆に 10-20 代が 40.9%と最も低くなっています。また、50 代以上で「参加したい」が「参加したくない」を上回っています。

図表　地域活動やボランティア活動への参加意向（全体、性別、年齢）



13　行財政について

（１）行財政改革に関する進捗状況について

問 35　行財政の運営についておたずねします。

①あなたは、町の行財政改革に関する進捗状況（組織機構の見直し、職員定数・給与の適正管理、事務事業の効率化、行政サービスの向上など）について満足していますか。

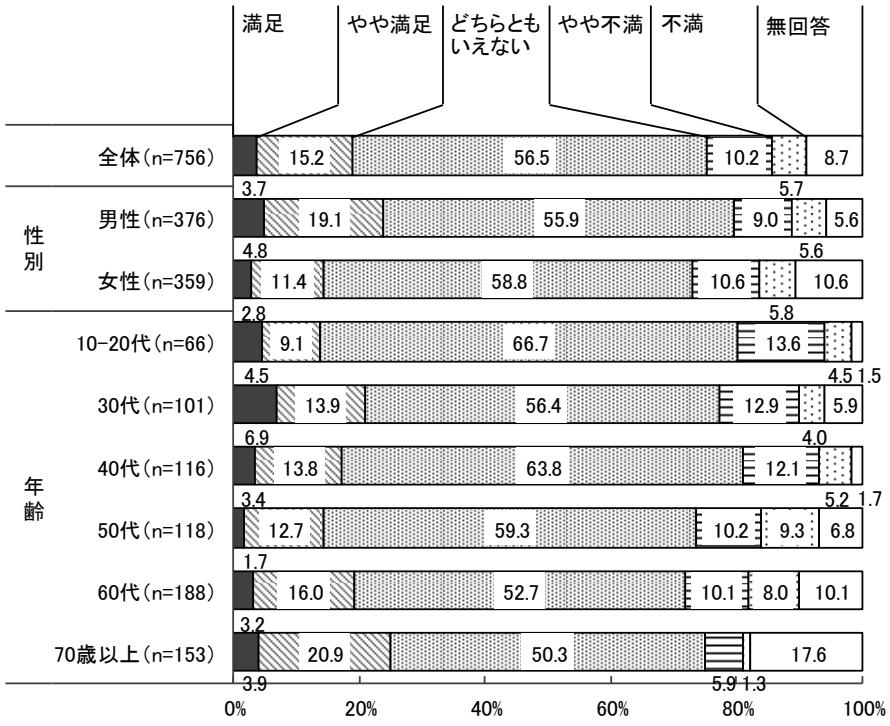
～「どちらともいえない」が５割以上、
「満足している」と「不満である」はともに１割台～

行財政改革に関する進捗状況について全体をみると、「満足」（3.7%）と「やや満足」（15.2%）を合計した『満足している』は 18.9%となっており、「不満」（5.7%）と「やや不満」（10.2%）を合計した『不満である』の 15.9%を 3.0 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」が 56.5%と高くなっています。

性別でみると、『満足している』は男性が 23.9%、女性は 14.2%と、男性が女性を 9.7 ポイント上回っています。

年齢別でみると、『満足している』は 70 歳以上が 24.8%と最も高く、最も低い 10-20 代（13.6%）を 11.2 ポイント上回っています。また、「どちらともいえない」がすべての年代で５割を超えています。

図表　行財政改革に関する進捗状況について（全体、性別、年齢）



（２）今後の行財政改革で重点を置くべき項目

問 35　行財政の運営についておたずねします。

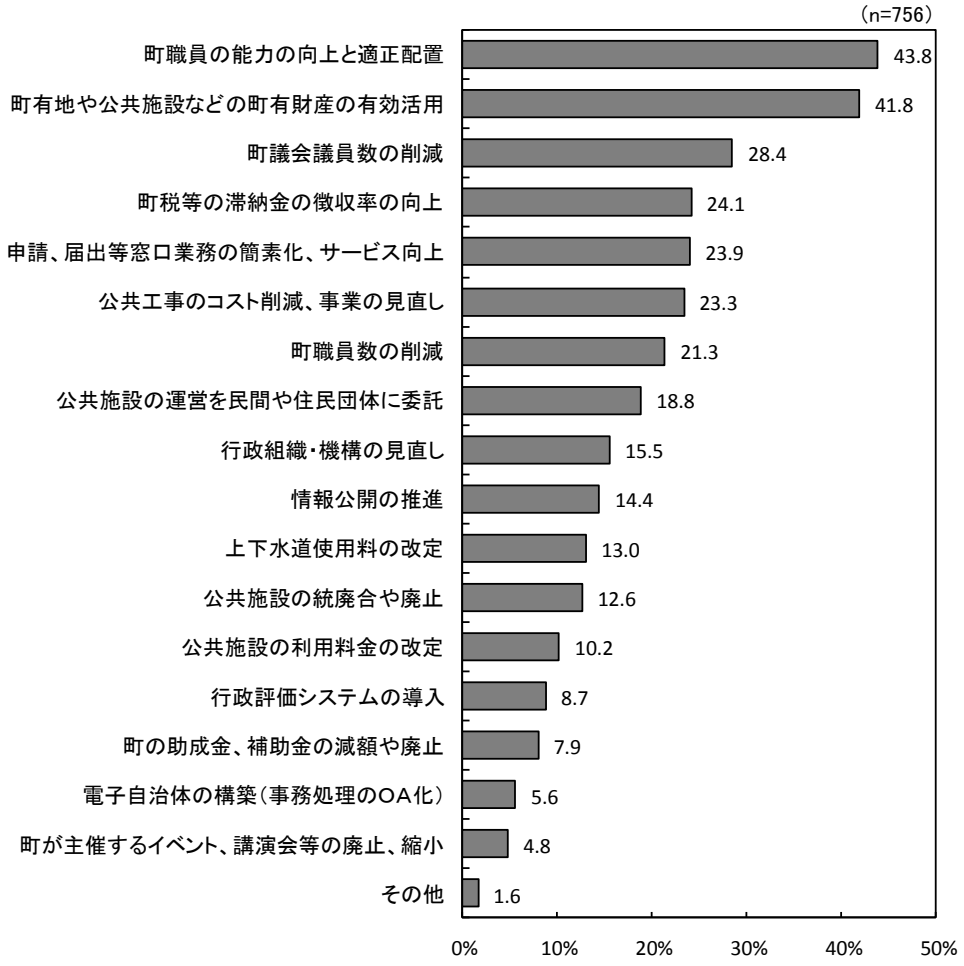
②あなたは、今後の行財政改革で重点を置くべき項目は何だと思いますか。【複数回答】

～「町職員の能力の向上と適正配置」と、
それに次ぐ「町有地や公共施設などの町有財産の有効活用」が４割以上～

今後の行財政改革で重点をおくべき項目についてみると、「町職員の能力の向上と適正配置」が 43.8%で最も高く、次いで「町有地や公共施設などの町有財産の有効活用」が 41.8%となっており、これらに次ぐ「町議会議員数の削減」（28.4%）よりも 10 ポイント以上上回っています。さらに、「町税等の滞納金の徴収率の向上」（24.1%）、「申請、届出等窓口業務の簡素化、サービス向上」（23.9%）、「公共工事のコスト削減、事業の見直し」（23.3%）、「町職員数の削減」（21.3%）が２割を超えています。

逆に、「町が主催するイベント、講演会等の廃止、縮小」（4.8%）、「電子自治体の構築（事務処理のＯＡ化）」（5.6%）、「町の助成金、補助金の減額や廃止」（7.9%）、「行政評価システムの導入」（8.7%）は１割以下と低くなっています。

図表　今後の行財政改革で重点を置くべき項目（全体／複数回答）



14　生活環境や行政サービスの満足度について

（１）満足度について

～評価の最も高い項目は「水道の整備状況」、
次いで「自然環境の豊かさ」、「消防・防災体制」～
～評価の最も低い項目は「医療体制」、
次いで「商業環境」、「公共交通機関の利便性」～

別海町の各環境に対する住民の満足度について、満足度をたずねた 34 の設問結果の傾向を、『満足している』（「満足」及び「やや満足」の合計）、「どちらともいえない」、『不満である』（「やや不満」及び「不満」の合計）の３区分にまとめ、その比率でみていくと、19 の項目で「どちらともいえない」という回答が多数を占めており、『不満である』の比率が高い項目としては、「医療体制」（46.7%）、「商業環境」（41.7%）の２項目となっています。

さらに、加重平均値［後述参照］による評価点（満足度：最高点 10 点、最低点-10 点）と偏差値化による分析を行いました。

この結果、評価点の高い項目は、「水道の整備状況」（4.96 点）が最も高く、次いで「自然環境の豊かさ」（4.30 点）、「消防・防災体制」（3.82 点）となっています。一方で、評価点の低い方からみると、「医療体制」（-1.82 点）が最も低く、次いで「商業環境」（-1.75 点）、「公共交通機関の利便性」（-1.45 点）、「雇用・就労対策に関する取組み」（-0.99 点）、「地場産業の振興や企業誘致」（-0.48 点）、「観光の振興に関する取組み」（-0.33 点）となっています。

この評価点をもとに、町の特性と改善すべき点を相対的に明確にするため、偏差値化を行い、評価の高い項目と低い項目をまとめると以下の通りとなり、「水道の整備状況」、「自然環境の豊かさ」、「消防・防災体制」、「下水道等の整備状況」、「広報・広聴活動」などの評価が高くなっています。一方、「医療体制」、「商業環境」、「公共交通機関の利便性」、「雇用・就労対策に関する取組み」、「地場産業の振興や企業誘致」、「観光の振興に関する取組み」などの評価が低い結果となっています。

また、居住地別に満足度の上位項目と下位項目をみていくと、以下のとおりにまとめられ、その特徴をみるとほとんどの居住地で「水道の整備状況」の評価点が最も高くなっています。

■上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原

満足度の上位３項目は「水道の整備状況」（5.16 点）、「自然環境の豊かさ」（4.76 点）、「広報・広聴活動」（3.08 点）となっています。一方、下位３項目は「情報通信網の整備状況」（-2.25 点）、「医療体制」（-1.95 点）、「公共交通機関の利便性」（-1.68 点）、となっています。

設定した 34 項目のうちプラス評価の項目は 27 項目、マイナス評価の項目は７項目となっています。

■西春別・西春別駅前・泉川

満足度の上位３項目は「消防・防災体制」（4.47 点）、「水道の整備状況」（4.41 点）、「自然環境の豊かさ」（3.67 点）となっています。一方、下位３項目は「商業環境」（-2.23 点）、「公共交通機関の利便性」（-1.36 点）、「雇用・就労対策に関する取組み」（-0.89 点）となっています。

設定した 34 項目のうちプラス評価の項目は 28 項目、マイナス評価の項目は６項目となっています。

■奥行・上風連・矢臼別・中西別

満足度の上位３項目は「水道の整備状況」（6.10 点）、「自然環境の豊かさ」（4.76 点）、「消防・防災体制」（4.00 点）となっています。一方、下位３項目は「公共交通機関の利便性」（-2.56 点） 、「医療体制」（-2.25 点）、「商業環境」（-1.67 点）となっています。

設定した 34 項目のうちプラス評価の項目は 25 項目、マイナス評価の項目は９項目となっています。

■尾岱沼・走古丹・本別海・床丹

満足度の上位３項目は「水道の整備状況」（5.14 点）、「消防・防災体制」（4.12 点）、「自然環境の豊かさ」 （3.73 点）となっています。一方、下位３項目は「商業環境」（-1.44 点）、「雇用・就労対策に関する取組み」（-1.23 点）、「医療体制」（-1.12 点）となっています。

設定した 34 項目のうちプラス評価の項目は 27 項目、マイナス評価の項目は７項目となっています。

■別海

満足度の上位３項目は「水道の整備状況」（4.92 点）、「自然環境の豊かさ」（4.46 点）、「下水道等の整備状況」（3.88 点）となっています。一方、下位３項目は「医療体制」（-2.39 点）、「商業環境」（-1.95 点）、「公共交通機関の利便性」（-1.45 点）となっています。

設定した 34 項目のうちプラス評価の項目は 28 項目、マイナス評価の項目は６項目となっています。

図表　町の満足度評価について（全体／一覧）

評価の高い項目	評価の低い項目
水道の整備状況	障がい者施策
自然環境の豊かさ	市街地の整備状況
消防・防災体制	道路整備状況
下水道等の整備状況	住民参画
広報・広聴活動	国内外との交流活動
防犯・交通安全体制	バリアフリー化
保健サービス	情報通信網の整備状況
ごみ処理・リサイクル状況	高齢者施策
学校教育環境	人権教育・啓発
公園・緑地の整備状況	男女共同参画の推進
公営住宅の整備状況	行財政改革に関する進捗状況
水産業の振興に関する取組み	観光の振興に関する取組み
スポーツ活動	地場産業の振興や企業誘致
農林業の振興に関する取組み	雇用・就労対策に関する取組み
街並み景観	公共交通機関の利便性
子育て環境	商業環境
生涯学習・文化活動	医療体制

※評価点（加重平均値）の算出方法
５段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left(\begin{array}{l}\text{「満足」の回答者数}\times 10\text{ 点} \\ \quad + \\ \text{「やや満足」の回答者数}\times 5\text{ 点} \\ \quad + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数}\times 0\text{ 点} \\ \quad + \\ \text{「やや不満」の回答者数}\times -5\text{ 点} \\ \quad + \\ \text{「不満」の回答者数}\times -10\text{ 点}\end{array}\right)}{\left(\text{「満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の回答者数}\right)}$$

この方法により算出した評価点をもとに偏差値化して分析を行っている。

図表　町の満足度評価について（全体／%）

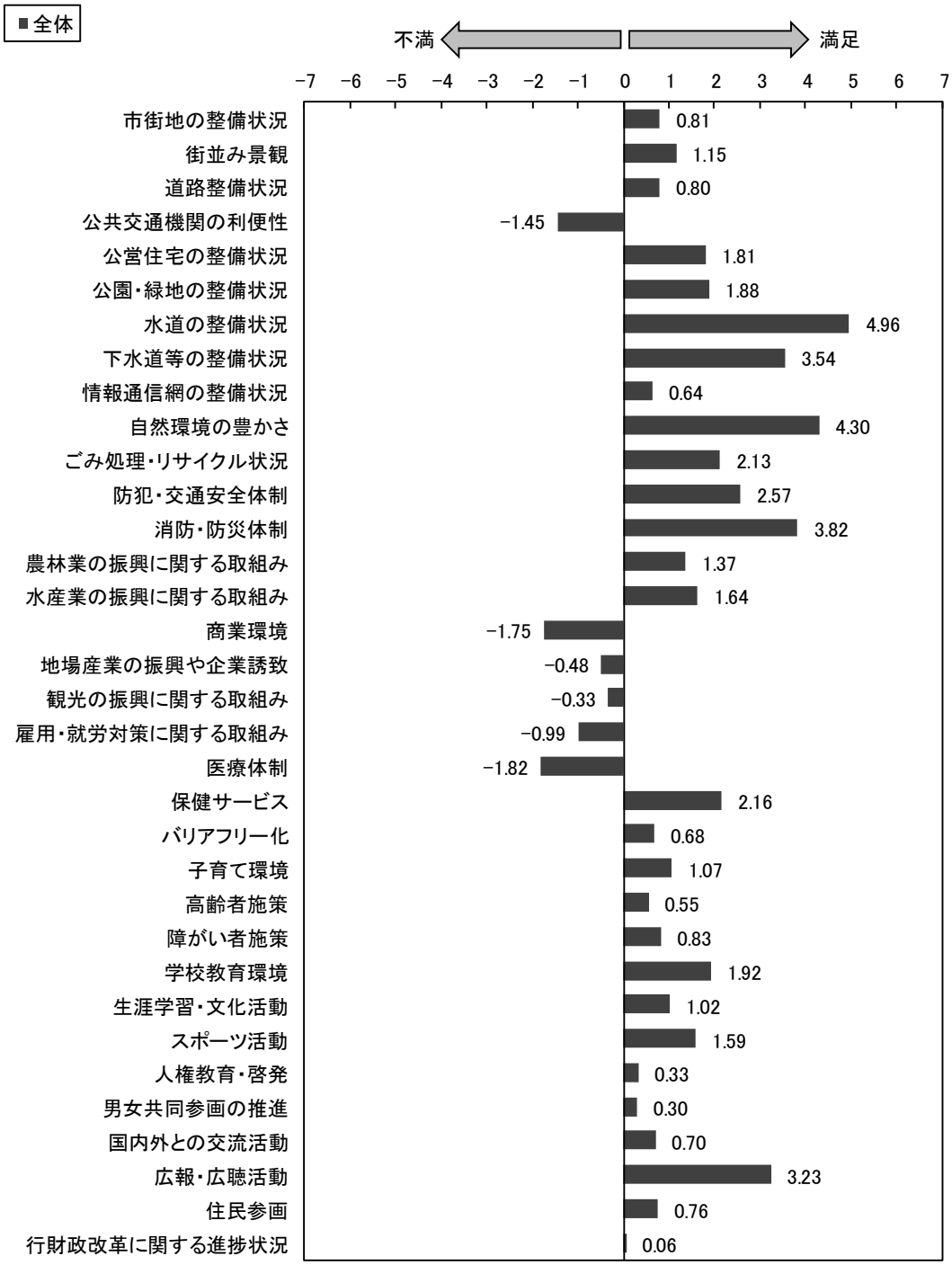
	『満足している』	どちらとも いえない	『不満である』
(1) 市街地の整備状況	37.9	36.2	24.0
(2) 街並み景観	40.1	34.7	23.4
(3) 道路整備状況	44.2	24.2	④30.5
(4) 公共交通機関の利便性	18.4	41.7	③38.0
(5) 公営住宅の整備状況	38.6	49.3	9.6
(6) 公園・緑地の整備状況	44.4	37.4	16.1
(7) 水道の整備状況	①70.8	21.3	7.1
(8) 下水道等の整備状況	④57.2	30.7	9.2
(9) 情報通信網の整備状況	36.1	35.8	23.8
(10) 自然環境の豊かさ	②65.9	24.2	7.6
(11) ごみ処理・リサイクル状況	50.6	28.0	19.5
(12) 防犯・交通安全体制	49.6	38.6	9.4
(13) 消防・防災体制	③57.6	35.7	4.0
(14) 農林業の振興に関する取組み	31.5	54.0	9.5
(15) 水産業の振興に関する取組み	28.9	57.8	6.0
(16) 商業環境	17.8	35.7	②41.7
(17) 地場産業の振興や企業誘致	12.3	63.2	17.8
(18) 観光の振興に関する取組み	22.0	49.2	⑤24.5
(19) 雇用・就労対策に関する取組み	11.0	60.4	23.7
(20) 医療体制	24.9	27.0	①46.7
(21) 保健サービス	45.1	40.9	11.7
(22) バリアフリー化	27.5	53.7	15.9
(23) 子育て環境	29.5	51.3	12.0
(24) 高齢者施策	25.3	54.5	15.3
(25) 障がい者施策	21.4	63.2	9.0
(26) 学校教育環境	37.7	45.0	9.6
(27) 生涯学習・文化活動	25.2	59.4	9.5
(28) スポーツ活動	35.3	48.8	9.5
(29) 人権教育・啓発	12.4	74.7	7.0
(30) 男女共同参画の推進	13.4	72.1	8.5
(31) 国内外との交流活動	19.1	65.3	7.5
(32) 広報・広聴活動	⑤55.9	31.7	8.0
(33) 住民参画	18.7	67.5	6.4
(34) 行財政改革に関する進捗状況	18.9	56.5	15.9

図表　まちの各環境に関する満足度について（全体、居住地別／満足度）

（単位：評価点）

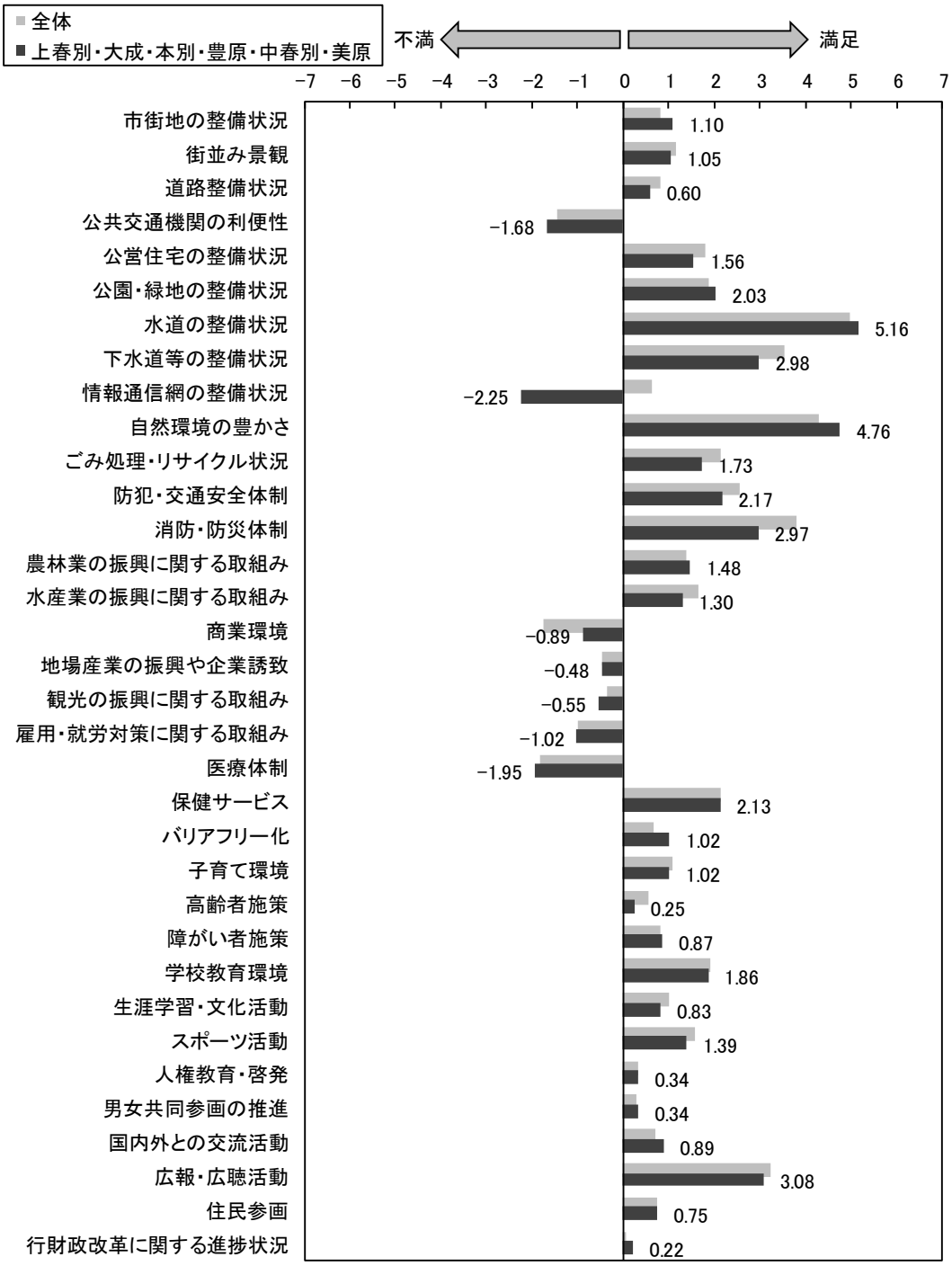
満足度／項目	全体	居住地別				
		上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原	西春別・西春別駅前・泉川	奥行・上風連・矢臼別・中西別	尾岱沼・走古丹・本別海・床丹	別海
(1) 市街地の整備状況	0.81	1.10	1.05	1.19	0.74	0.61
(2) 街並み景観	1.15	1.05	1.01	2.25	1.69	1.06
(3) 道路整備状況	0.80	0.60	0.49	0.49	−0.87	1.38
(4) 公共交通機関の利便性	−1.45	−1.68	−1.36	−2.56	−0.97	−1.45
(5) 公営住宅の整備状況	1.81	1.56	1.83	2.13	1.79	1.88
(6) 公園・緑地の整備状況	1.88	2.03	1.68	3.54	1.18	1.80
(7) 水道の整備状況	4.96	5.16	4.41	6.10	5.14	4.92
(8) 下水道等の整備状況	3.54	2.98	3.38	3.25	3.60	3.88
(9) 情報通信網の整備状況	0.64	−2.25	0.62	−0.39	1.18	1.67
(10) 自然環境の豊かさ	4.30	4.76	3.67	4.76	3.73	4.46
(11) ごみ処理・リサイクル状況	2.13	1.73	1.91	2.14	2.84	2.17
(12) 防犯・交通安全体制	2.57	2.17	3.37	2.44	2.79	2.36
(13) 消防・防災体制	3.82	2.97	4.47	4.00	4.12	3.80
(14) 農林業の振興に関する取組み	1.37	1.48	1.29	1.38	0.63	1.48
(15) 水産業の振興に関する取組み	1.64	1.30	1.47	1.25	1.72	1.84
(16) 商業環境	−1.75	−0.89	−2.23	−1.67	−1.44	−1.95
(17) 地場産業の振興や企業誘致	−0.48	−0.48	−0.11	−0.39	−0.32	−0.67
(18) 観光の振興に関する取組み	−0.33	−0.55	−0.07	−0.13	0.08	−0.51
(19) 雇用・就労対策に関する取組み	−0.99	−1.02	−0.89	−0.54	−1.23	−1.08
(20) 医療体制	−1.82	−1.95	−0.62	−2.25	−1.12	−2.39
(21) 保健サービス	2.16	2.13	1.62	2.68	3.21	2.10
(22) バリアフリー化	0.68	1.02	1.13	1.28	0.83	0.33
(23) 子育て環境	1.07	1.02	1.07	1.00	0.94	1.09
(24) 高齢者施策	0.55	0.25	0.79	−0.38	0.85	0.61
(25) 障がい者施策	0.83	0.87	1.16	1.11	0.40	0.72
(26) 学校教育環境	1.92	1.86	2.45	1.62	1.64	1.78
(27) 生涯学習・文化活動	1.02	0.83	1.38	0.90	0.71	1.00
(28) スポーツ活動	1.59	1.39	1.68	1.81	1.03	1.74
(29) 人権教育・啓発	0.33	0.34	0.58	0.41	0.31	0.23
(30) 男女共同参画の推進	0.30	0.34	0.62	−0.79	0.77	0.25
(31) 国内外との交流活動	0.70	0.89	1.08	0.74	0.25	0.64
(32) 広報・広聴活動	3.23	3.08	3.07	3.51	3.20	3.34
(33) 住民参画	0.76	0.75	1.31	0.14	0.49	0.68
(34) 行財政改革に関する進捗状況	0.06	0.22	0.04	0.44	−0.16	0.03

図表　町の満足度評価について（全体／評価点）

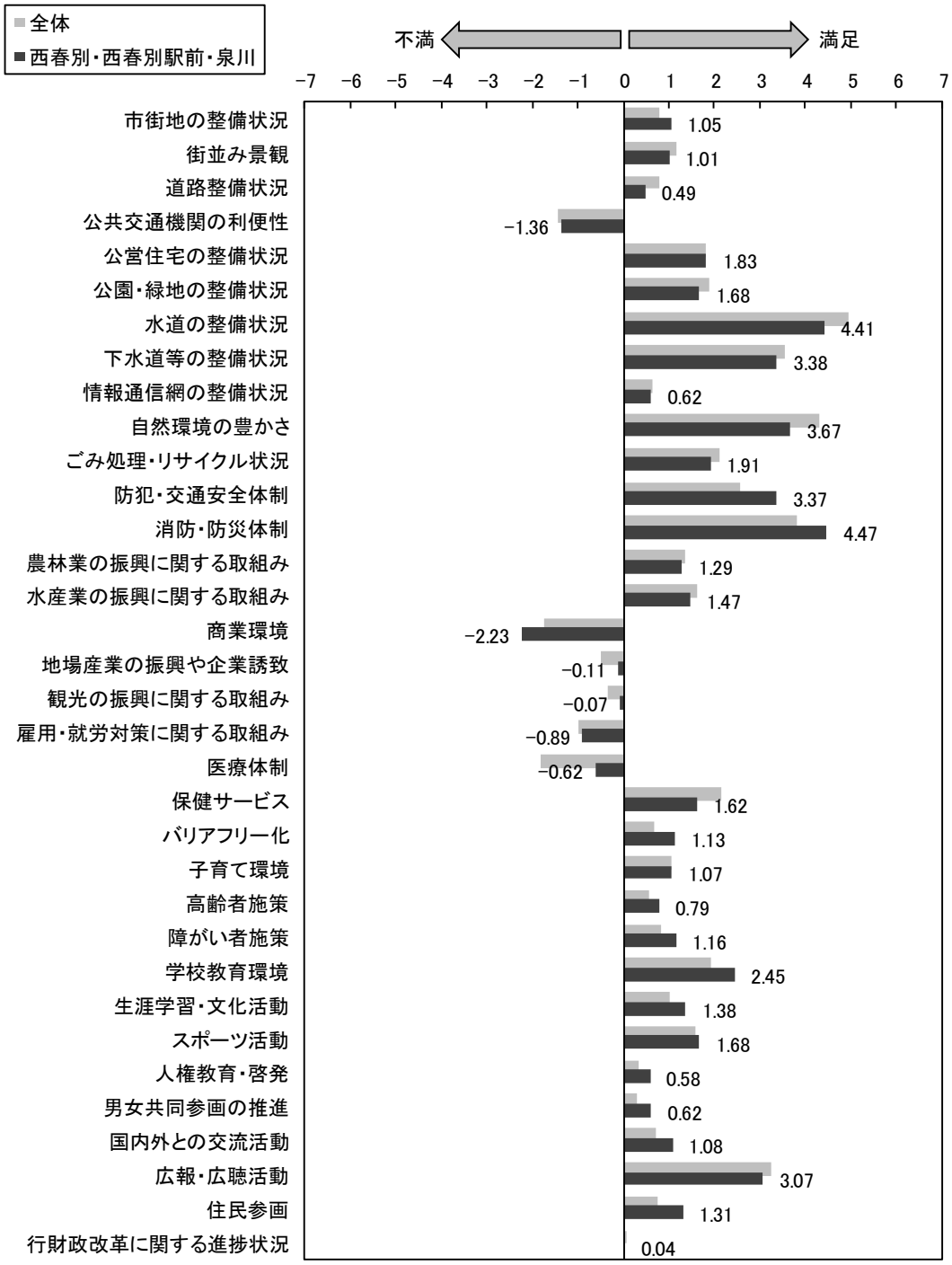


図表　町の満足度評価　（居住地別／評価点）

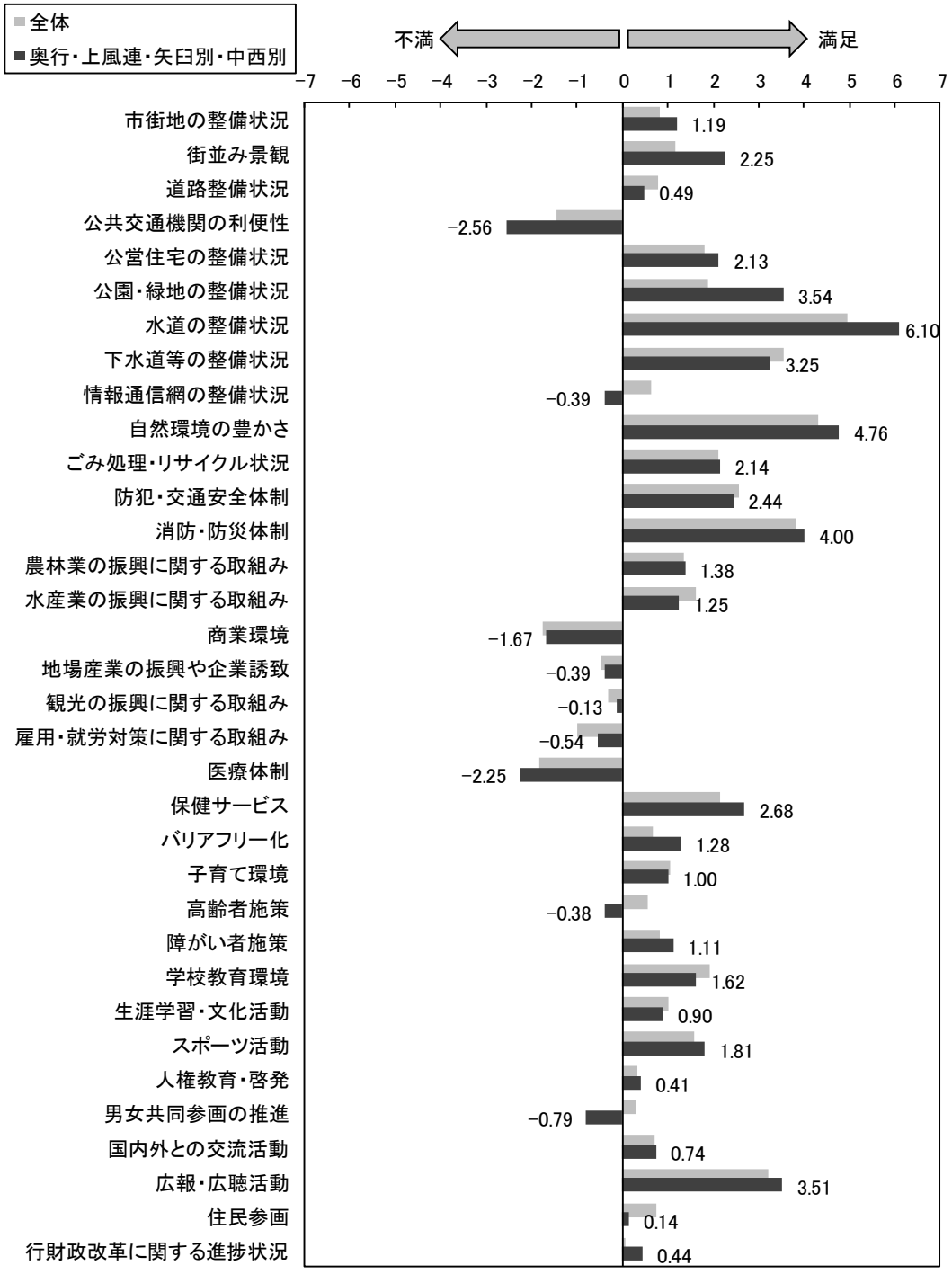
居住地別：上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原



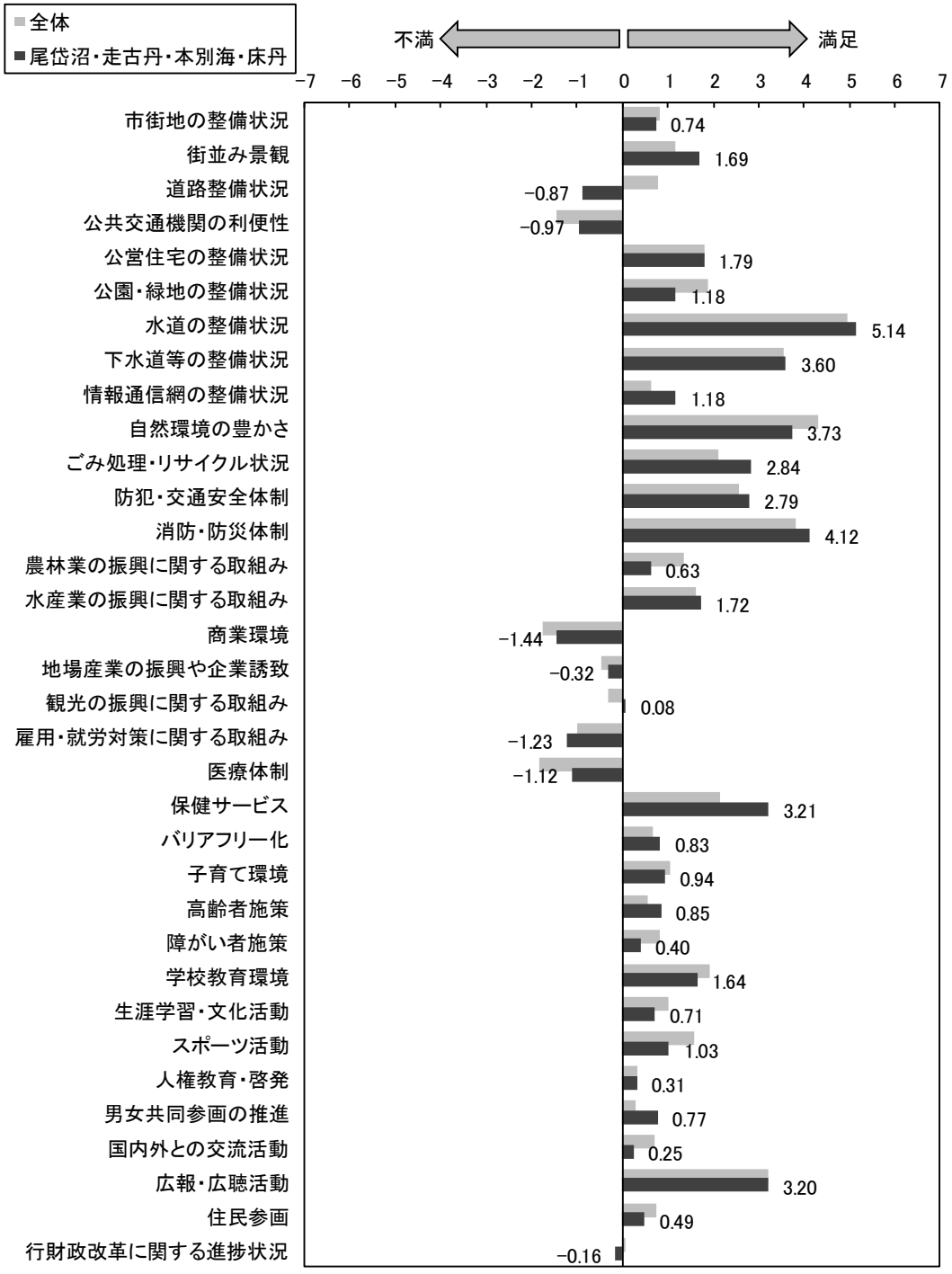
居住地別：西春別・西春別駅前・泉川



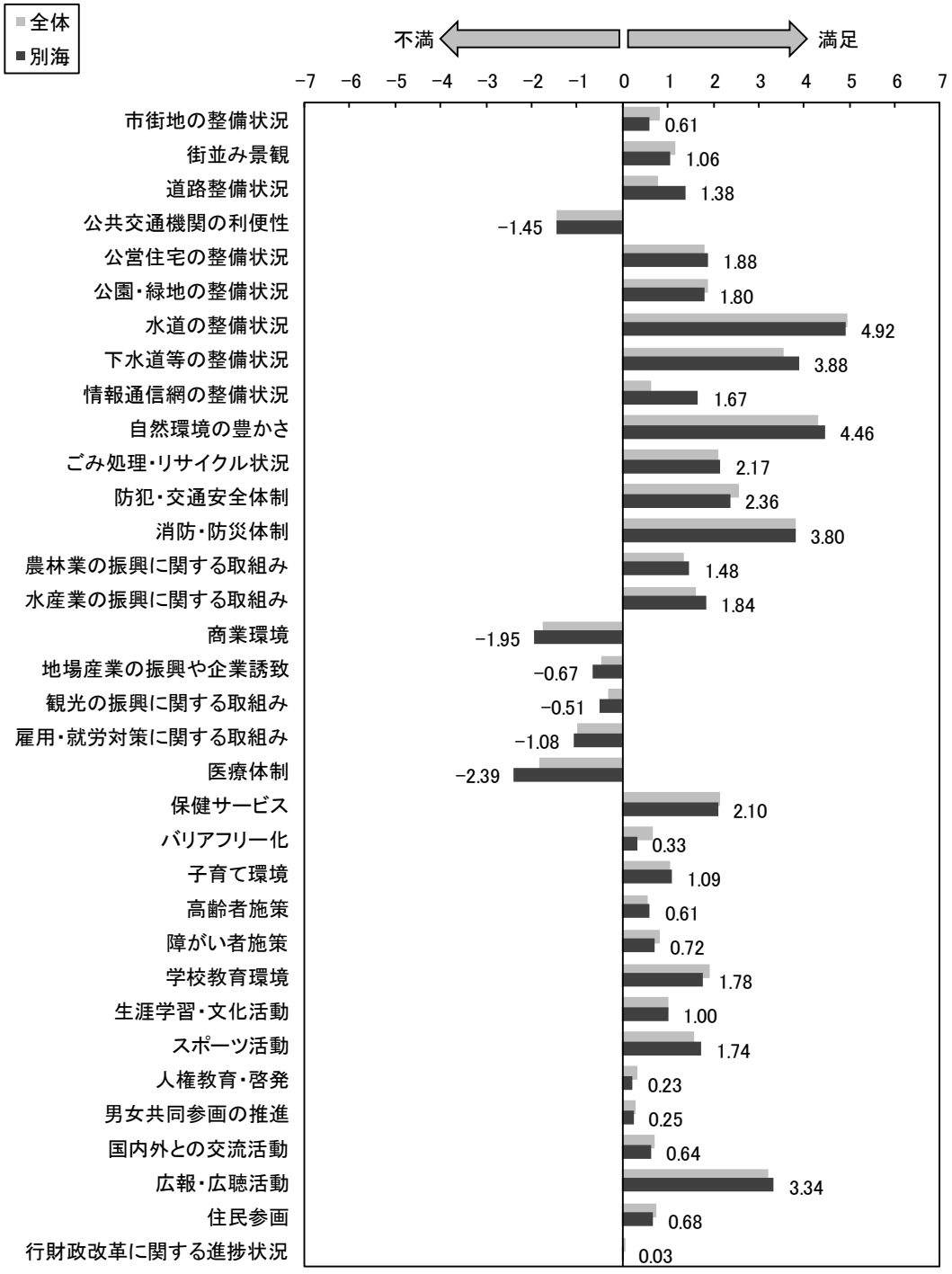
居住地別：奥行・上風連・矢臼別・中西別



居住地別：尾岱沼・走古丹・本別海・床丹



居住地別：別海


全体
別海
不満
満足
−7 −6 −5 −4 −3 −2 −1 0 1 2 3 4 5 6 7
市街地の整備状況 0.61
街並み景観 1.06
道路整備状況 1.38
公共交通機関の利便性 −1.45
公営住宅の整備状況 1.88
公園・緑地の整備状況 1.80
水道の整備状況 4.92
下水道等の整備状況 3.88
情報通信網の整備状況 1.67
自然環境の豊かさ 4.46
ごみ処理・リサイクル状況 2.17
防犯・交通安全体制 2.36
消防・防災体制 3.80
農林業の振興に関する取組み 1.48
水産業の振興に関する取組み 1.84
商業環境 −1.95
地場産業の振興や企業誘致 −0.67
観光の振興に関する取組み −0.51
雇用・就労対策に関する取組み −1.08
医療体制 −2.39
保健サービス 2.10
バリアフリー化 0.33
子育て環境 1.09
高齢者施策 0.61
障がい者施策 0.72
学校教育環境 1.78
生涯学習・文化活動 1.00
スポーツ活動 1.74
人権教育・啓発 0.23
男女共同参画の推進 0.25
国内外との交流活動 0.64
広報・広聴活動 3.34
住民参画 0.68
行財政改革に関する進捗状況 0.03

15　幸福度について

（１）幸せの程度について

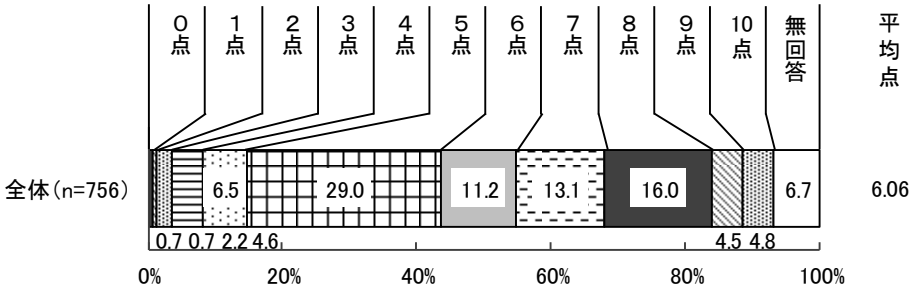
問 36　あなたの幸福度についておたずねします。

①あなたは、現在どの程度幸せだと感じていますか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点とすると、何点ぐらいになると思いますか。

～「５点」から「７点」で５割以上、平均は 6.06 点～

幸せの程度について全体をみると、「５点」が 29.0%で最も高く、次いで「８点」（16.0%）、「７点」（13.1%）、「６点」（11.2%）となっており、「５点」から「７点」までで５割以上を占めています。また、平均点は、6.06 点となっています。

図表　幸せの程度について（全体）

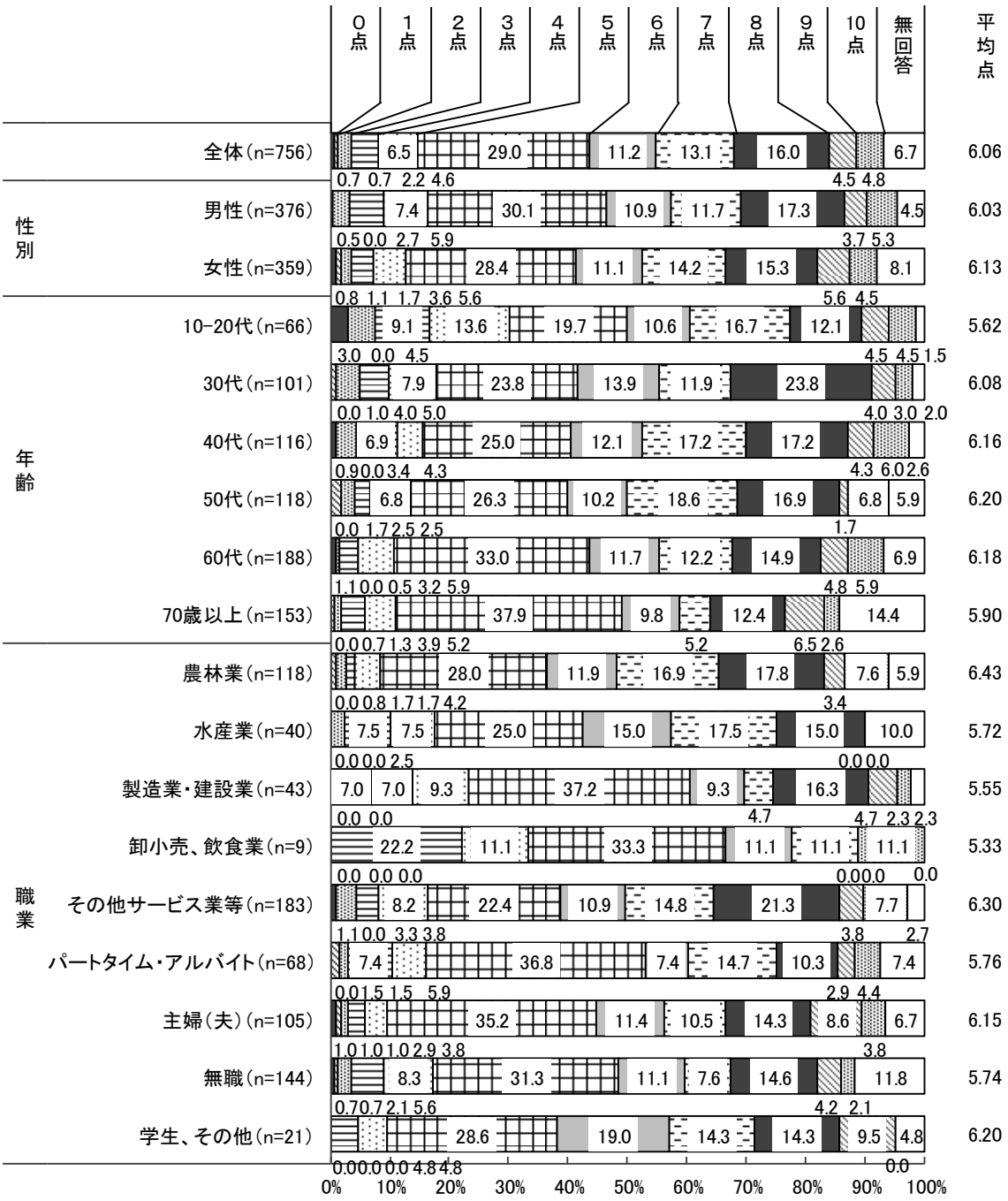


幸せの程度について性別をみると、「４点」以下は男性が 16.5%、女性は 12.8%で男性が女性を 3.7 ポイント上回っています。このため、平均点も女性が 0.10 点上回っています。

年齢でみると、おおむね年代が上がるにつれて、「４点」以下の割合が減少する傾向がみられます。最も高い 10-20 代（30.2%）と最も低い 60 代（10.7%）とでは 19.5 ポイントの差があります。また、平均点は 50 代が 6.20 点で最も高く、10-20 代と 70 歳以上を除いて全体の平均点（6.06 点）を上回っています。

職業でみると、「４点」以下は、卸小売、飲食業が 33.3%で最も高く、次いで製造業・建設業が 23.3%となっており、逆に最も低いのは農林業（8.4%）となっています。また、平均点は農林業が 6.43 点で最も高く、全体の平均点を上回っているのは、ほかにその他サービス業等（6.30 点）、学生、その他（6.20 点）、主婦（夫）（6.15 点）となっています。

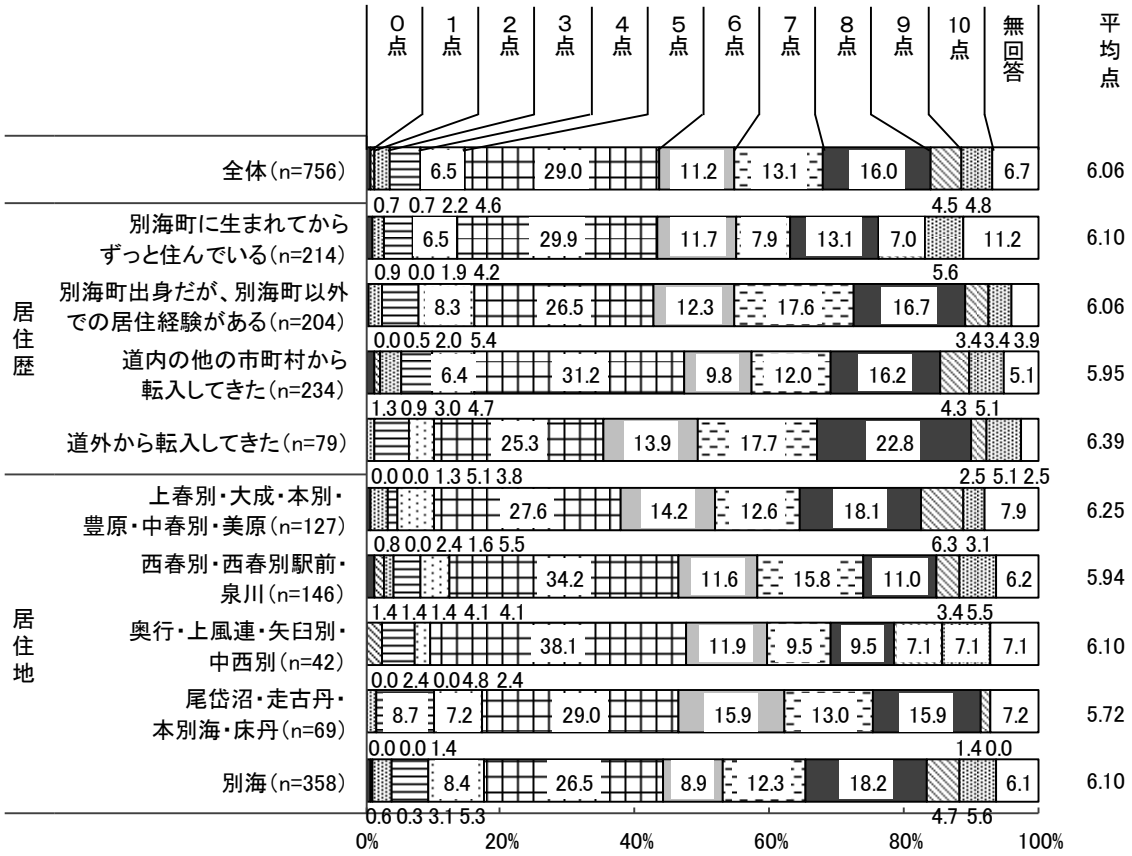
図表　幸せの程度について（全体、性別、年齢、職業）



幸せの程度について居住歴をみると、「４点」以下は「道内の他の市町村から転入してきた」が 16.3%で最も高く、最も低い「道外から転入してきた」（10.2%）よりも 6.1 ポイントの差があります。また、平均点は「道外から転入してきた」が 6.39 点で最も高く、最も低い「道内の他の市町村から転入してきた」（5.95 点）以外は全体の平均点を上回っています。

居住地でみると、「４点」以下は「別海」が 17.7%で最も高く、「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」も 17.3%で同程度となっていますが、「８点」以上では「別海」が 28.5%と最も高いのに対して、「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」は 17.3%で最も低くなっています。また、平均点は「上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原」が 6.25 点で最も高く、次いで「別海」と「奥行・上風連・矢臼別・中西別」が 6.10 点で全体の平均点を上回っています。

図表　幸せの程度について（全体、居住歴、居住地）



（２）幸せの判断基準について

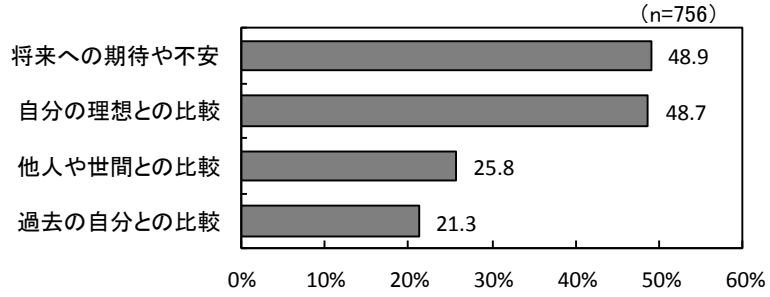
問 36　あなたの幸福度についておたずねします。

②あなたが幸せだと判断する際に、重視する基準はどれですか。【複数回答】

～「将来への期待や不安」と「自分の理想との比較」が４割以上～

幸せの判断基準についてみると、「将来への期待や不安」が 48.9%で最も高く、次いで「自分の理想との比較」が 48.7%とほぼ同程度であり、これらに次ぐ「他人や世間との比較」（25.8%）、「過去の自分との比較」（21.3%）はいずれも２割台であり、差が大きくなっています。

図表　幸せの判断基準について（全体／複数回答）



（３）幸せの判断で重視することについて

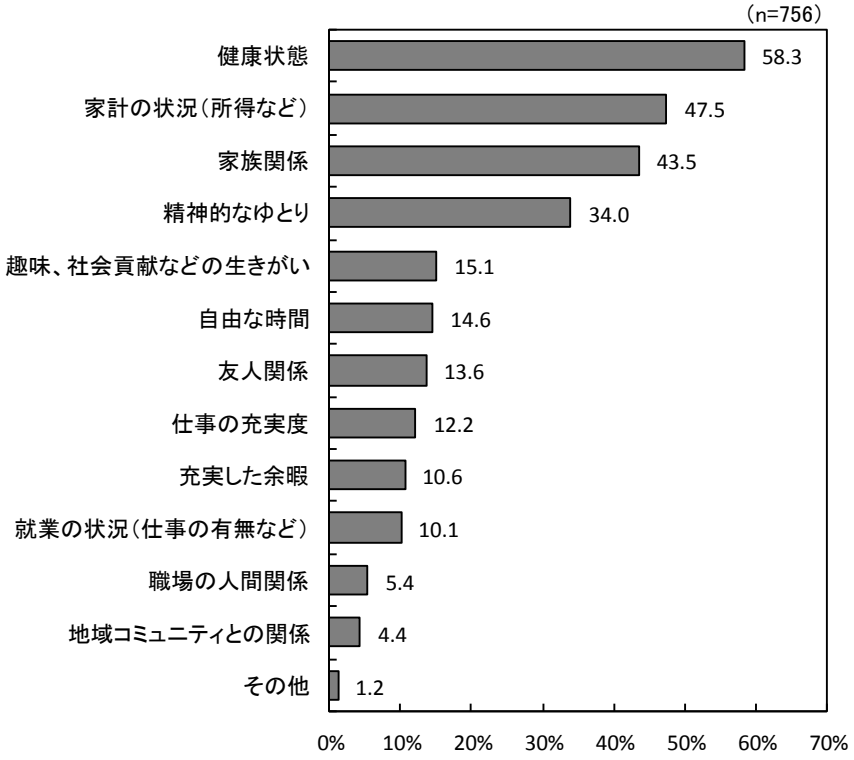
問 36　あなたの幸福度についておたずねします。

③あなたが幸せだと判断する際に、重視することはどれですか。

～「健康状態」が５割以上、「家計の状況（所得など）」と「家族関係」が４割台～

幸せの判断で重視することについてみると、「健康状態」が 58.3%で最も高く、次いで「家計の状況（所得など）」が 47.5%、「家族関係」が 43.5%、「精神的なゆとり」が 34.0%となっており、これらに次ぐ「趣味、社会貢献などの生きがい」（15.1%）とは差が大きくなっています。また、「地域コミュニティとの関係」（4.4%）と「職場の人間関係」（5.4%）は１割以下で低くなっています。

図表　幸せの判断で重視することについて（全体／複数回答）



幸せの判断で重視することについて性別でみると、男性、女性ともに「健康状態」が第１位となっていますが、女性（63.0%）が男性（54.8%）を8.2%上回っています。また、第２位と第３位も逆になっており、男性の第２位が「家計の状況（所得など）」（50.8%）、第３位が「家族関係」（40.2%）であるのに対して、女性は第２位が「家族関係」（46.2%）、第３位が「家計の状況（所得など）」（46.0%）となっています。

年齢でみると、第１位は 10-20 代から 40 代までは「家計の状況（所得など）」ですが、50 代以上は「健康状態」となっており、10-20 代から 60 代にかけて年代が上がるにつれて割合も高くなっています。また、「健康状態」のほか、「家計の状況（所得など）」、「家族関係」、「精神的なゆとり」がいずれの年代でも第５位までに入っています。

図表　幸せの判断で重視することについて（全体、性別、年齢／複数回答）

上位５位；単位：（%）

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体		健康状態 58.3	家計の状況（所得など） 47.5	家族関係 43.5	精神的なゆとり 34.0	趣味、社会貢献などの生きがい 15.1
性別	男性	健康状態 54.8	家計の状況（所得など） 50.8	家族関係 40.2	精神的なゆとり 34.6	趣味、社会貢献などの生きがい 17.0
	女性	健康状態 63.0	家族関係 46.2	家計の状況（所得など） 46.0	精神的なゆとり 34.0	友人関係 14.2
年齢	10-20 代	家計の状況（所得など） 47.0	精神的なゆとり 36.4	健康状態 27.3	自由な時間 27.3	家族関係 27.3
	30 代	家計の状況（所得など） 60.4	家族関係 54.5	健康状態 39.6	精神的なゆとり 36.6	自由な時間 15.8
	40 代	家計の状況（所得など） 62.1	健康状態 52.6	家族関係 47.4	精神的なゆとり 43.1	仕事の充実度 16.4
	50 代	健康状態 61.9	家族関係 45.8	家計の状況（所得など） 44.9	精神的なゆとり 36.4	仕事の充実度 21.2
	60 代	健康状態 74.5	家計の状況（所得など） 48.4	家族関係 39.9	精神的なゆとり 27.7	趣味、社会貢献などの生きがい 17.0
	70 歳以上	健康状態 66.7	家族関係 41.8	家計の状況（所得など） 32.0	精神的なゆとり 31.4	自由な時間 20.3

16　前回との比較について

（１）町の満足度評価の比較について

～「５点」から「７点」で５割以上、平均は 6.06 点～

別海町の各環境に対する住民の満足度について、加重平均値による評価点を使い、平成 20 年に行った前回調査と今回の調査結果との比較を行う。

全体の結果をみると、評価点が最も上昇したのは、「商業環境」（+1.81 点）で、次いで「行財政改革に関する進捗状況」（+1.32 点）、「雇用・就労対策に関する取組み」（+1.17 点）となっています。一方、評価点が最も低下したのは、「道路整備状況」（-1.56 点）で、次いで「医療体制」（-1.12 点）、「公共交通機関の利便性」（-1.04 点）となっています。

34 項目のうち、前回調査よりも評価点が上昇したのは 19 項目、評価点が低下したのは 15 項目となっています。

また、居住地別に満足度の上位項目と下位項目をみていくと、以下のとおりにまとめられ、その特徴をみるとほとんどの居住地で「行財政改革に関する進捗状況」の評価点が大きく上昇しています。

■上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原

評価点が最も上昇したのは、「商業環境」（+0.93 点）で、次いで「農林業の振興に関する取組み」（+0.78 点）、「行財政改革に関する進捗状況」（+0.74 点）となっています。一方、評価点が最も低下したのは、「情報通信網の整備状況」（-3.20 点）で、次いで「道路整備状況」（-2.18 点）、「医療体制」（-1.92 点）となっています。

34 項目のうち、前回調査よりも評価点が上昇したのは 10 項目、評価点が低下したのは 24 項目となっています。

■西春別・西春別駅前・泉川

評価点が最も上昇したのは、「防犯・交通安全体制」（+1.47 点）で、次いで「雇用・就労対策に関する取組み」（+1.12 点）、「行財政改革に関する進捗状況」（+0.97 点）となっています。一方、評価点が最も低下したのは、「道路整備状況」（-1.77 点）で、次いで「自然環境の豊かさ」（-1.10 点）、「スポーツ活動」（-0.89 点）となっています。

34 項目のうち、前回調査よりも評価点が上昇したのは 21 項目、評価点が低下したのは 13 項目となっています。

■奥行・上風連・矢臼別・中西別

評価点が最も上昇したのは、「下水道等の整備状況」（+2.12 点）で、次いで「行財政改革に関する進捗状況」（+1.88 点）、「自然環境の豊かさ」（+1.84 点）となっています。一方、評価点が最も低下したのは、「医療体制」（-2.31 点）で、次いで「公共交通機関の利便性」（-2.10 点）、「高齢者施策」（-1.78 点）となっています。

34 項目のうち、前回調査よりも評価点が上昇したのは 22 項目、評価点が低下したのは 12 項目となっています。

■尾岱沼・走古丹・本別海・床丹

評価点が最も上昇したのは、「商業環境」（+1.89 点）で、次いで「保健サービス」（+1.63 点）、「行財政改革に関する進捗状況」（+1.41 点）となっています。一方、評価点が最も低下したのは、「道路整備状況」（-2.60 点）で、次いで「スポーツ活動」（-1.27 点）、「公営住宅の整備状況」（-1.04 点）となっています。

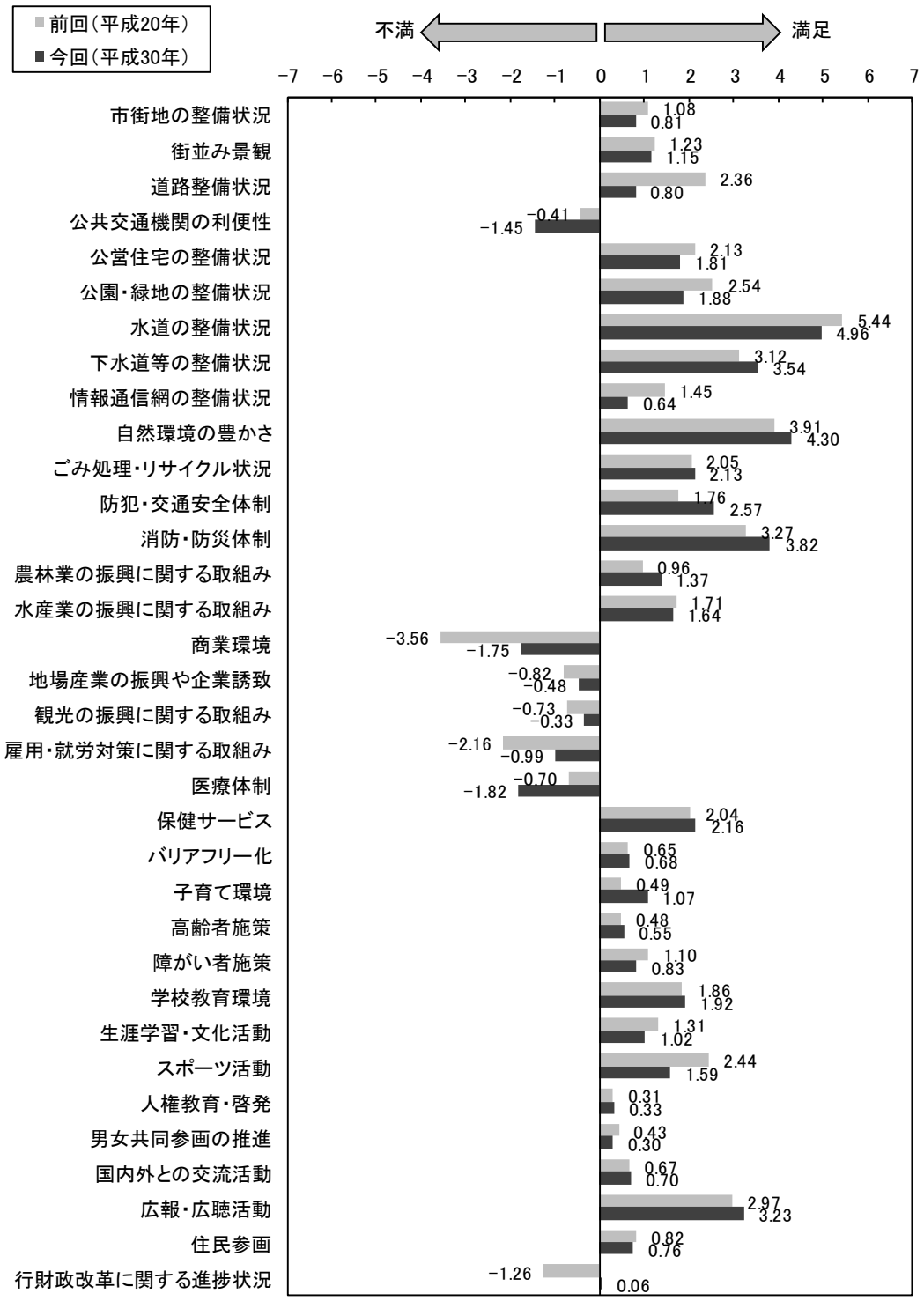
34 項目のうち、前回調査よりも評価点が上昇したのは 18 項目、評価点が低下したのは 16 項目となっています。

■別海

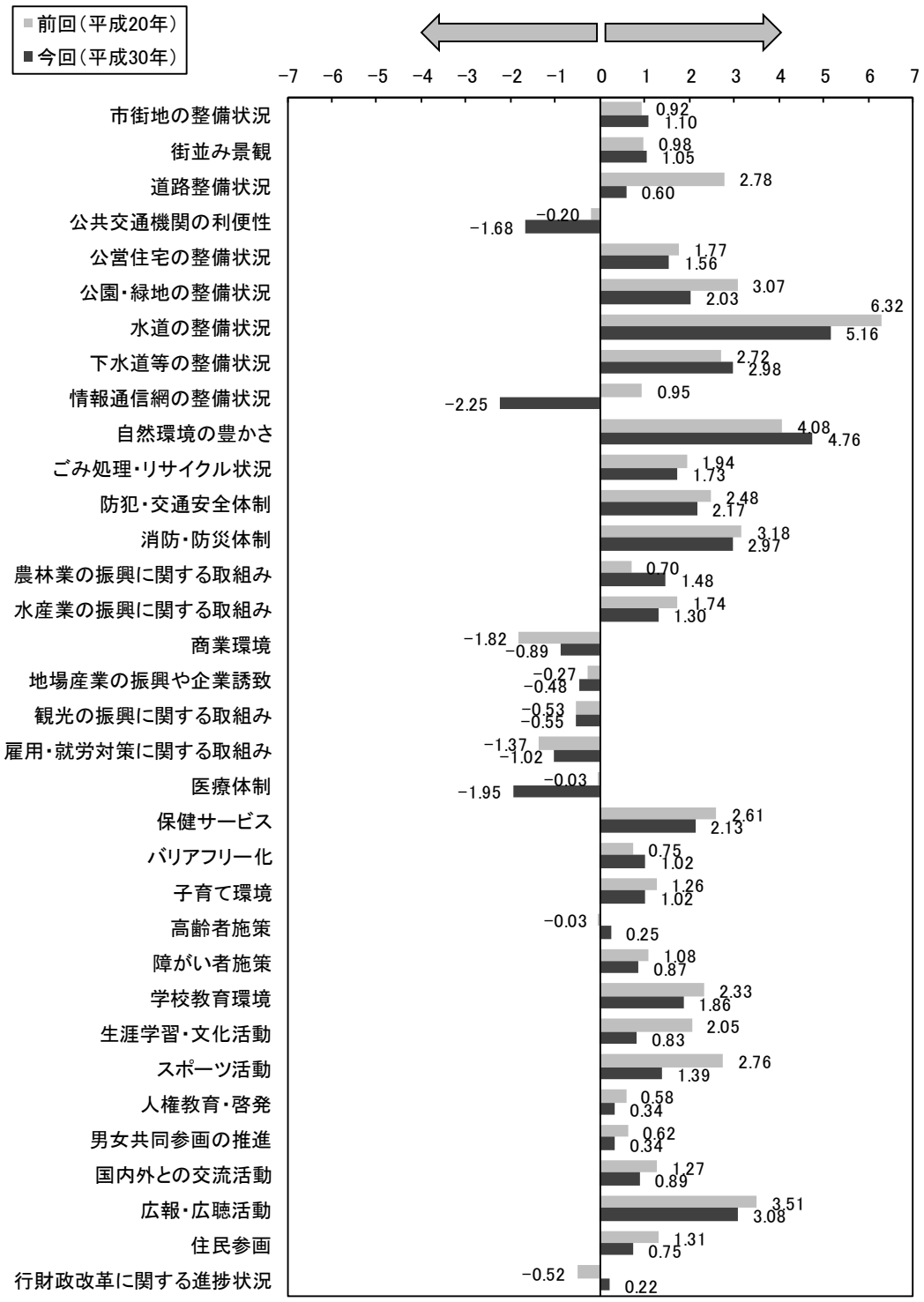
評価点が最も上昇したのは、「商業環境」（+2.95 点）で、次いで「雇用・就労対策に関する取組み」（+1.80 点）、「行財政改革に関する進捗状況」（+1.74 点）となっています。一方、評価点が最も低下したのは、「公共交通機関の利便性」（-1.61 点）で、次いで「医療体制」（-1.33 点）、「道路整備状況」（-1.29 点）となっています。

34 項目のうち、前回調査よりも評価点が上昇したのは 21 項目、評価点が低下したのは 13 項目となっています。

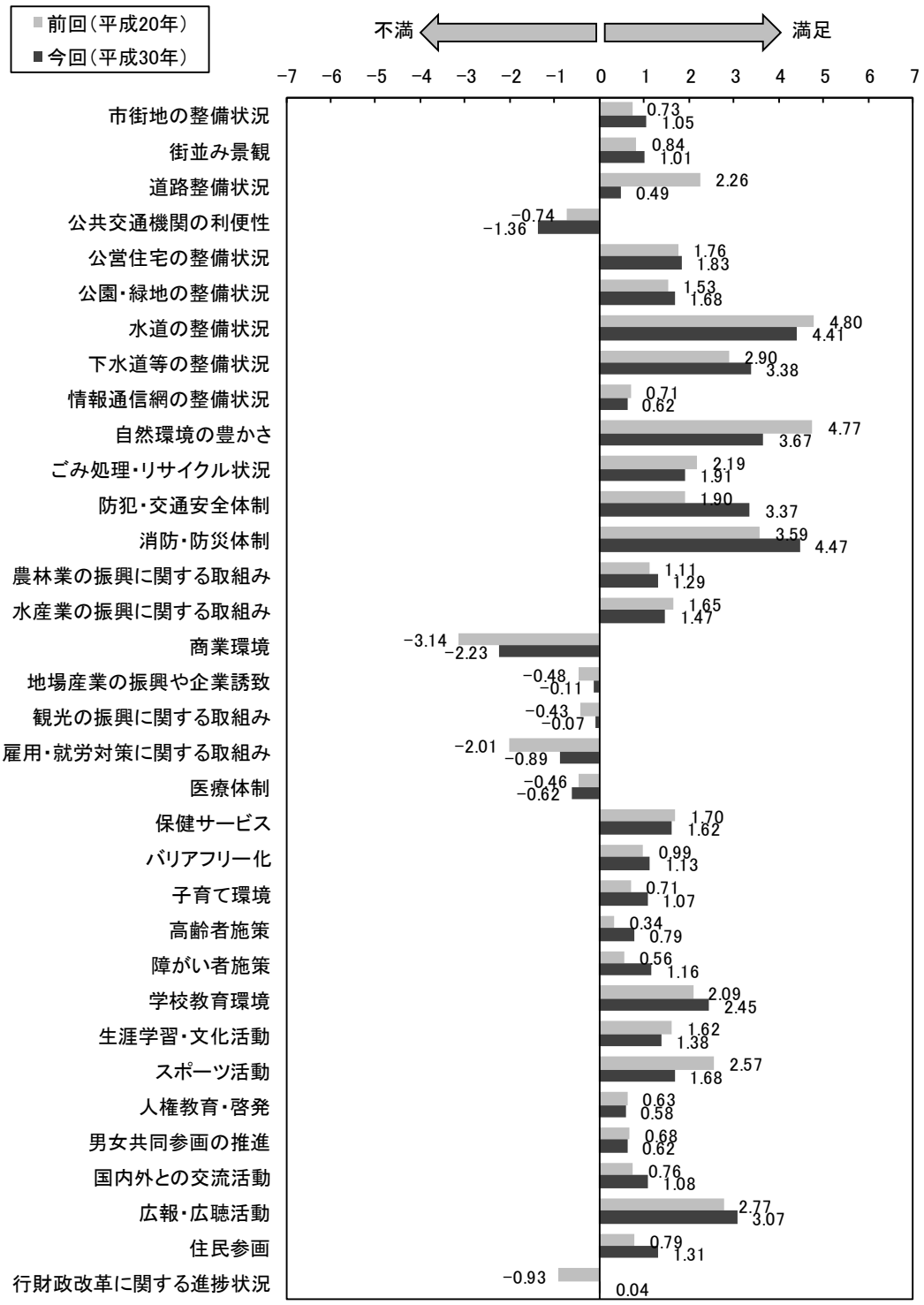
図表　町の満足度評価の比較について（全体／評価点）



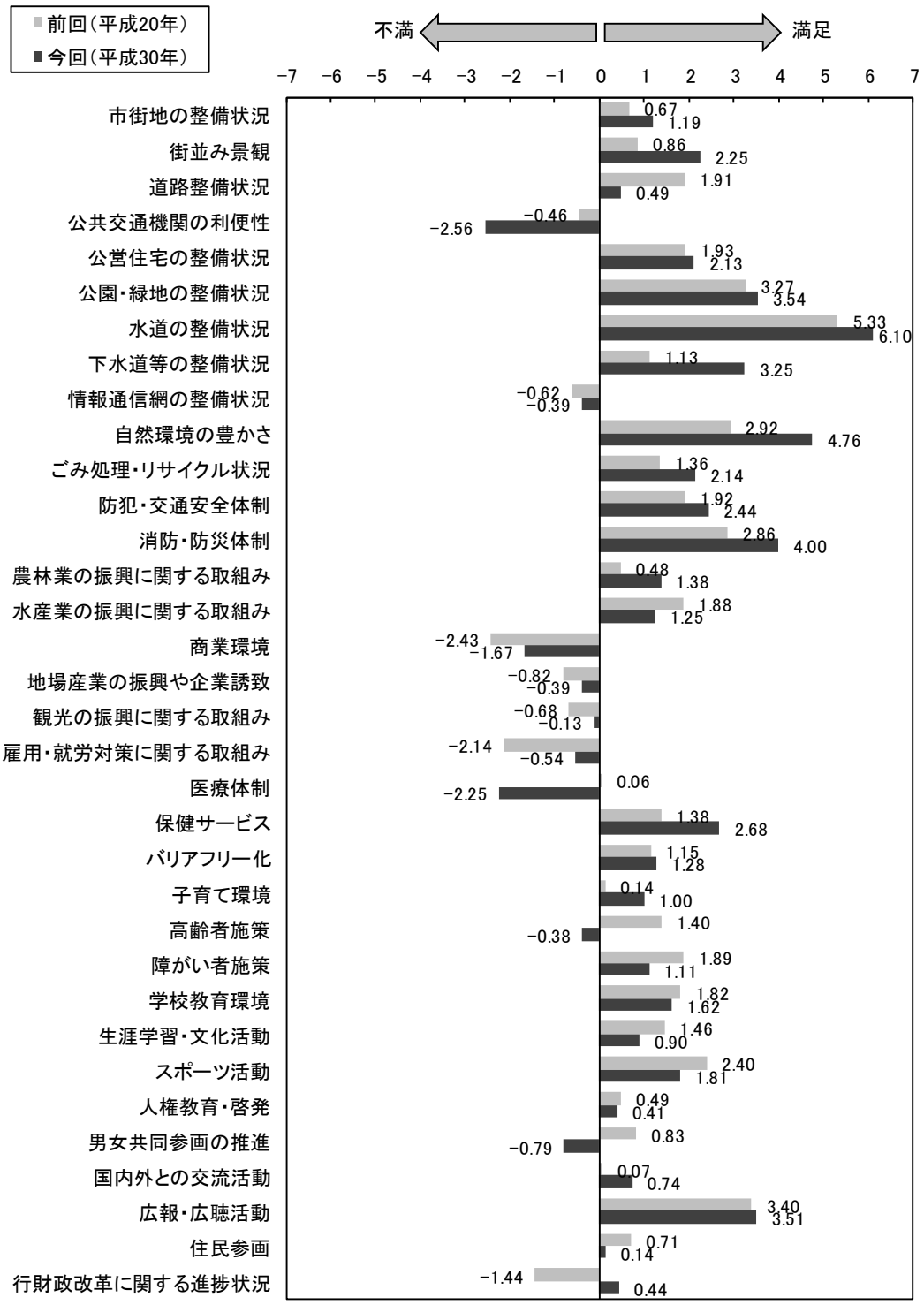
図表　町の満足度評価の比較について（上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原／評価点）



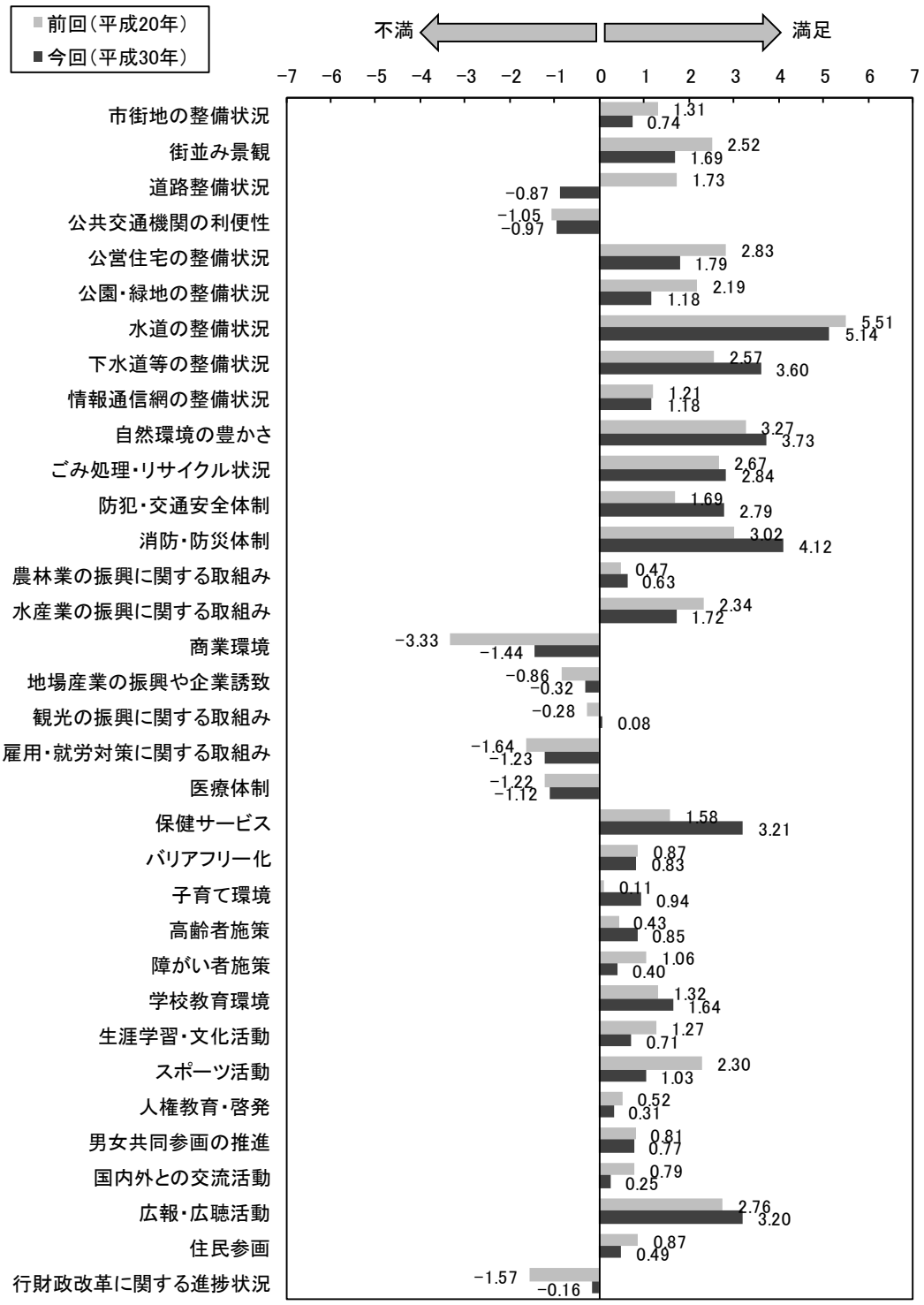
図表　町の満足度評価の比較について（西春別・西春別駅前・泉川／評価点）



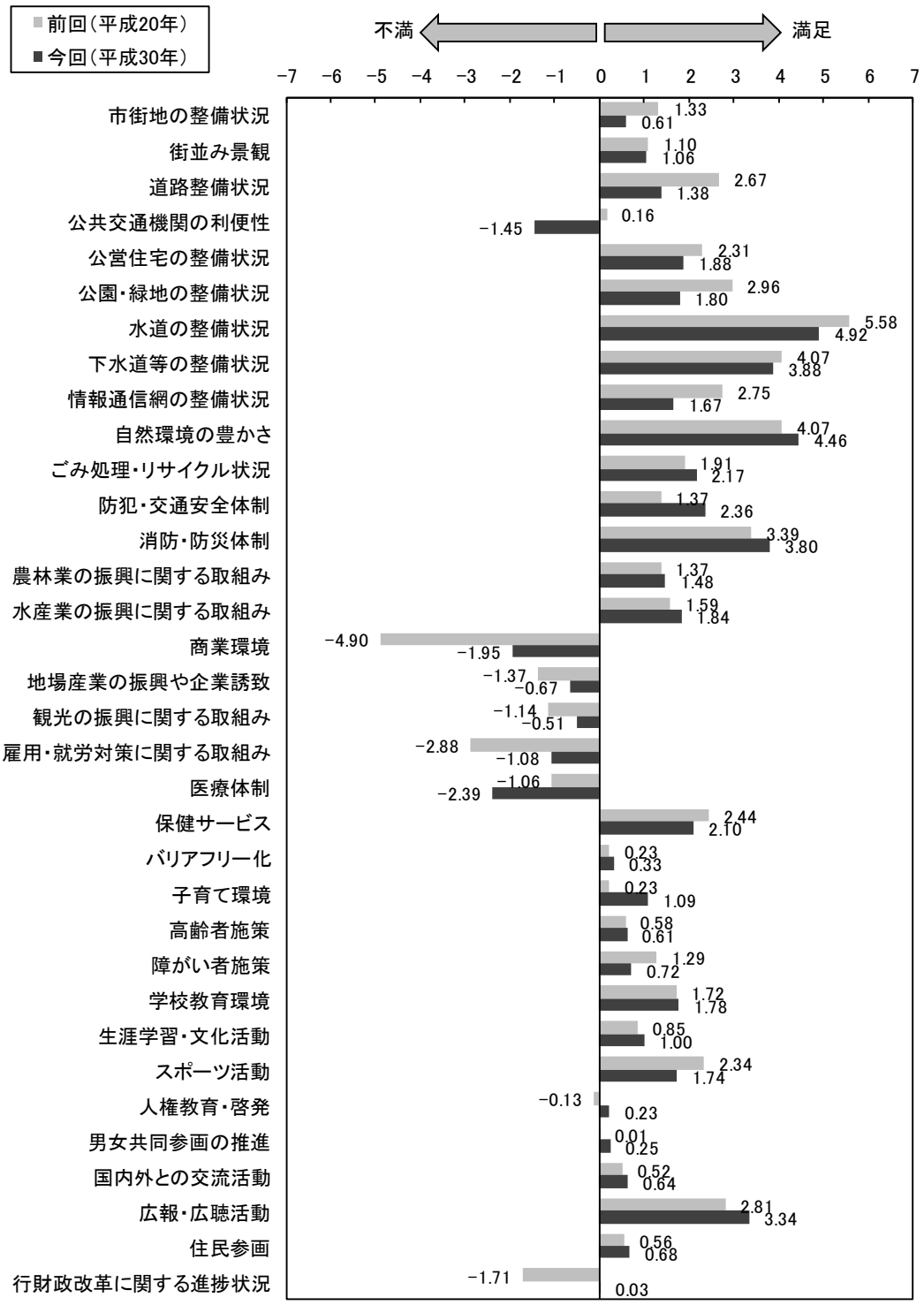
図表　町の満足度評価の比較について（奥行・上風連・矢臼別・中西別／評価点）



図表　町の満足度評価の比較について（尾岱沼・走古丹・本別海・床丹／評価点）



図表　町の満足度評価の比較について（別海／評価点）



（２）今後の行政改革で重点を置くべき項目の比較について

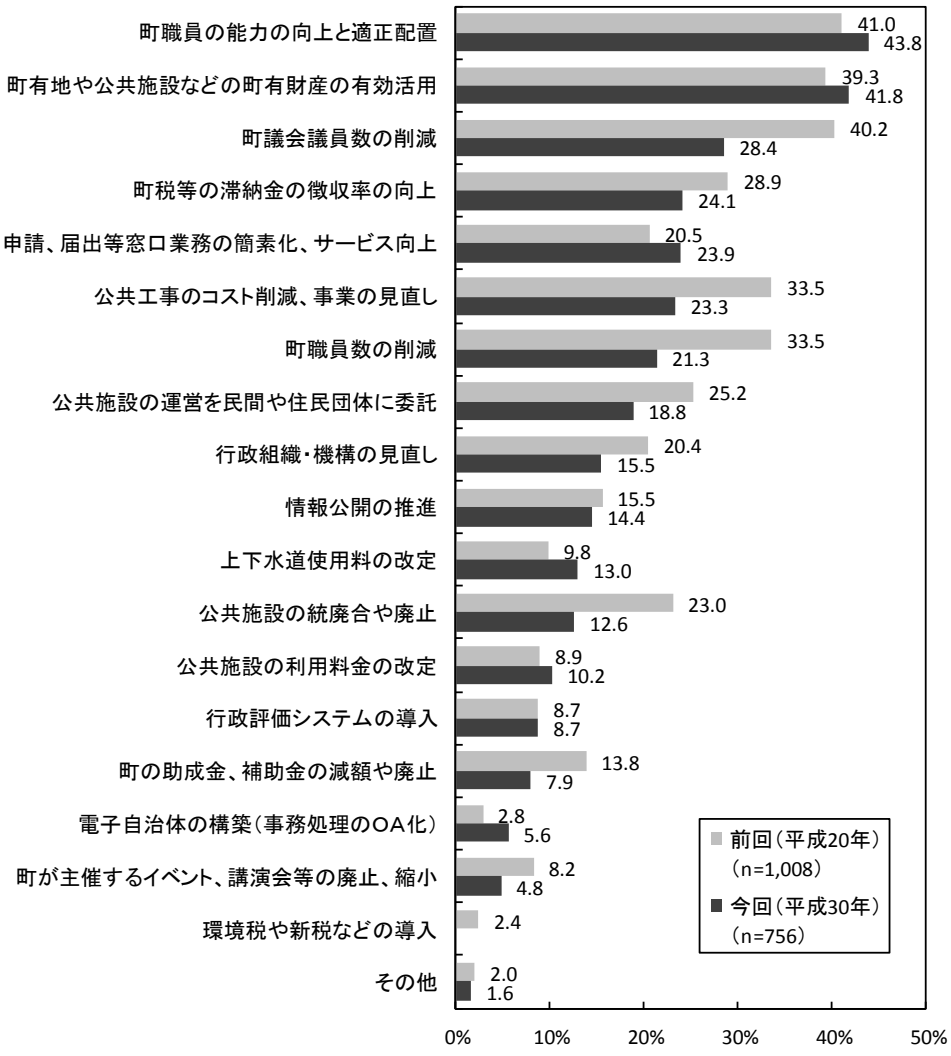
～「申請、届出等窓口業務の簡素化、サービス向上」など６項目の割合が上昇～

今後の行政改革で重点を置くべき項目について、前回調査と今回の調査結果との比較を行う。

全体の結果をみると、前回の調査から割合が最も上昇したのは、「申請、届出等窓口業務の簡素化、サービス向上」が 3.4 ポイントの上昇、次いで「上下水道使用料の改定」が 3.2 ポイント、「町職員の能力の向上と適正配置」と「電子自治体の構築（事務処理のＯＡ化）」が 2.8 ポイントとなっています。逆に最も低下したのは、「町職員数の削減」が 12.2 ポイントの低下、「町議会議員数の削減」が 11.8 ポイント、「公共施設の統廃合や廃止」が 10.4 ポイント、「公共工事のコスト削減、事業の見直し」が 10.2 ポイントとなっています。

今回、選択肢がなかった「環境税や新税などの導入」とその他を除いた 17 項目のうち、上昇したのは６項目、低下したのは 10 項目、横ばいは１項目となっています。

図表　今後の行政改革で重点を置くべき項目の比較について（全体／複数回答）



17　満足度と愛着度、定住意向、暮らしやすさとの相関について

（1）満足度と愛着度の関連について

～『改善の必要性が高いと思われる』に分類される項目は 15 項目～
～『とりわけ改善が必要』は「公共交通機関の利便性」～

まちの各環境についての満足度と、まちへの愛着度の相関関係を、ＣＳ分析［後述参照］により満足度偏差値、重要度偏差値（相関係数）、改善度を算出し、その結果を分析することで、34 項目の各環境に対する満足度と、町への愛着度の相関関係を明らかにし、どの項目の満足率を上げることによって、町への愛着度が上がるかということを統計的に説明しようとするものです。この結果、「図表　満足度と愛着度の関連について（全体／相関）」のとおり、『改善の必要性が高いと思われる』に分類される項目は 15 項目、『改善の必要性が低いと思われる』に分類される項目は 19 項目となっています。また、改善度 10 点以上の項目が『とりわけ改善が必要』として挙げられ、「図表　満足度と愛着度の関連について（全体／満足度偏差値、重要度偏差値、改善度）」の改善度をみると、「公共交通機関の利便性」（15.03）が挙げられます。

※ＣＳ（顧客満足）分析の算出方法

満足度評価の「満足」、「やや満足」を“満足”、「やや不満」、「不満」を“不満”、「どちらともいえない」の３段階評価による回答数と割合を各項目で算出する。さらに総合評価とのクロス集計を行った後、各項目の独立係数を算出する。

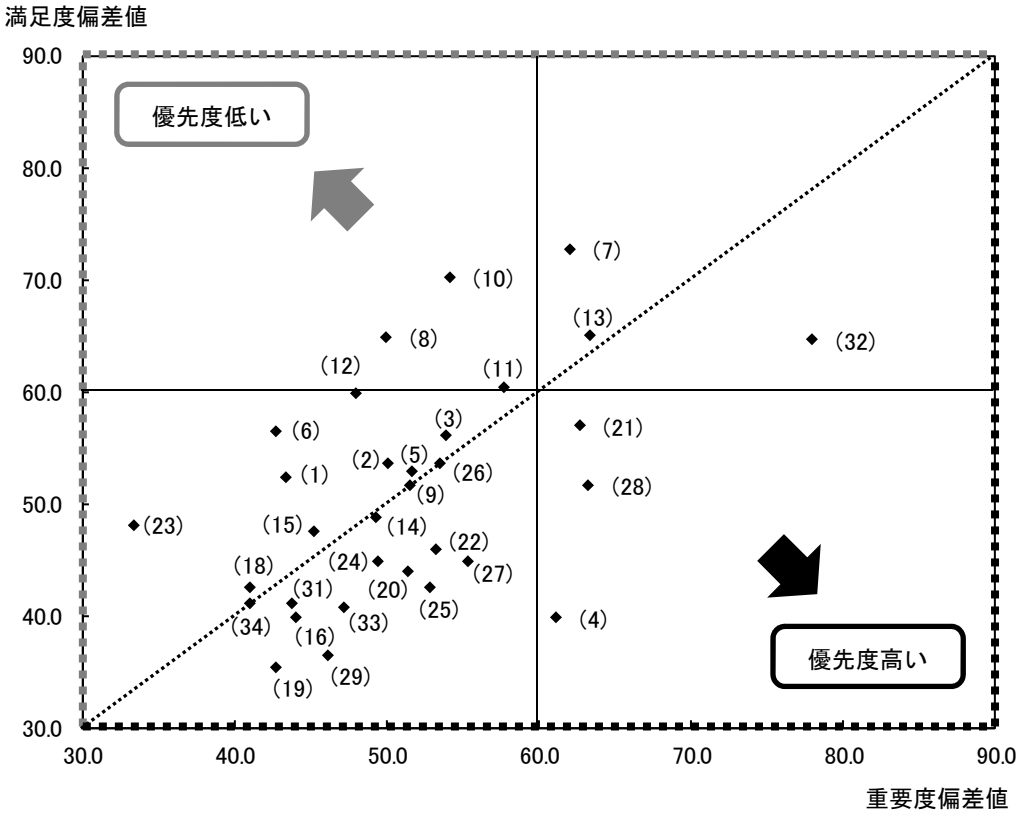
ＣＳグラフにプロットする位置を決めるため、満足率と独立係数それぞれの偏差値を算出し、独立係数を横軸に、満足率を縦軸にとる。

改善度は、プロットの原点からの距離×修正指数で算出する。原点からの距離、修正指数は以下の計算式を用いる。

$$\text{距離} = \sqrt{(x-\bar{x})^2+(y-\bar{y})^2} \qquad \text{修正指数 } r = \frac{90-\text{角度}}{90}$$

※独立係数を重要度と読み替えてグラフを作成。

図表　満足度と愛着度の関連について（全体／相関）



改善の必要性が高いと思われる	改善の必要性が低いと思われる
(4)公共交通機関の利便性 (14)農林業の振興に関する取組み (16)商業環境 (19)雇用・就労対策に関する取組み (20)医療体制 (21)保健サービス (22)バリアフリー化 (24)高齢者施策 (25)障がい者施策 (27)生涯学習・文化活動 (28)スポーツ活動 (29)人権教育・啓発 (31)国内外との交流活動 (32)広報・広聴活動 (33)住民参画	(1)市街地の整備状況 (2)街並み景観 (3)道路整備状況 (5)公営住宅の整備状況 (6)公園・緑地の整備状況 (7)水道の整備状況 (8)下水道等の整備状況 (9)情報通信網の整備状況 (10)自然環境の豊かさ (11)ごみ処理・リサイクル状況 (12)防犯・交通安全体制 (13)消防・防災体制 (15)水産業の振興に関する取組み (17)地場産業の振興や企業誘致 (18)観光の振興に関する取組み (23)子育て環境 (26)学校教育環境 (30)男女共同参画の推進 (34)行財政改革に関する進捗状況

図表　満足度と愛着度の関連について（全体／満足度偏差値、重要度偏差値、改善度）

	全体		
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度
(1) 市街地の整備状況	52.30	43.36	−6.32
(2) 街並み景観	53.64	50.07	−2.53
(3) 道路整備状況	56.06	53.92	−1.51
(4) 公共交通機関の利便性	39.88	61.14	15.03
(5) 公営住宅の整備状況	52.85	51.66	−0.84
(6) 公園・緑地の整備状況	56.45	42.79	−9.66
(7) 水道の整備状況	72.72	62.03	−7.56
(8) 下水道等の整備状況	64.91	49.99	−10.55
(9) 情報通信網の整備状況	51.69	51.50	−0.13
(10) 自然環境の豊かさ	70.26	54.16	−11.38
(11) ごみ処理・リサイクル状況	60.32	57.78	−1.80
(12) 防犯・交通安全体制	59.86	48.02	−8.37
(13) 消防・防災体制	65.12	63.34	−1.26
(14) 農林業の振興に関する取組み	48.85	49.37	0.37
(15) 水産業の振興に関する取組み	47.60	45.26	−1.66
(16) 商業環境	39.80	44.04	3.00
(17) 地場産業の振興や企業誘致	36.41	29.73	−4.72
(18) 観光の振興に関する取組み	42.50	41.07	−1.01
(19) 雇用・就労対策に関する取組み	35.38	42.77	5.22
(20) 医療体制	43.92	51.47	5.34
(21) 保健サービス	56.99	62.70	4.03
(22) バリアフリー化	45.85	53.29	5.26
(23) 子育て環境	47.99	33.38	−10.33
(24) 高齢者施策	44.77	49.40	3.27
(25) 障がい者施策	42.45	52.88	7.38
(26) 学校教育環境	53.64	53.55	−0.07
(27) 生涯学習・文化活動	44.91	55.39	7.41
(28) スポーツ活動	51.69	63.28	8.19
(29) 人権教育・啓発	36.41	46.21	6.93
(30) 男女共同参画の推進	37.11	26.48	−7.52
(31) 国内外との交流活動	41.17	43.73	1.81
(32) 広報・広聴活動	64.66	77.97	9.41
(33) 住民参画	40.74	47.22	4.58
(34) 行財政改革に関する進捗状況	41.10	41.06	−0.03

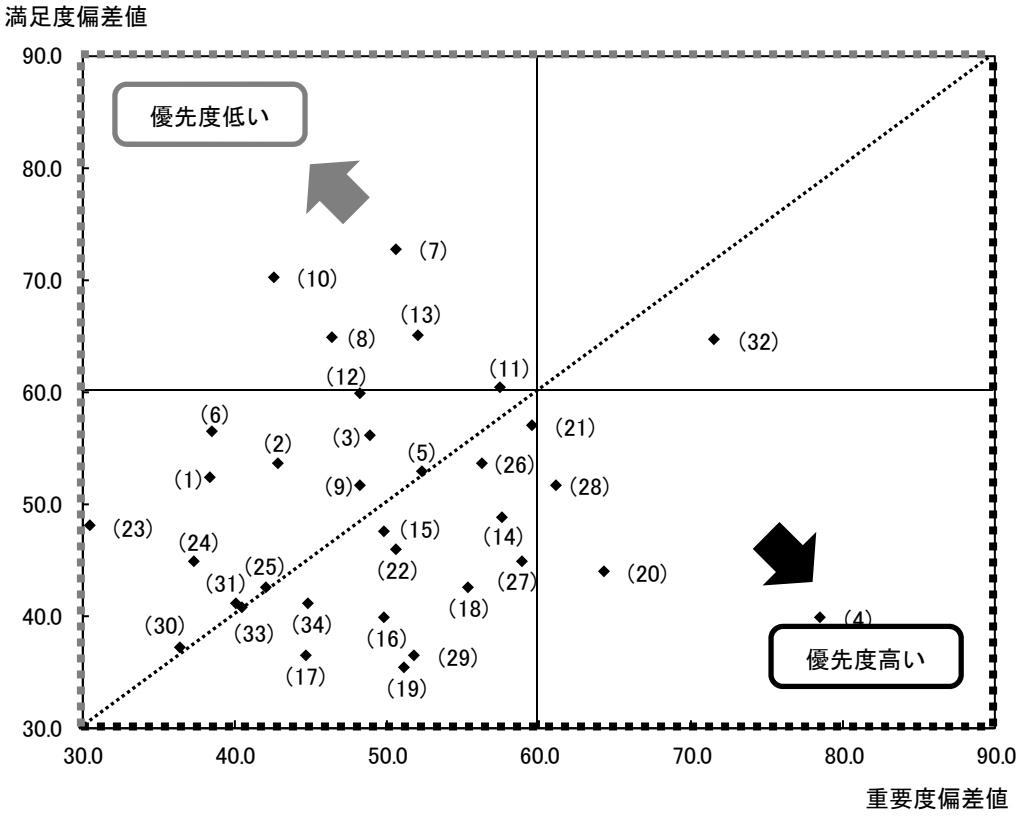
※ＣＳ分析における改善度は、プラス 10 以上が「改善の必要性が高い」の基準と考えられる。

（２）満足度と定住意向の関連について

～『改善の必要性が高いと思われる』に分類される項目は 16 項目～
～『とりわけ改善が必要』は「公共交通機関の利便性」、「医療体制」、「雇用・就労対策に関する取組み」、「人権教育・啓発」～

まちの各環境についての満足度と、今後の定住意向の相関関係を、ＣＳ分析により満足度偏差値、重要度偏差値（相関係数）、改善度を算出し、その結果を分析することで、34 項目の各環境に対する満足度と、今後の定住意向の相関関係を明らかにし、どの項目の満足率を上げることによって、今後の定住意向が上がるかということを統計的に説明しようとするものです。この結果、「図表　満足度と定住意向の関連について（全体／相関）」のとおり、『改善の必要性が高いと思われる』に分類される項目は 16 項目、『改善の必要性が低いと思われる』に分類される項目は 18 項目となっています。また、改善度 10 点以上の項目が『とりわけ改善が必要』として挙げられ、「図表　満足度と定住意向の関連について（全体／満足度偏差値、重要度偏差値、改善度）」の改善度をみると、「公共交通機関の利便性」（27.33）、「医療体制」（14.40）、「雇用・就労対策に関する取組み」（11.14）、「人権教育・啓発」（10.91）が挙げられます。

図表　満足度と定住意向の関連について（全体／相関）



改善の必要性が高いと思われる	改善の必要性が低いと思われる
(4)公共交通機関の利便性 (14)農林業の振興に関する取組み (15)水産業の振興に関する取組み (16)商業環境 (17)地場産業の振興や企業誘致 (18)観光の振興に関する取組み (19)雇用・就労対策に関する取組み (20)医療体制 (21)保健サービス (22)バリアフリー化 (26)学校教育環境 (27)生涯学習・文化活動 (28)スポーツ活動 (29)人権教育・啓発 (32)広報・広聴活動 (34)行財政改革に関する進捗状況	(1)市街地の整備状況 (2)街並み景観 (3)道路整備状況 (5)公営住宅の整備状況 (6)公園・緑地の整備状況 (7)水道の整備状況 (8)下水道等の整備状況 (9)情報通信網の整備状況 (10)自然環境の豊かさ (11)ごみ処理・リサイクル状況 (12)防犯・交通安全体制 (13)消防・防災体制 (23)子育て環境 (24)高齢者施策 (25)障がい者施策 (30)男女共同参画の推進 (31)国内外との交流活動 (33)住民参画

図表　満足度と定住意向の関連について（全体／満足度偏差値、重要度偏差値、改善度）

	全体		
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度
(1) 市街地の整備状況	52.30	38.38	−9.84
(2) 街並み景観	53.64	42.88	−7.61
(3) 道路整備状況	56.06	48.96	−5.02
(4) 公共交通機関の利便性	39.88	78.53	27.33
(5) 公営住宅の整備状況	52.85	52.30	−0.39
(6) 公園・緑地の整備状況	56.45	38.55	−12.66
(7) 水道の整備状況	72.72	50.62	−15.62
(8) 下水道等の整備状況	64.91	46.44	−13.06
(9) 情報通信網の整備状況	51.69	48.29	−2.40
(10) 自然環境の豊かさ	70.26	42.61	−19.55
(11) ごみ処理・リサイクル状況	60.32	57.50	−2.00
(12) 防犯・交通安全体制	59.86	48.19	−8.25
(13) 消防・防災体制	65.12	52.04	−9.25
(14) 農林業の振興に関する取組み	48.85	57.63	6.21
(15) 水産業の振興に関する取組み	47.60	49.89	1.62
(16) 商業環境	39.80	49.80	7.07
(17) 地場産業の振興や企業誘致	36.41	44.64	5.83
(18) 観光の振興に関する取組み	42.50	55.37	9.10
(19) 雇用・就労対策に関する取組み	35.38	51.13	11.14
(20) 医療体制	43.92	64.28	14.40
(21) 保健サービス	56.99	59.55	1.81
(22) バリアフリー化	45.85	50.68	3.42
(23) 子育て環境	47.99	30.50	−12.37
(24) 高齢者施策	44.77	37.27	−5.30
(25) 障がい者施策	42.45	42.14	−0.22
(26) 学校教育環境	53.64	56.27	1.86
(27) 生涯学習・文化活動	44.91	58.91	9.90
(28) スポーツ活動	51.69	61.20	6.72
(29) 人権教育・啓発	36.41	51.84	10.91
(30) 男女共同参画の推進	37.11	36.45	−0.47
(31) 国内外との交流活動	41.17	40.09	−0.76
(32) 広報・広聴活動	64.66	71.61	4.91
(33) 住民参画	40.74	40.55	−0.13
(34) 行財政改革に関する進捗状況	41.10	44.90	2.68

※ＣＳ分析における改善度は、プラス 10 以上が「改善の必要性が高い」の基準と考えられる。

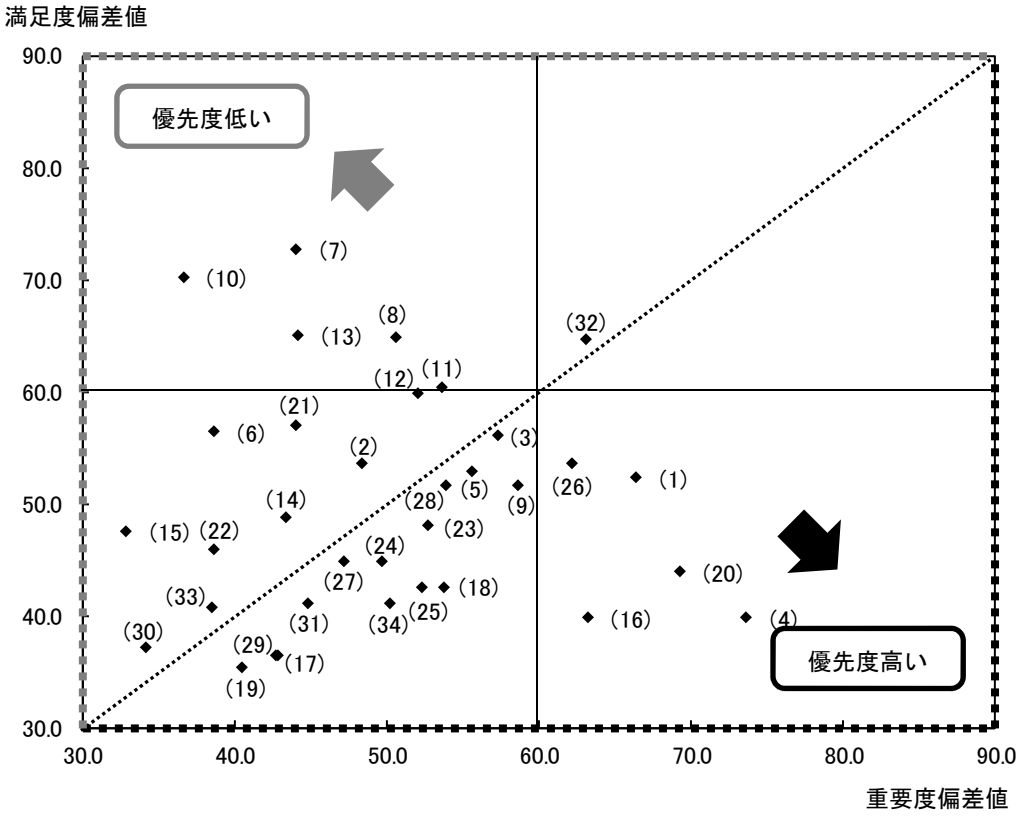
（3）満足度とまちの暮らしやすさの関連について

～『改善の必要性が高いと思われる』に分類される項目は 19 項目～
～『とりわけ改善が必要』は「公共交通機関の利便性」、「医療体制」、「商業環境」～

まちの各環境についての満足度と、全体的なまちの暮らしやすさの相関関係を、ＣＳ分析により満足度偏差値、重要度偏差値（相関係数）、改善度を算出し、その結果を分析することで、34 項目の各環境に対する満足度と、全体的なまちの暮らしやすさの相関関係を明らかにし、どの項目の満足率を上げることによって、全体的なまちの暮らしやすさが上がるかということを統計的に説明しようとするものです。この結果、「図表　満足度とまちの暮らしやすさの関連について（全体／相関）」のとおり、『改善の必要性が高いと思われる』に分類される項目は 19 項目、『改善の必要性が低いと思われる』に分類される項目は 15 項目となっています。

また、改善度 10 点以上の項目が『とりわけ改善が必要』として挙げられ、「図表　満足度とまちの暮らしやすさの関連について（全体／満足度偏差値、重要度偏差値、改善度）」の改善度をみると、「公共交通機関の利便性」（23.87）、「医療体制」（17.93）、「商業環境」（16.55）が挙げられます。

図表　満足度とまちの暮らしやすさの関連について（全体／相関）



改善の必要性が高いと思われる	改善の必要性が低いと思われる
(1)市街地の整備状況 (3)道路整備状況 (4)公共交通機関の利便性 (5)公営住宅の整備状況 (9)情報通信網の整備状況 (16)商業環境 (17)地場産業の振興や企業誘致 (18)観光の振興に関する取組み (19)雇用・就労対策に関する取組み (20)医療体制 (23)子育て環境 (24)高齢者施策 (25)障がい者施策 (26)学校教育環境 (27)生涯学習・文化活動 (28)スポーツ活動 (29)人権教育・啓発 (31)国内外との交流活動 (34)行財政改革に関する進捗状況	(2)街並み景観 (6)公園・緑地の整備状況 (7)水道の整備状況 (8)下水道等の整備状況 (10)自然環境の豊かさ (11)ごみ処理・リサイクル状況 (12)防犯・交通安全体制 (13)消防・防災体制 (14)農林業の振興に関する取組み (15)水産業の振興に関する取組み (21)保健サービス (22)バリアフリー化 (30)男女共同参画の推進 (32)広報・広聴活動 (33)住民参画

図表　満足度とまちの暮らしやすさの関連について（全体／満足度偏差値、重要度偏差値、改善度）

	全体		
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度
(1) 市街地の整備状況	52.30	66.39	9.97
(2) 街並み景観	53.64	48.33	-3.76
(3) 道路整備状況	56.06	57.32	0.89
(4) 公共交通機関の利便性	39.88	73.63	23.87
(5) 公営住宅の整備状況	52.85	55.63	1.97
(6) 公園・緑地の整備状況	56.45	38.66	-12.59
(7) 水道の整備状況	72.72	44.09	-20.24
(8) 下水道等の整備状況	64.91	50.57	-10.14
(9) 情報通信網の整備状況	51.69	58.68	4.94
(10) 自然環境の豊かさ	70.26	36.63	-23.78
(11) ごみ処理・リサイクル状況	60.32	53.60	-4.76
(12) 防犯・交通安全体制	59.86	52.04	-5.53
(13) 消防・防災体制	65.12	44.20	-14.79
(14) 農林業の振興に関する取組み	48.85	43.37	-3.87
(15) 水産業の振興に関する取組み	47.60	32.91	-10.39
(16) 商業環境	39.80	63.20	16.55
(17) 地場産業の振興や企業誘致	36.41	42.83	4.54
(18) 観光の振興に関する取組み	42.50	53.73	7.94
(19) 雇用・就労対策に関する取組み	35.38	40.55	3.65
(20) 医療体制	43.92	69.27	17.93
(21) 保健サービス	56.99	44.06	-9.15
(22) バリアフリー化	45.85	38.64	-5.10
(23) 子育て環境	47.99	52.77	3.38
(24) 高齢者施策	44.77	49.70	3.49
(25) 障がい者施策	42.45	52.36	7.01
(26) 学校教育環境	53.64	62.15	6.02
(27) 生涯学習・文化活動	44.91	47.15	1.59
(28) スポーツ活動	51.69	53.86	1.53
(29) 人権教育・啓発	36.41	42.77	4.49
(30) 男女共同参画の推進	37.11	34.17	-2.08
(31) 国内外との交流活動	41.17	44.88	2.62
(32) 広報・広聴活動	64.66	63.06	-1.13
(33) 住民参画	40.74	38.53	-1.56
(34) 行財政改革に関する進捗状況	41.10	50.27	6.48

※ＣＳ分析における改善度は、プラス 10 以上が「改善の必要性が高い」の基準と考えられる。

18　自由意見について

◎　最後に、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にご記入ください。

自由意見欄に意見等を記入した人は 217 人と、有効回答者（756 人）に対する記入率は 28.7%でした。これらの自由記述された要望や意見を集約すると記入された意見は全 387 件となっています。

集約した意見を、「活力ある産業のまち」、「自然と共生するまち」、「健やかに暮らせる福祉のまち」、「人を育てる学びのまち」、「快適で安全なまち」、「参画と協働でつくるまち」という６つの分野で区分し、居住地別に件数・意見の内容をまとめると以下のとおりとなります。

図表　自由意見の記入状況（全体、居住地別）

		全体	居住地別					
			上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原	西春別・西春別駅前・泉川	奥行・上風連・矢臼別・中西別	尾岱沼・走古丹・本別海・床丹	別海	居住地不明※
有効回答者数（人）		756	127	146	42	69	358	14
記入者数（人）		217	42	24	12	12	124	3
記入率（%）		28.7%	33.1%	16.4%	28.6%	17.4%	34.6%	21.4%
意見の件数（全体）		387 100.0%	71 100.0%	39 100.0%	19 100.0%	30 100.0%	222 100.0%	6 100.0%
分野別	活力ある産業のまち	51 13.2%	8 11.3%	5 12.8%	1 5.3%	5 16.7%	30 13.5%	2 33.3%
	自然と共生するまち	15 3.9%	3 4.2%	2 5.1%	1 5.3%	0 0.0%	9 4.1%	0 0.0%
	健やかに暮らせる福祉のまち	100 25.8%	22 31.0%	9 23.1%	8 42.1%	11 36.7%	49 22.1%	1 16.7%
	人を育てる学びのまち	32 8.3%	5 7.0%	4 10.3%	1 5.3%	2 6.7%	20 9.0%	0 0.0%
	快適で安全なまち	62 16.0%	14 19.7%	8 20.5%	3 15.8%	7 23.3%	29 13.1%	1 16.7%
	参画と協働でつくるまち	127 32.8%	19 26.8%	11 28.2%	5 26.3%	5 16.7%	85 38.3%	2 33.3%

※居住地の回答が「無回答」のもの

図表　自由意見の記入内容（居住地別、分野別）

①上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原（71 件）

分野	内容	件数
活力ある産業のまち	●水産物、農産物、最高においしい	1
	●町内に商業施設の充実を、町として寂しい	1
	●恵まれた資源や、町の特産物を有効活用し別海町が発展し、全国に知ってもらうことが必要、商品のブランド化や観光資源のアピール等々	1
	●酪農の新規就農者だけでなく酪農後継者に対しても支援が大切	1
	●水産・農業・商業・工業の連携がうまくとれて無い	1
	●自然産業の衰退により人口減はさらに進むので、地元産業の育成はもとより外部企業誘致など人口減少を止めることに行政が力を入れてもらいたい	1
	●若者が戻ってこられるように町中での雇用創出	1
	●主要道路から家畜糞尿が丸見えなのは観光だけでなく、町民にもマイナスで、スラリーの臭いも問題であり、農家の排水、廃棄分は、行政が改善の取組をすべき	1
	計	8
自然と共生するまち	●ゴミの分別が細かすぎて困るので、一人暮らしや高齢者のことも考えて、ほかの町のやり方も参考にしてほしい	1
	●毎年、ゴミ出しルールをかえずに、別海町と同じゴミ出しルールにしてほしい	1
	●ゴミ出しルールが別海町だけ細かすぎて分別に困っている	1
	計	3
健やかに暮らせる福祉のまち	●医療充実	1
	●高齢者福祉対策充実	1
	●小児科医の定着	1
	●分娩の受け入れができないと子育て支援も進まない	1
	●子どもを安心して出産し育てられる医療体制	1
	●老後のケア	1
	●元気で長生きできる指導（自己管理）	1
	●近隣の町と連携協力して総合病院の誘致	1
	●分娩の一時休止、小児救急患者の非対応は不安であり、将来を担う若い世代の人たちのことも考えて、常時病院担当医師を確保できる方向に早急に手を打ってほしい	1
	●特に小児科医が不在になったことで、市街地の充実が今後どうなるか心配	1
	●小児科医不在で、診療、救急、出産が休止したことが不安、評判のいい助産師さんたちがいながら出産できないのが残念であり、再発防止のために小児科の先生がやめた原因の究明を求める	1
	●内科等他にも別海病院での改善要望が多く、医療への安心が町の発展や子育て世代を増やす前提	1
	●別海でできなかったら、専門的な治療、安心できる医師との出会いを求めて釧路へ行くことになるが、やはり高齢者にとって釧路は遠い	1
	●身体障がい者が安心して自立できる収入確保のための働く場所の確保	1
	●高齢者が健康、コミュニティ、年金収入を補っていける収入確保のための働く場所の設置によって一つの地域形成が出来れば良いと思う	1
	●民生委員はひとり暮らしの高齢者だけで手がまわらない状況なので、保健センターの人にもっと外に出て、話を聞いてもらい、病院と保健センターにつなげて細かい生活改善の指導をしてほしい	1
	●別海病院は産科の医師と助産師さんが揃っていて産後のサポートも良かったのに、分娩ができないのはもったいない	1
	●別海病院は小児科医だけ入れ替わりが早い	1
	●別海病院の小児科の先生の早期雇用	1
	●高齢化社会に向けて、医療の充実など町の対策を充実させないと都会にいってしまう	1
	●社会保障の充実、医療費の削減	1
	●老人ホームを増やし、高齢者が安心して生活できる町にしてほしい	1
	計	22

分野	内容	件数
人を育てる学びのまち	●人材育成	1
	●若者の育成	1
	●Education, education and education.	1
	●箱物事業の推進をやめて、子どもたちが健康に育てる環境や教育の充実を図ることが大切	1
	●子どもたちがすこやかに育つよう給食を安心安全なものにすることが、心と身体を健康に保つため大切	1
	計	5
快適で安全なまち	●年をとって車を運転できないと生活できない	1
	●所有者不明の空き家のため、通学路が安心安全でないことが不安であり、所有者不明の空き家をなくすべき	1
	●見通しの悪いカーブ手前の十字路、国道(272)上春側、感知式の信号設置希望	1
	●町内路線の除雪の充実	1
	●付近の町道は除雪が行き届いてなく外出を諦めることもあるので、もう少しきれいに走りやすく除雪してほしい	1
	●通学路の歩道がなかなか整備されず、ガードレールのある草刈りも不充分なので、実態把握と草刈りを希望	1
	●上春別地区に光回線の導入を希望	1
	●大型車増加に伴う道路の整備向上に努力すべき	1
	●町に出るための交通体制	1
	●インターネット環境を良くしてほしい	1
	●生活道路の整備	1
	●離農地の建物撤去になんらかの助成を希望	1
	●町の中の古い空き家撤去も助成が必要	1
	●役場や病院、保健センター等市街に集中して、不公平を感じる	1
	計	14
参画と協働でつくるまち	●すべての出来事に気軽に参画でき、町民があたたかい	1
	●りょウシくんのグッズは特に気に入っている	1
	●選挙時の宣伝カーの騒音に違和感があり、お金をかけず、各地域ごとに立候補者の話が聴ける体制を希望	1
	●市街での議会報告会等は各地域にバスが出ると助かり、高齢者が参加しやすい配慮を希望	1
	●職員の採用と質の問題への不満	1
	●町民にあたたかい行政、政策を期待	1
	●将来につながる助成金であってほしい	1
	●町職員の専門職として短期間の異動はすべきではなく、それにより精神疾患者が多く出て、町民にとっては不利益となっている	1
	●外国人への地方参政権に反対	1
	●外国人への生活保護受給者並びに不正受給撤廃	1
	●外国人への土地売却を規制	1
	●別海町は国境に面し領土問題もあり、防衛意識を持たせるための啓発が必要	1
	●町の雰囲気が暗く、町民に笑顔で心に余裕のある人が増えてほしい	1
	●役場内ですれちがう際は軽くあいさつしてほしい	1
	●アンケートの選択肢について「わからない」がないため「どちらともいえない」に記入	1
	●少子高齢化に向け、いろいろな面でスリム化を進める必要がある	1
	●外部から移住しやすい環境整備し、別海に定住してもらってはどうか	1
	●子ども(小中学生)に別海町の 20 年後のプランを応募し、上位3名は町議会で発表してもらう	1
	●町職員の縁故採用は大問題で、職員数も多すぎるので、一般企業と同じように職員の能力をきちんと判断すべき	1
	計	19
総計		71

②西春別・西春別駅前・泉川（39 件）

分野	内容	件数
活力ある産業のまち	●中学生～大学生の年齢層の人達が楽しめる施設の充実が必要で、敷地内にスーパー等の買い物施設があれば、家族でも楽しめる	1
	●大型店誘致	1
	●公共事業や施設の投資から人や人材育成、教育知識、技術者の招致など人への投資を増やすべき	1
	●農業関連事業は森林破壊し、膨大な費用をかけても臭いがいっこうに改善されない　糞尿処理ラグーンを作ったり、税金の使い方が偏っており、税金は福祉にまわしてほしい	1
	●商店が少なく高齢者の買物が大変になるのではと心配	1
	計	5
自然と共生するまち	●自然環境に恵まれており、自然環境問題に目を向けるべき	1
	●ごみ分別で悩むたびに町役場に電話して聞いており、もっと詳しく説明してあるものがほしい	1
	計	2
健やかに暮らせる福祉のまち	●介護タクシーが必要であり、一台でも導入を考えてほしい	1
	●高齢者施設が高額なので、もっと入所しやすい施設が欲しい	1
	●別海病院内に人工透析の施設希望	1
	●病院が不便	1
	●高齢になってもできるだけ自立した生活を続けていきたいので、地域で買物ができ、医療も受けられてバスも今の状態が続けてもらえたらいい	1
	●ずっと別海町で暮らし、奉仕できる職業として介護職員の賃金アップを望む	1
	●町立病院から常勤の小児科医が居なくなると新聞で知りショックで、これから先「病気への不安」がとても大きい	1
	●なぜ、町立病院から医者は去るのかを明確に対処してほしい	1
	●もう少しまともな判断ができる内科医を探してほしい	1
	計	9
人を育てる学びのまち	●若者の進路の選択肢を増やすことも投資の1つであり、別海町に大学を誘致できないか	1
	●地域交流に力を入れてほしい	1
	●学校ごとで交流を推進してほしい	1
	●スポーツの講座、教室のために、別海町まで行くとなると30分かかり不満であり、場所、時間問わず、もっとスポーツをできる環境にしてほしい	1
	計	4
快適で安全なまち	●地元を離れて実感した、別海町のおいしい水と、良く整備された碁盤の目の道路は、先人の方々の苦労に感謝する	1
	●高齢で運転免許返納した後の交通手段が不便	1
	●生活において買物弱者、格差に不安を感じる	1
	●町全体での人口減少、酪農業などの後継者不足での空き家増加を何とかしてほしい	1
	●公民館を新しくしてほしい	1
	●町道、道道は毎回同じ所が痛むので、行政の巡回も大事	1
	●空き地や空き家のまわりの草取りなどの整備	1
	●買い物や病院の通院のための交通の充実	1
	計	8
参画と協働でつくるまち	●「りょウシくん」はかわいいキャラクターでグッズも多いのにPR不足、もっと道外で活動してほしい	1
	●少年少女が大人になって、別海町を住み安い豊かな町にしようとする人間に成長できる行政をしてほしい	1
	●安心して暮らせる生活、演習でノイローゼ状態になるので静かな町にしてほしい	1
	●他人のことを自分のこととして考えられる行政であってほしい	1
	●町が豊かに恵まれた地であり続け、繁栄し続け、次世代に渡り世界に目を向けて活躍できる人材育成を願う	1
	●子ども、若者が夢を持ってくらせる行政を望む	1
	●お上の言いなり行政はやめて、町民の声を道や国に訴えてほしい	1
	●別海町は知恵を使って安心して住める町であるようにしてほしい	1

分野	内容	件数
	●若者や子ども達が増えて活気づく町づくりを望む	1
	●何か始めるでもゆっくり時間をとって計画・行動をお願いしたい	1
	●急激な人口減少は防いでもらいたい	1
	計	11
総計		39

③奥行・上風連・矢臼別・中西別（19 件）

分野	内容	件数
活力ある産業のまち	●中央で、それぞれの地域の人達が利用できる娯楽施設、飲食店など充実した場が欲しい	1
	計	1
自然と共生するまち	●中西別公園のベンチを新しくしてほしい	1
	計	1
健やかに暮らせる福祉のまち	●介護施設の充実	1
	●過去には幼稚園でも虐待（保育士から）があり、新聞でも障がい者への虐待も時折目にするので、虐待防止へのしっかりした管理をしてほしい	1
	●車の運転ができなくなった場合の外出に不安があり、今秋からの乗合ハイヤーの事業は申請条件が厳しすぎる	1
	●安心安定した医療	1
	●今の別海町市街地に魅力のあるものがなく、病院、高齢者施設なども、ここに行きたいと思える魅力的な場所であってほしい	1
	●昔は保健師が各家庭を訪問し血圧等測ったりしたが、最近は地区担当の保健師の顔も名前もわからないので、町が独居高齢者を把握し、保健師の派遣、施設等への入所を促したりすべきである	1
	●小児科医がいないと小さい子がいる家庭は困るので、早期再開を望む	1
	●小児科も分娩も休止の状態というのは大変困り、どちらもこの町にあるというのは魅力であり支えであるので、早期再開してもらえると大変ありがたい	1
	計	8
人を育てる学びのまち	●他地域文化との交流・充実	1
	計	1
快適で安全なまち	●農村地区への光回線の早期開通	1
	●道路整備	1
	●運転のできない高齢者の買い物や、町主催の活動への参加と町全体の活性化にもつながり、送迎のいる学生の行動範囲も広がるため、生活バスを充実させてほしい	1
	計	3
参画と協働でつくるまち	●若い世代の人達に認めてもらえる町づくり希望	1
	●総合計画の実施進捗がわからないので、町民に情報を提供する方法を考えてほしい	1
	●子どもが将来に夢を抱くことのできる町づくりをしてほしい	1
	●町外に出た若者達が帰って来たいと思う別海町になってほしい	1
	●別海町は大きすぎて、各地域でのまとまりはあっても町全体でのまとまりが感じられない	1
	計	5
総計		19

④尾岱沼・走古丹・本別海・床丹（30 件）

分野	内容	件数
活力ある産業のまち	●町の基盤産業の酪農業、漁業が厳しい状況にある	1
	●農家は景気が良いのに中心部は全然活気がない	1
	●道の駅おだいとうを売店の充実などで道の駅らしくしてほしい	1
	●食べ物がおいしいこともたくさんの人に知ってもらいたい	1
	●道路や川に酪農のフンや土をばらまくのをやめてほしい	1
	計	5
健やかに暮らせる福祉のまち	●高齢者世帯への支援の充実	1
	●診療所の一層の充実と将来の医師不足を予測して、財政的負担軽減のためにも他町の医療機関との合併等を検討してほしい	1
	●ヘルパーやグループホームなど人員不足で利用したい高齢者が利用できないのはとても不便	1
	●標津町のように透析用のバス手配、ガソリン代、宿泊用の補助金が欲しい	1
	●介護の仕事は大変な割に低賃金であり、町で交通費の負担や介護職（訪問ヘルパー含めて）の給料待遇を改善してほしい	1
	●福祉分野への支援、特に障がい者施設、高齢者施設は経営・運営が大変難しく、費用負担が大きいので、毎年支援してほしい	1
	●町立病院の評判が悪いので何とかしてほしい	1
	●子育て世代にとって金銭的な負担が少なく町の高校へ進めるようにしてほしい	1
	●別海病院がどうなるのか心配	1
	●尾岱沼に救急車を配置してほしい	1
	●個人の知識の充実による健康づくり、医療の適正な受診によって医療費が削減でき、他に予算を使えるので、個人を対象とした知識の共有が大切である	1
	計	11
人を育てる学びのまち	●共働きで、子どもが放課後、勉強や遊びができる場所が欲しい	1
	●閉鎖的な町にならないよう、国際的な取組などを外へもアピールし、広く交流の場をもてるようにしたい	1
	計	2
快適で安全なまち	●とても住み心地が良い町だと感じている	1
	●海岸線は、大きな低気圧が来れば幹線道路が通行不能になり不安	1
	●公共交通の便利性を望む	1
	●都市病院へのバス他交通手段確保	1
	●災害時の支援の充実	1
	●冬場の道路の悪路が気になるので、除雪対策を検討してもらいたい	1
	●消防車ばかり買っている気がする	1
	計	7
参画と協働でつくるまち	●町、道民税が高すぎるし、滞納者が多いとも聞いている	1
	●安心安全に暮らせる町づくりをしてほしい	1
	●町税を無駄にしない方策をとってほしい	1
	●人口減少、高齢化は別海町だけではなく難しい時代である	1
	●ふるさと納税を導入しないで完全に後手にまわってしまった	1
	計	5
総計		30

⑤別海（222 件）

分野	内容	件数
活力ある産業のまち	●雇用の拡大	1
	●産業の担い手の勉強会	1
	●別海の中心地以外にも生活に必要必需品扱い店（コンビニ等）を増やす	1

分野	内容	件数
	●商業施設をもっと充実してほしい	1
	●道の駅が町から遠く、帰省した人が買い物（お土産など）できる所が町にほしい	1
	●高齢者 70 才からの雇用支援、職業訓練	1
	●隣町まで行かなくてもいいような、遊び場もある充実したお店を増やしてほしい	1
	●第1次産業とともに第6次産業の活性化を行い、地元就職先の増加を図ってほしい	1
	●中標津・根室間の主要道路に観光施設をつくる、外観の見栄えよくする等の工夫があれば、観光客も目を引いてくれる	1
	●農漁業等テレビでとりあげて宣伝してもらう	1
	●アイディアを出して観光客招致	1
	●インスタ映えする食べ物や景色を若者から募集	1
	●大型、もしくは中型のホテルが観光上も必要	1
	●道の駅は他の市町村を参考に少し立派にしてほしい、場所も考えてみてはどうか	1
	●第一次産業にも、他地域から人が流入しやすい仕組みをつくって人口対策を増やすなど、町の良さをもっとPRするべき	1
	●Uターン、Iターン者の受け入れを推進するための魅力づくり	1
	●まちづくりには一次産業も必要だけれども二次、三次産業を誘致して高校生、大学生等が地元でより多く就職出来ることが必要	1
	●子ども世代が都市へ進学して帰郷しても地元に就職できない、雇用の促進を求める	1
	●酪農の町なので、地元の乳製品を町民が手軽に購入できるようにしてほしい	1
	●EPA・FTAに対応した一次産業の体質強化	1
	●一次産業（特に酪農）の担い手対策	1
	●温暖化等による漁業環境の変化に対応した増養殖事業の確立	1
	●北洋銀行のATMだけでも設置希望	1
	●まちの商店・企業などは、地元購買の増加のために気持ちのこもった対応が必要	1
	●若者が働く場所の確保	1
	●町の商業環境が不足しており、魅力ある結婚式場、大きな葬儀場、宿泊施設がほしい	1
	●地域の基幹産業である畜産酪農の持続的な発展と、関連産業も含めて地域全体が長期にわたり持続的に展開されるような施策を望む	1
	●若者の定着、雇用の場を創設することが急務	1
	●田舎なのに物価は都会と変わらないのはおかしい	1
	●地元のお店に重点を置くことになると、買い物をたくさんの中から見て選ぶことができないため、買うものにも高い質を求めていくのではないか	1
	計	30
自然と共生するまち	●水（川）を大切にすることが、当地の末永い繁栄になるので、更にきれいにして次の世代に渡していきたい	1
	●有料ゴミ袋に関して、二人暮らし、特に夏は週に二回出したいのでもえるゴミの5リットルタイプを希望、かんとびんも半分の大きさがあると出しやすく、値段も検討して使いやすくしてほしい	1
	●スラリー散布時に洗濯物に臭いがつき不快であり、暑い日に窓を開けられないので無臭化するなど改善してほしい	1
	●ゴミ分別が細かすぎて大変であり、ゴミ袋代もかかるため、もっと大雑把な分別に変更してほしい	1
	●ゴミの分別が細かくなりすぎて、分りづらく、表を見ないと分からないので面倒で協力しづらい	1
	●動物公園（体育館の奥）は閉鎖するか、存続するなら動物を増やしてほしい	1
	●西別川沿いの景観がひどく、水質のために木々が必要でも、少し伐採して河川敷で一息つけるような場所がほしい	1
	●憩いの森公園に時計の設置、遊具の下は土を入れるなり水はけのよい状態にしてほしい	1
	●「自然との共生」をうたっているが、あまりにも経済活動という視点でしか「共生」を考えておらず、地元の川で釣りをしたり山菜をとったり、身近な自然についての大切さを子ども達に伝えたいので、北欧の「自然享受権」などをモデルにしてほしい	1
	計	9

分野	内容	件数
健やかに暮らせる福祉のまち	●子育て世代への支援	1
	●在宅医療、介護の手厚い保障	1
	●医師の確保	1
	●町全体で安全と健康について考えてもらえるような別海町を目指してほしい	1
	●小児科がなくなったことで、体調の悪い乳幼児を中標津や釧路まで連れて行くことはとても大変であり、出産もできず、立派な病院を建てても、診察できないことに町民は本当に困っている	1
	●子育て支援の充実、高齢者施策	1
	●健康で暮らせるようなイベント、医療を充実させてほしい	1
	●終末期が別海町で良かったと思えるような、病院特有の雰囲気や規制が少ない、家庭のような場所であるホスピスをつくってほしい	1
	●今は介護があるので他のことは考えられない	1
	●小児科医不在、初産不可など医療体制の改善	1
	●母子センターでの子育て支援に助かっているので、今後も継続してほしい	1
	●病院も近隣の町村と連携が一層大切になると思う	1
	●町立病院を充実させてほしい	1
	●小児科の先生を早くよんでほしい	1
	●よい医者が定着してほしい	1
	●障がい者だが、ハイヤー券、バス券利用など日頃、生活面でお世話になっているが、一人暮らしで日常不安なとき、年に一、二度でも保健師さんに訪問してもらえると心強い	1
	●すべての世代にとっての医療の充実、特に眼科、若い世代には、産婦人科や小児科を充実させ、別海の産科で出産できないと、若者は減少する一方である	1
	●病院の看護婦の育成と医師の連携	1
	●老人ホームに専門医と看護婦を配置し、女性係員（女性）が 24 時間交代で見る	1
	●医者の確保や検査の充実、有能な医者を探して安心できる病院にしてほしい	1
	●働く体力のある者は、働くこと	1
	●子どもは町の宝であり、子どもを大切にした町づくりをしてほしい、子どもが産めない町では不安である	1
	●車が運転できなくなり地元の病院に重点を置くことになると、眼科や歯医者をたくさんある中からは選ぶことができないため、医療にも高い質が求められていくのではないか	1
	●介護も心あるサービスが求められ、従事する人達の人材育成、見直し、確保、職員の環境の見直しの徹底	1
	●健康な高齢者の働く場所、又はボランティアできる場所を作り、社会に貢献してもらえるためのリーダーシップを期待	1
	●小児科医師不在の町にはしたくないので医療関係に力を入れてほしい	1
	●高齢で運転をして他市町への病院受診ができなくなることの不安、総合病院は依頼書がないと受診ができないことが不満であり、他の病院に行かなくてもいいような病院づくりや高齢者にやさしい医師を確保してほしい	1
	●例えば、町役場の障がい者のトイレのウォシュレットはリモコン部分の電池が切れて使えないように、施設（ハード）の充実と一緒に運用（ソフト）にも力を入れてほしい	1
	●子どもが遠く離れ１人生活に不安があり、高齢者の協同宿舎がほしい	1
	●子育て支援については長野県下條村を参考に意識していかないと、人口減少して過疎化してしまう	1
	●病気になった時、治療方針を決める自由、決定権がスムーズに行使されることを望む	1
	●老後支援の充実	1
	●町立病院の小児科医を早急に確保すること	1
	●高齢者介護・福祉サービスや施設の充実	1
	●今後、高齢者世帯や認知症などの増加で、地域での見守りなど一人一人の意識改革が必要になってきており、近所の人達との関わりをもっていきたい	1
	●高齢化の中、介護職員は大変な仕事の割に給与が少なく、施設職員や施設に町から補助をすべきである	1
	●公共施設は役場以下バリアフリーにするべきであり、障がい者目線で仕事をしていない	1
	●近くに身内も居ない高齢者は生活に不安がいっぱいであり、在宅看護の充実、まちづくりでは、細かい見守り、宅配サービス、高齢者もインターネットで情報を得るための指導の充実など、行政に期待する	1

分野	内容	件数
	●高齢者になるにつれ病院通いが一番大変で、病気の専門医がいないと釧路等に行かなければならず、医者に気を遣うことも多々あり、福祉等は恵まれていると思うが、高齢者だけの生活になると、このままここに住むことができるのか不安になる	1
	●立派な病院があり素晴らしいが、さらに重要なことは、医師が率先して親身に患者と向き合うことである	1
	●介護関係現場職員の一層の待遇改善	1
	●認知症の予防になる運動や介護の方法、認知症の人との接し方等、教えてもらえる機会を増やしてほしい	1
	●人のためになる生きがいがなく、70 才 80 才になっても働ける場所がほしい	1
	●一人になったとき、高齢者にとってやさしい行政であってほしい	1
	●小児科がなくなり、別海病院で分娩ができなくなった人たちへ、金銭面での助成などするべき	1
	●高齢化社会の中で、高齢者は町が企画実施している健康維持のためのスポーツや趣味を伴う学習会などの各種高齢者向事業に積極的に参加するべき	1
	●町立病院を早急に立て直して、町民の命を預かる大切な場として中身をしっかりしてほしい	1
	●現在、産科は出産を扱わず、小児科は医師不在では子どもを生んで育てる環境になっておらず、早く欠科を解消して、今後も欠科することのないよう、医療機関の充実、医師の確保を強く望む	1
	●高齢化社会をむかえ、施設を多くすべき	1
	計	49
人を育てる学びのまち	●仕事や各会議等子どもでも考えられる部分はあり、子どもたちが自力でリードしていけるよう支援する体制が必要で、子どもの力を生かし、ともに生きる力を育ててほしい	1
	●別海高校生が学校に誇りを持ち、充実した学校生活が送れるように町全体での支援を望む	1
	●将来的に別海病院の医師として戻ってくる子どもを育成のため、小中学生への情報発信や医療系大学への進学者への支援が必要	1
	●どの年代も生き生きと暮らせるように、行政サービスが充実し、スポーツ、趣味、講習会、勉強会等それぞれで集まれる場所があるといいと思う	1
	●酪農科だけでなく普通科の海外研修、留学制度など魅力的な高校づくり	1
	●芸能、文化、イベントなど各種活動などのための現公民館の早期新築の実現	1
	●郊楽苑の広い駐車場にキャンピングカーの駐車スペースを新設し、有料での充電設備を設けてはどうか	1
	●行政と民間企業や団体との人の交流（異業種間での合同研修や人材育成）をして、人を育てる町づくりをしてほしい	1
	●子ども達の地元定着化の促進	1
	●子どもの貧困問題は、教育現場の中においても、いろいろ影響が出てきている	1
	●野球場・陸上競技場に隣接のトイレを改修し、シーズン中は清掃も充実してほしい	1
	●子どものための公園や施設が少ないが、あれば子どもたちの体力向上につながる	1
	●学校行事等で振替休日になることのある月曜日に休む施設が多いので、休館日をずらす等配慮してほしい	1
	●パイロットマラソンは全国から参加者が来るので、スポーツ大会だけで終わらせず、プチ移住体験してもらうなどの企画や制限時間の延長により参加者を増やすなど、スポーツで町興し	1
	●文化会館建設にあたり、いつでもだれでも自由にくつろげる、工夫されたロビー空間が必要	1
	●中春地区では、子どもからあいさつをしてくれて、元気をもらったが、別海の町の小中学生はあいさつを返してくれず、さびしく思う	1
	●図書館の休館日が多く、学校の夏冬休み中は開けてほしい、民間委託も考えるべき	1
	●学校の先生の充実、いじめについての相談窓口設置	1
	●子どもとふれあう場がない	1
	●健康づくりに関して、維持管理等で施設利用料を徴収するのはわかるが高いので、町民無料にすべき	1
	計	20
快適で安全なまち	●買い物弱者へのマーケット、移動販売の充実	1
	●これからも住みやすい街であってほしい	1

分野	内容	件数
	●除雪が他市町村に比べて遅すぎて、通勤できないので改善してほしい	1
	●交通機関が限られているので不便	1
	●大雪の時の町内の幹線道路の除雪が遅すぎて歩いて通勤するのが大変である	1
	●生まれてから死ぬまで事故のない町	1
	●道路工事を増やしてほしい	1
	●冬道で、塩カル以外の対策を検討してほしい	1
	●交通の便を改善、買物弱者の足を確保すべきで、市街地内を回る低料金の町内バスの創設をしてほしい	1
	●中標津の病院への通院手段がなく、他町村のように小型バス等もないため、気を使わず利用できる手段がほしい	1
	●軍事演習をなくす、もしくは縮小を求めること	1
	●住宅戸数の増加に伴う下水処理問題の早期解決	1
	●美観にも配慮し、古いものと新しいものが融合した魅力ある町にしてほしい	1
	●車が運転出来なくなった後、気軽に釧路や中標津へ行けなくなるなど交通手段が不安	1
	●バスに頼るのなら乗り心地、安全、安心を求める	1
	●路線バスが役場前の停留所だけ段差が激しく、利用者に寄り添っていない	1
	●子どもも高齢者も障がいのある人にも優しい、安全な道をつくってほしい	1
	●楽しく歩ける散歩道があちこちに欲しい	1
	●スラリーの臭い対策	1
	●市街地（メインストリート）の景観を花木を多くして活気を感じるものにしてほしい	1
	●将来の交通手段への対応	1
	●別海町は広いので「移動」が大変であり、元気高齢者でいるために「足の確保」を望む	1
	●除雪も舗装が出るようにしないと、歩道はひどく障がい者には歩きづらい	1
	●家の前は多くの学生が通るが、冬～春先に除雪がとても汚く、やっとすれちがう感じだが、昔は朝も早く、道幅、全体的にきれいだった	1
	●除雪が下手で、少ない雪の時だけ早々と出てやっている	1
	●歩行者、自転車に対する車の運転マナーが優しくない	1
	●合同で骨を入れる町営の墓を建ててほしい	1
	●JA跡地など市街地の空洞化を解消してほしい	1
	●街灯が消えているのが目立ち、暗い	1
	計	29
参画と協働でつくるまち	●アンケートの質問が長すぎるので、図書カードくらいの謝礼があるとよい	1
	●別海町の人達みんなで助けあいながら、子どもも大人も健康でいじめなどない町を目指してほしい	1
	●吹雪の日は、町全体が会社も含め休めるように指導してほしい	1
	●女性の議員を増やす方法を考えてほしい	1
	●毎月 15 日にサイレンがなるが、11:15 ではなく 12:00（正午）の方がよい	1
	●毎年4月に配布される「今年のしごと」は立派すぎて無駄なので、広報別海程度でよい	1
	●自衛隊からの補助金は何に使われているか知りたい	1
	●町民は積極性が少なく、何事もいい加減なので町が盛り上がらないのではないか	1
	●こんなに魅力のある町をなぜもっとPRしないのか	1
	●田舎の良さを残し人を呼び込み、住みたいと思ってもらうために、「医療」「子育て支援」「防犯」「第１次産業」の発展と支援が不可欠	1
	●別海町在住でも別海町の情報不足（特に商業系）、町民に情報提供できる場所がほしい	1
	●職員には町民の生活が安心で安全で、別海町に住んでいて良かったと思える仕事をしてほしい	1
	●小さな自治体が都会と同じような充実したサービスを求めるのには限界があることを感じている	1
	●労働人口減少の中で一定水準を確保するために、何をするべきか住民を巻き込んでの話し合いが必要	1
	●今、町の置かれている現状、将来どういうことが考えられるか、具体的にわかりやすい説明が求められており、危機感をもつべき	1

分野	内容	件数
	●地方自治体の「自治」とは何かを町長含め役場職員にはしっかり考えてもらい、国や道に従うだけではなく、「うちの町は～だ。」「うちのやり方は…だ。」の独自の声がききたい	1
	●人口減少、産業衰退でも、そこで生活する人々が安心して暮らせる町であってほしい	1
	●国に頼らず、別海町自らの力で町のものごとに取り組むことができる、独立的市町村となり、自らの力で町のものごとに主体的に取り組んでほしい	1
	●既存の古い考えを見直し、新しい取組が必要であり、若者の考えが反映できる体制も重要	1
	●別海町地区を集合し、3ヶ所ぐらいに分轄	1
	●町の人口維持政策	1
	●若い人達は先祖を守るのも大変な時代になっており、共同墓の設置を検討し、町民へのアンケート調査等を望む	1
	●このアンケートで、経験がないことは「どちらともいえない」を選択したが、これでは正確な統計にならないのではないか	1
	●知床ナンバーについては、知床周辺のみでいい	1
	●町債を減らし、小さくても他町村の模範となるような町づくりを願う	1
	●町職員は町民のために働いているという気持ちを持って働いてほしい	1
	●役場職員の対応が事務的でやさしさがない	1
	●行政と町民で知恵を出し合い具体的な人口減少対策を講じていくために、話し合いの場の持ち方の工夫が必要で、職員一人ひとりが町民からの要望をしっかり受け止めて、仕事に活かしてほしい	1
	●ふるさと納税に力を入れて沢山お金を集めること	1
	●安心して老後を送れるような町にしてほしい	1
	●持家がある場合の公営住宅の申し込みを少しスムーズにしてほしい	1
	●町民一人ひとりに目を向けた行政を望む	1
	●町職員一人ひとりがアイディア等を発信したり、レポートを書くなどで、常に考え、疑問を持つことが大事である	1
	●町で活躍している人や、町出身の医学界・文化・スポーツで活躍している人の支援組織や体制確立が、町づくりの担い手や PR につながっていく	1
	●公平・公正	1
	●通勤時や昼休みに一斉に車が動くのは高齢者にとってこわいので、酪農郷らしい風景である職員の自転車通勤を、せめて夏だけでもやってもらいたい	1
	●町職員の能力のなさ、あいさつできない	1
	●町職員と民間の給与の差がありすぎ	1
	●役場は土日もやってほしい	1
	●町内会の活動は高齢者や決まった人の参加ばかりで 20～40 代が少なく、将来が心配、自分の町に愛情がもてるような町づくりをしてほしい	1
	●地域の豊かさを継続するため、人口減少からの脱却	1
	●高齢者、子ども、障がい者、弱者が守られ、若い方々の活躍できる場が多くつくられ、孤立する人がいない町づくりを望む	1
	●定年退職後の職員の天下りのための新しいポストづくり等はやめてほしい	1
	●町職員の縁故採用が不満	1
	●魅力ある地域づくりをし、移住者を受け入れるような体制づくりを求めたい	1
	●給与の削減、臨時職員の継続的な雇用、共働きの削減	1
	●町民の要望に何でも答えようとせず、町民を自立させるように仕向けるべき	1
	●人口減少への対策を考えるべき	1
	●水道料金滞納に対し、2ヶ月ためている家庭には一度使用不可にするべき	1
	●職員定年後、再雇用せずに若い人を採用すべき	1
	●住民と行政との協働した町づくりの一層の推進	1
	●役場、病院も町民の話を聞かず、役場のやり方が不満である	1
	●広報誌の配布を前月の最終週にしてほしい	1
	●人と人とのつながりを大切にしたまちづくりと現在の行政サービスを維持してほしい	1
	●若さあふれる町長に期待	1
	●町職員の社宅の家賃が安すぎ、入居期間を一定にして入居できる機会をもっと増やしてほしい	1

分野	内容	件数
	●職員の資質向上	1
	●町民参加の町づくり	1
	●行政・議会・町民での情報の共有	1
	●努力と改革	1
	●自然の豊かさと人のあたたかさを生かした行政を望む	1
	●世界情勢が不安定になる中、将来にわたって平和が維持されるよう国・道・市町村が「絶対に戦争はおこさせない」というしっかりした理念をもって行政にあたってほしい	1
	●アンケートについて、年末記入は時間的に大変だし、すべての行政内容を知っていることを前提に答えるようになっているが「よくわからない」の項目も必要	1
	●まずは町中から魅力ある町づくりが必要で、市街地の美化、商店等の充実等は民間、個人の力だけでは限界がある	1
	●いろいろ値上がりが多く、その分少しでもいろいろな面で減額等をしてもらえると、とても生活が助かる	1
	●別海は医療・教育・福祉が特に遅れており、発展、充実のために多額のお金が必要だが、予算がない理由で断念せずに、3つの中の1つに特化することで、町が発展、飛躍していく	1
	●ボランティア活動はマンネリ化防止のためにも新しい仲間を引き込む必要がある	1
	●ハード面は、必ず経費が伴うため限界があり、お金のかからない内面を重要視し、更なるまちづくりの推進	1
	●アンケート期間が年末の忙しい時期で2週間と非常に短いが、町の大事な 10 年計画であり、多くの意見をもらうことが最重要である	1
	●役場の職員も昔にくらべ、話しやすく、親切な人が多くて行きやすい場所になったので、これからもがんばってもらいたい	1
	●無理せず、生活が守られていくといい	1
	●地域経済に敏感な先行投資を行うべきであり、財源には余裕があると思うので、北海道、全国初の行政サービスや子育てサービスの実践を検討し、他の地域から居住したくなる町、魅力ある町づくりをしてほしい	1
	●生涯我が町に住んで良かったと思える町、住民に行き届いた町政であってほしい	1
	●回答だけが町に届けば良いのだから、質問用紙は手元に残るようにしてほしい	1
	●採用する職員の資質に疑問を感じるので、特に若い人をきちんと教育してほしい	1
	●町税軽減	1
	●年一回のイベントが同日に開催されたりするように、現状の課題を行政、商工会、農協、漁協が共有していない	1
	●別海町の将来に向けてのプロジェクトを立ち上げて、町民の意見が反映されるように町民にオープンにしてほしい	1
	●今回のアンケートは、町民一人ひとりが真剣に考えて参加しており、アンケート結果をどう集計して生かし対応するのか町民に公表し、アンケート結果が反映されない総合計画がつくられることがないようにしてほしい	1
	●人口を増やすために政策をしっかりと整備してほしい	1
	●市街地に活気が感じられず、いつまで経っても「自衛隊に頼る町」とのそしりを免れない	1
	●町は町民に目を向けた行政を執ってほしい	1
	●中標津は「農業、商業、医療、観光」が充実、標津町は「日本一気風のいい町」（鮭、ホタテ、バター配布）のように、行政が目的を持っていないから別海町に魅力がない	1
	●自然とともに心豊かに、努力が報われるゆとりある暮らしのできる社会、正しい行政であってほしい	1
	●「べっかい」の良い所を他町にアピールできる町になってほしい	1
	計	85
総計		222

居住地不明（6 件）

分野	内容	件数
活力ある産業のまち	●酪農は将来に向けて一層強化すべき	1
	●年金生活なので物価は高いし店が遠いし少ない	1
	計	2
健やかに暮らせる福祉のまち	●低所得者の子どもの支援、医療費、パートの賃金を上げ、パートでも生活が成り立つような町にしてほしい	1
	計	1
快適で安全なまち	●除雪後入口に大量に雪が残り、固い大きなものはスコップでこわれないので、除雪車の羽根をもう少し何とかならないか	1
	計	1
参画と協働でつくるまち	●人口減少高齢化で、財政も大変と思いますが、私共高齢者は健康面に気を付け人生を過ごすので、町長始め町職員には我々が生まれたこの町を大切に守ってくれることを望みます	1
	●税金が高い	1
	計	2
総計		6

調査結果から見える課題

1　アンケート調査から見える課題

アンケート調査の結果から、各分野ごとに課題をまとめると、以下のとおりとなります。

◆活力ある産業のまち

「農林業の振興に関する取組み」及び「水産業の振興に関する取組み」を除き、いずれも満足度は低めになっています。特に、商業環境については、評価点は前回調査よりも上昇しているものの、『不満である』の割合は今回の調査で全体の二番目の高さとなっており、「観光の振興に関する取組み」も五番目となっています。

商業環境については、いずれの居住地も評価点が上昇していて、特に「別海」や「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」、「上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原」では、評価点が各環境の中で最も上昇しています。一方で、観光に関して居住地別にみると、ほとんどの居住地で前回調査よりも満足度評価は上昇しているものの、「上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原」ではわずかながら低下しています。

このように、商業環境や観光の振興に関する取組みに関しては、更なる取組が必要とされており、商業環境については、今後さらに高齢化が進み、公共交通機関の利便性が良くならなかった場合に、通常の買い物に対する不安から「買い物弱者対策」が求められており、観光振興に関しては、「乳製品や海産物など食を生かした観光」など別海町らしさを出した観光振興策が求められています。

◆自然と共生するまち

自然環境の豊かさは、居住地に関わらず、全般的に満足度が高くなっていますが、公園・緑地の整備状況は、居住地により差が大きく、前回との比較でもわずかに上昇している居住地がある一方で、「別海」や「上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原」、「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」では１点以上低下しています。このため、地域住民と協働で公園や緑地の整備、維持管理などを進めていき、地域に受け入れられる公園・緑地の整備を行っていく必要があります。

また、ごみ処理・リサイクル状況は満足度が高いものの、環境に配慮した生活やごみ資源の分別については若い世代で「している」が低くなっており、こうした世代への啓発や「不法投棄などの取り締まりの強化」や「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」などを更に進めていく必要があります。

◆健やかに暮らせる福祉のまち

医療体制は『不満である』の割合が５割近くと最も高く、「奥行・上風連・矢臼別・中西別」や「上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原」、「別海」では前回調査よりも１点以上低下しており、医療対策で力を入れるべきこととして、「町立病院など町内医療機関の充実」が７割以上になっているように、町内で医療を受ける体制をしっかりと整えることが必要とされています。

保健サービスは満足度が高いものの、「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」と「奥行・上風連・矢臼別・中西別」で前回調査よりも評価点が上昇していますが、それ以外では低下しており、保健対策で力を入れるべきことに関しても、各項目であまり大きな差はなく、今後さまざまな保健サービスをより一層充実させていく必要があります。

また、高齢者施策はや子育て環境については、それぞれ該当する高齢者世代や子育て世代の『満足している』は他の世代よりも高くなっていますが、その下の世代の『満足している』は低くなっています。そのため、今後も引き続きさまざまな施策の実施により、世代によらず安心できる環境づくりを行っていく必要があります。

◆人を育てる学びのまち

学校教育環境やスポーツ活動等、評価点はいずれもプラスですが、「どちらともいえない」が４～６割と高く、その中でスポーツ活動はすべての居住地で前回調査よりも評価点が低下しており、「スポーツ施設など活動の場の整備」や「指導者や相談体制の充実」が求められています。

また、「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」は他の居住地より評価点が低いものが多く、「上春別・大成・本別・豊原・中春別・美原」はすべて前回調査よりも評価点が低下しているなど、居住地によって満足度が低下しているところがみられます。このため、施設整備や関係団体間の連携など町全体をみた対策とともに、居住地の地域特性を生かした施策を行っていく必要があります。

◆快適で安全なまち

水道の整備状況や下水道等の整備状況、消防・防災体制、防犯・交通安全体制などの評価点は高くなっていますが、逆に、公共交通機関の利便性の評価点は低く、すべての居住地でマイナスになっており、特に「奥行・上風連・矢臼別・中西別」で低く、前回調査よりも２点以上低下しています。

また、道路整備状況は『満足している』の方が高くなっていますが、『不満である』の割合も高く、評価点はすべての地区で前回調査よりも低下し、特に「尾岱沼・走古丹・本別海・床丹」は前回調査よりも２点以上低下し、マイナスになっています。

今後必要な道路交通手段として、「地域生活バスの利便性向上」が４割台で最も高く、「路線バスの利便性向上」も３割台と高くなっていて、高齢になって車が運転できなくなったときなど、車以外の交通手段の確保が求められています。

◆参画と協働のまち

広報・広聴活動の評価点は高くなっていますが、そのほかはすべて評価点が１点以下と低く、「どちらともいえない」が５～７割台と高くなっています。その中で、行財政改革の進捗状況は、前回よりも１点以上上昇し、居住地別でもすべて上昇しているように、評価が上昇していますが、今後の行財政改革で重点を置くべき項目として、「町職員の能力向上と適正配置」や「町有地や公共施設などの町有財産の有効活用」は４割以上と高く、これらの項目を中心に更なる行財政改革の実施が求められています。

男女共同参画の推進は「奥行・上風連・矢臼別・中西別」で 1.5 点以上低下し、マイナスとなっているなど、前回調査よりも低下しているところが多くなっています。また、男女共同参画社会の形成のために必要なこととして、「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」が半数近く、「女性の働く場所の充実」も３割となっていて、こうした環境を整えていくためにも、啓発活動を進めるとともに、女性の視点を生かしたまちづくりを進めていき、それを更に住民参画、住民と行政による協働のまちづくりへとつなげていく必要があります。

2　自由回答から見える課題

アンケート調査の自由回答から、各分野ごとに課題をまとめると、以下のとおりとなります。

◆活力ある産業のまち

自由回答の中で特に多かった意見としては、「商業施設の充実」や若者を中心とした「雇用促進」にもつながる「産業育成」が挙げられます。

商業施設については、町の活性化のために大型店の誘致も含め、充実させてほしいという意見が多くあり、また、道の駅のリニューアル希望の意見も複数ありました。

雇用促進に関しては、酪農を中心に、自然の恩恵を受けた第一次産業を持続的に発展させてほしいという意見に加えて、企業誘致等による第二次、第三次産業等の育成や、第一次産業との連携を図ることによって、学生の地元での雇用につなげたり、Ｕターン・Ｉターンを含めた若者の雇用の促進によって、将来の町の健全な発展につなげてほしいという意見が多くみられました。また、町の魅力を伝えるプロモーションも産業育成や観光振興にもつなげていく必要があります。

◆自然と共生するまち

この分野で最も意見が多かったのは「ごみ分別」の問題で、分別が細かすぎて大変だという意見が多く、町民の負担になっていると考えられます。このため、分別の分かりやすい表示や説明、出し方などを工夫することにより、住民のごみ分別の負担を軽減していく必要があります。

◆健やかに暮らせる福祉のまち

この分野の意見は特に多く、医療、福祉、介護、高齢者問題、子育て等は生活する上で、全世代で切実な問題であるため、関心が高いものと考えられます。

その中で、高齢者が安心して住み慣れた地で生活していくための対策を求める意見が多くみられました。高齢者施設の充実や、介護と医療の連携、ヘルパー、介護職員の充実と待遇改善などが挙げられており、この分野での施設、サービス、人員が需要に追い付いていないことがうかがえます。

医療の問題については、「小児科医不在」が多く挙げられており、町の発展のためにも地域での出産・子育てが大きな原動力になるにも関わらず、それを阻害することになるため、早急な解決が求められます。また、医師の確保は今後も大きな課題になることは避けられないと考えられ、別海病院の質の充実と併せ、町での医療環境の充実を今後も図っていく必要があります。

◆人を育てる学びのまち

子どもとふれあう場所の充実や子どもの遊び場となる施設の不足、図書館の休館日の多さが挙げられており、こうした環境の改善を図っていく必要があります。また、子どもの貧困やいじめ問題などの意見もあり、町として、より良い子育て環境をつくっていく必要があります。

スポーツ活動については、スポーツを活用した町の活性化やイベントの充実などを求める意見も挙げられていました。

他地域との交流を進めることも挙げられており、町のプロモーションのためにも力を入れるべき課題と考えられます。

◆快適で安全なまち

高齢者を中心に移動手段に関する対策を求める声が多く挙げられており、高齢者が運転免許を返納した後で移動する手段がなくなることへの不安を感じる意見が多く、特に病院等の医療機関へ通う移動手段がなくなることは大きな課題になるものと考えられます。また、買い物弱者とならないよう、市街地への交通手段の確保に関する要望も多くあり、こうした医療機関や市街地などへのバスの運行路線を充実させていくことが求められています。

冬期の除雪の問題も多くあり、除雪の遅さや、不十分な部分があるなどの意見が挙げられており、今後は道路除雪をより一層充実させていく必要があります。

◆参画と協働のまち

行政や町職員に対する意見が多く挙げられており、その中で町民が参画して行政と協働したまちづくりを推進していくことや、国や道の意向に沿うだけではなく独自性を持つべきという意見もあり、人口減少、高齢化で町が衰退せずに次世代を担う若者がきちんと定着していけるような魅力的なまちづくりを目指していく必要があります。

さらに、きめ細かく、町民に目を向けた行政サービスを行っていけるよう、町職員等のより一層の意識醸成が求められています。

また、今回のアンケートに対する意見も多く挙げられており、アンケートを実施する時期や期間、内容、結果の総合計画への反映等の意見があり、今後に生かしていく必要があります。

別海町まちづくりアンケート調査

報告書

発行年月：平成 30 年３月

発　　行：別海町
編　　集：別海町　総合政策課
住　　所：〒086-0205
　　北海道野付郡別海町別海常盤町 280 番地
電　　話：0153-75-2111（内 2213）
Ｆ　Ａ　Ｘ：0153-75-0371